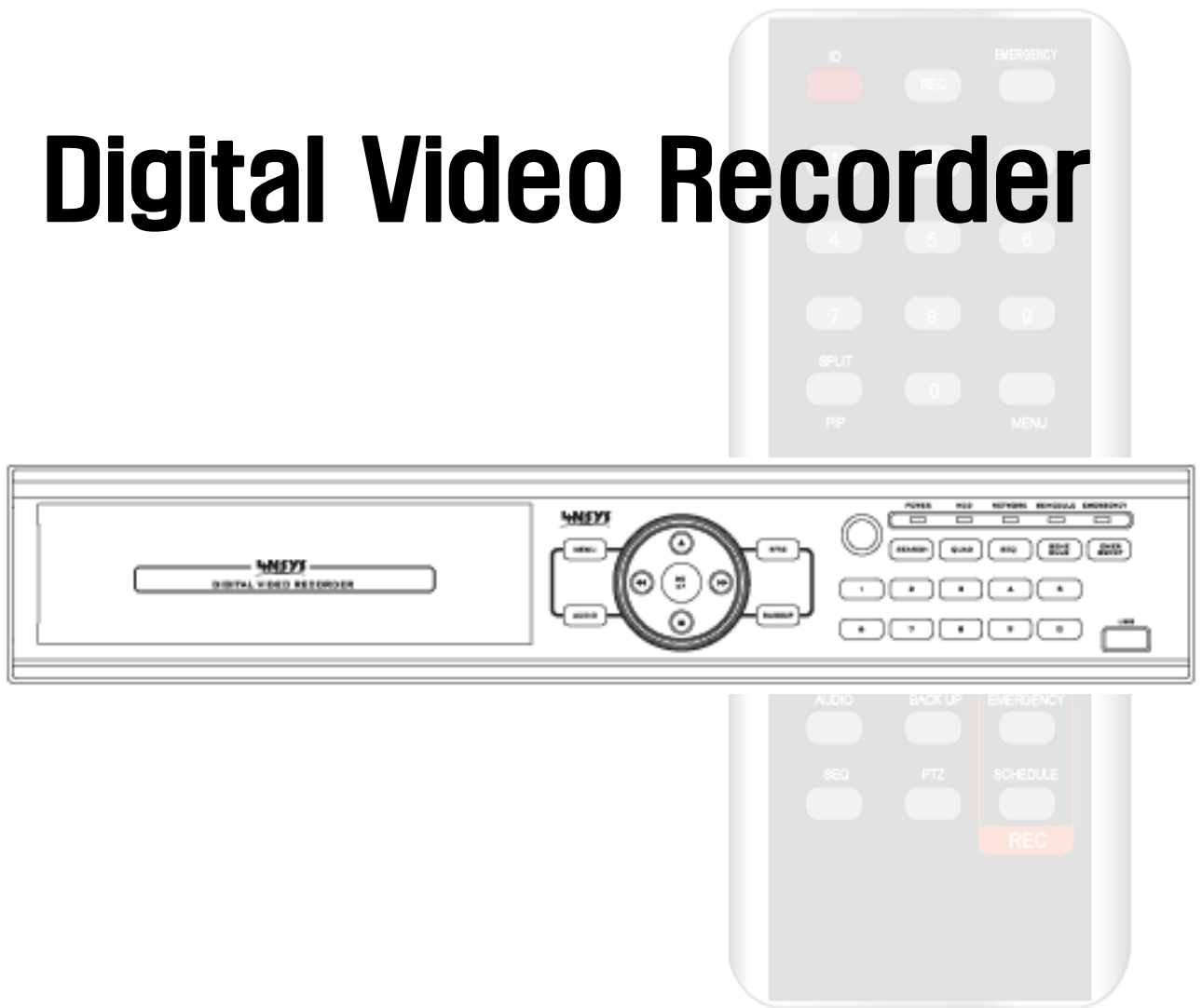


Digital Video Recorder



Version : JPN_2.0

はじめに



この度は、お買い上げ頂き有難う御座います。

当社製品を正しくお使い頂く為、ユーザーマニュアルを良くお読みください。マニュアルは製品に付属しています。後日お読みになる時の為に、マニュアルはお手元に保管してください。

安全上のご注意




- 製品をご使用の前に、この「安全上のご注意」を良くお読みください。
- この「安全上のご注意」には、安全に関する重大な事項が記載されています。ここに記載されていることを守って、製品を正しく安全にお使いください。

■ 注意と警告の表記


	警告	この表示を無視して製品の取り扱いを誤りますと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
	注意	この表示を無視して製品の取り扱いを誤りますと、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定されます。



■ 図記号による表記

以下は注意／警告を意味する図記号です。



	感電注意を意味します。
	発火注意を意味します。
	高温注意を意味します

以下は禁止を意味する図記号です。



	してはいけないことを意味します。
---	------------------



	分解禁止を意味します。
	触れてはいけないことを意味します





以下は強制を意味する図記号です。





	実行していただくことを意味します。
	接地していただくことを意味します。


安全にお使いいただくために




 警告	
本製品を使用するときは、必ず警告、注意事項に従ってください。	




 警告	
装置の安全性は十分配慮して製造されていますが、万一、危険が生じた場合は、電源スイッチを「切」にし、保守会社までご連絡ください。	

 警告	
電源電圧、周波数、容量などの規格を守ってください。 規格、条件外で使用すると、感電、火災、けがのおそれがあります。	  





 警告	
電源コードを傷つけたり、加工したり、重いものを乗せたりしないでください。また、布でくるんだ状態で使用しないでください。感電や火災の恐れがあります。	  



 警告		
他の機器とコンセントを共用しないでください。以上発熱でコンセント部が発火する恐れがあります。		



 警告		
ぬれた手でコンセントに触らないでください。感電やけがの恐れがあります。		




 警告		
煙が出たり変なおいや音がしたら、すぐに主電源スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると、ショートして火災や感電の恐れがあります。		




 警告			
分解、改造、切断、焼却はしないでください。火災、感電、けがの恐れがあります。			



 警告			
アースが接続してあるか確認してください。アース接続されていないときは、弊社（販売店）へ連絡してください。アース接続が去れないで万一、漏電した場合は火災、感電の恐れがあります。			




 注意		
<p>次のような場所では使用、保管しないでください。故障の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 平らでなく、不安定な場所。 ● 振動が直接伝わる場所。 ● 静電気が発生する場所。 ● ほこりや湿気の多い場所。 ● 温度 5～35℃、湿度 35～85%RH の範囲を超える場所。 ● 直射日光の当たる場所。 ● 火気の周辺または熱気のこもる場所。 ● 薬品類のそば。 ● 冷暖房機器のそば。 ● 漏水の危険がある場所。 ● 漏電の危険がある場所。 ● 強い磁気の発生する場所。 		

 注意	
装置の上に物を置かないでください。転倒、破損、けがの恐れがあります。	

 注意	
電源コンセントはプラグをもって着脱してください。電源コードを引っ張って抜くと断線して発熱、発火の恐れがあります。	 

 注意	
通風孔はふさがらないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となることがあります。	 

 注意	
指定されたハードディスク以外の製品は使用しないで下さい。録画されなかったり、故障の原因となることがあります。	

 注意	
定期的に内部の掃除を内部の掃除については、販売店にご相談下さい。内部にほこりが溜まったまま長い間掃除をしないと、故障の原因となることがあります。	 

MIC 電磁波適合登録

機種別	ご案内
A級機器 (業務用の情報通信機器)	この機器は業務用で電磁波適合登録された機器です。

目 次

第 1 章 要約	・ 簡単バックアップ (MARKIN-MARKOUT).. 4 2
・ 製品の特長..... 7	・ バックアップビューアー..... 4 4
第 2 章 設置	・ ボタン設定 4 5
・ 製品の構成..... 8	・ ログアウト..... 4 5
・ システム構成..... 9	・ シリアルポート設定..... 4 5
・ ビデオ信号入力端子..... 1 0	第 5 章 画面表示
・ ビデオ信号ループアウト出力端子..... 1 1	・ OSD..... 4 6
・ VGA 出力..... 1 1	・ 分割モード..... 4 6
・ RS-485(PTZ カメラ)..... 1 1	・ シーケンス..... 5 1
・ RS-485(keypad controller)..... 1 2	・ 画面調節..... 5 1
・ アラーム..... 1 2	第 6 章 ネットワーク
・ センサー入力..... 1 3	・ IP アドレス..... 5 2
・ RJ-485ポート(インターネット接続)..... 1 3	・ ネットワークパスワード..... 5 3
・ USBポート..... 1 3	・ 通知設定..... 5 4
・ HDD装着..... 1 4	第 7 章 カメラ
・ 電源コード..... 1 5	・ カメラ設定..... 5 6
第 3 章 システム構成	・ カメラタイトル..... 5 7
・ 前面パネルボタン..... 1 6	・ パン・チルト..... 5 7
・ 前面パネル方向キー..... 1 7	・ パンチルト使用方法..... 5 9
・ ログイン..... 1 8	第 8 章 録画
・ マウス使用方法..... 1 8	・ 録画設定..... 6 3
・ メニュー呼出方法..... 1 9	・ スケジュール録画..... 6 4
・ アイコン説明..... 2 0	第 9 章 イベント
・ リモコン使用方法..... 2 1	・ センサー..... 6 6
・ リモコンID設定方法..... 2 2	・ アラーム..... 6 7
第 4 章 システム設定	・ 動き検知..... 6 8
・ 情報..... 2 4	・ スポット出力..... 6 9
・ 時間/日付..... 2 5	・ 音声出力..... 7 0
・ パスワード..... 2 6	第 10 章 検索
・ HDD管理..... 2 7	・ 検索..... 7 1
・ 工場初期化..... 2 8	・ 再生ボタンの説明..... 7 5
・ アップグレード..... 2 8	第 11 章 システムエラーチェック..... 7 6
・ バックアップ..... 2 9	第 12 章 WEB BROWSER..... 7 7
	第 13 章 付録..... 8 9
	・ 仕様 (スペック)
	・ 互換リスト (USB, HDD)

第1章 — 要約

製品の特長

本製品は当社の長年の経験とノウハウで作られた高性能の映像記録装置として、日本の電気事情に合わせて改良を加えたもので、従来の機種に比べて安定性と簡便性が優れています。
特にHDD2個に同時に同じ映像を保存することができるので録画データを二重に守ることも可能です。

主な特長

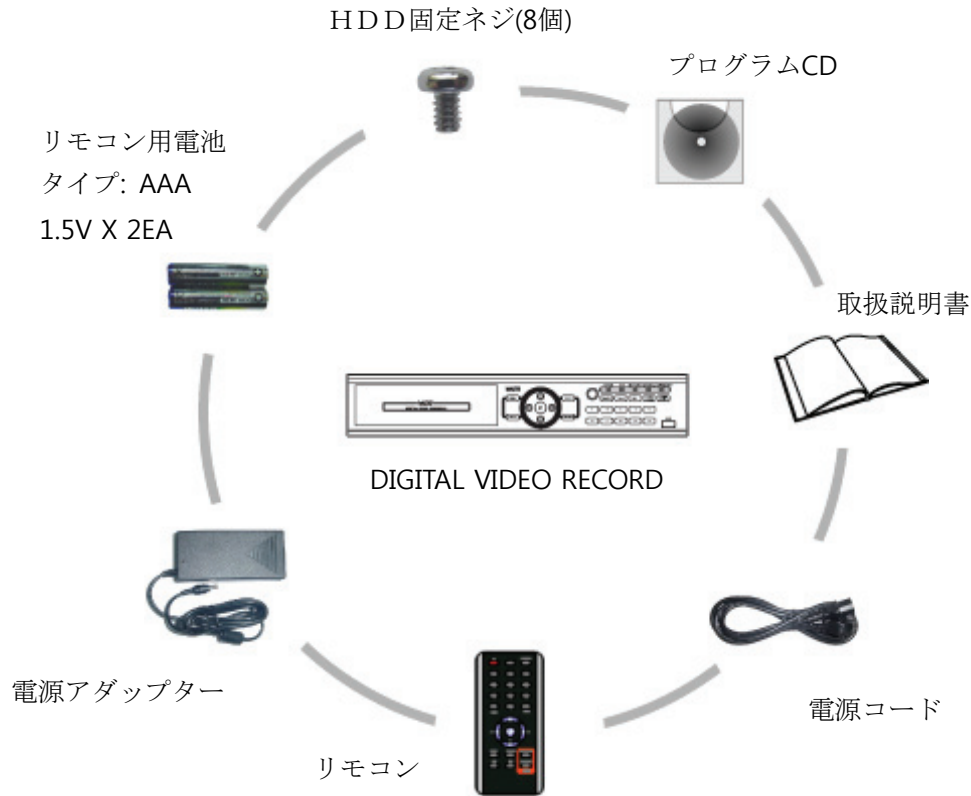
- (1) 高品質のライブディスプレイ
- (2) 簡単な設置および操作
- (3) モーション検知機能
- (4) センサー入力、アラーム出力機能
- (5) 予約録画機能 - モーション、センサー、時間設定
- (6) ダイナミックIPを利用するネットワーク制御
- (7) NTSC, PALのビデオ形式対応
- (8) MPEG4を利用した効率的な映像圧縮と転送
- (9) USBメモリまたはDVD R/Wを利用するバックアップ機能

適用対象

- (1) 銀行、ATM、スーパーマーケット、コンビニなどの公共場所
- (2) 一戸建て、マンション、アパートなどの無人警備および盗難防止
- (3) 倉庫、工場などの監視および事故予防、原因分析
- (4) 監視場所から離れている遠隔からの監視

第 2 章

製品の構成 (付属品)



パッケージ内容

- DVR本体 (1EA)
- HDD固定ネジ (8EA)
- プログラム CD (1EA)
- マニュアル (1EA)
- 電源コード (1EA)
- リモコン (1EA)
- リモコン用電池 AAA (1.5V 2EA)
- アダプター (1EA)

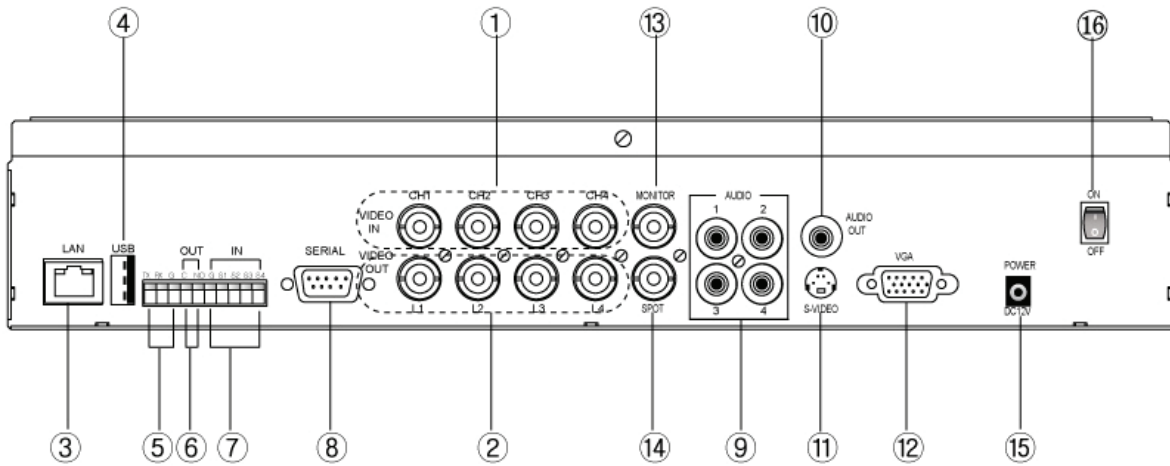
[参考] システム購入時、パッケージ内容をご確認ください。

もし、内容物が異なった場合には購入先にお問い合わせください。

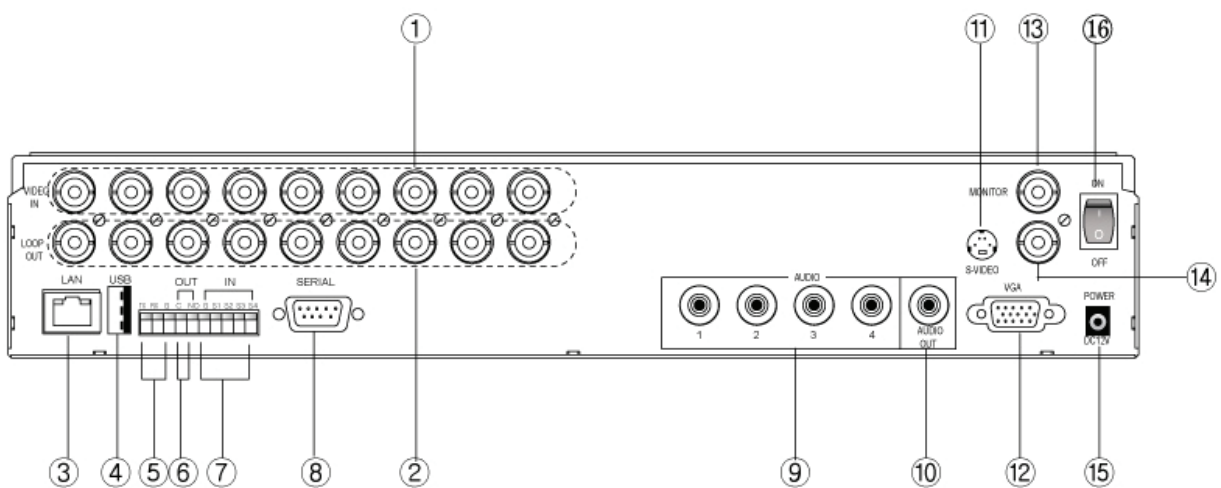
DIGITAL VIDEO RECORDER

システム構成

* DVR 設置時、特別な工具の必要はありません。

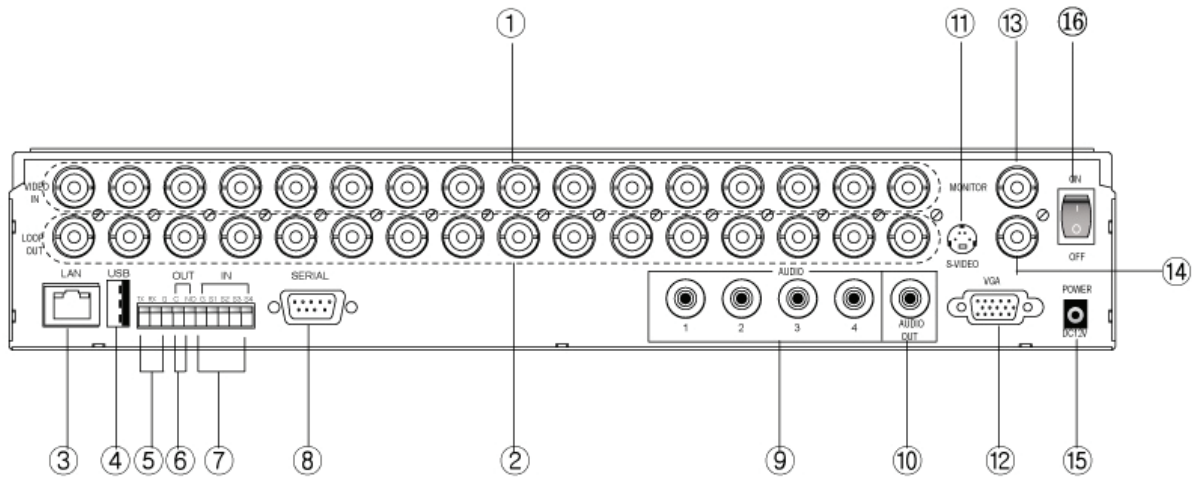


(4CH 構成図)



(9CH 構成図)

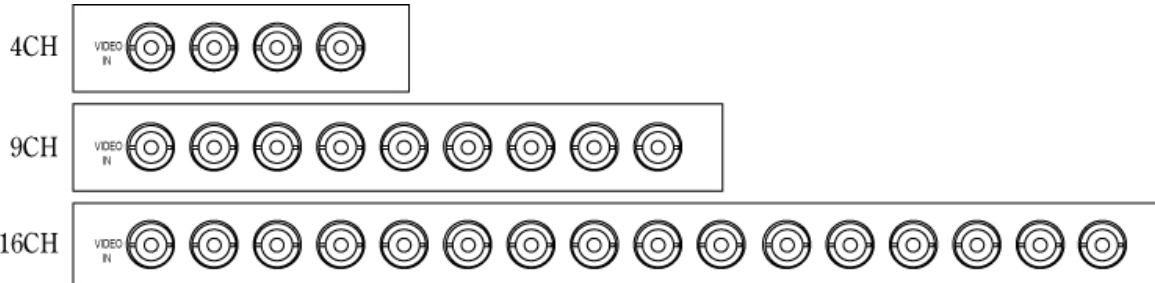
DIGITAL VIDEO RECORDER



(16CH 構成図)

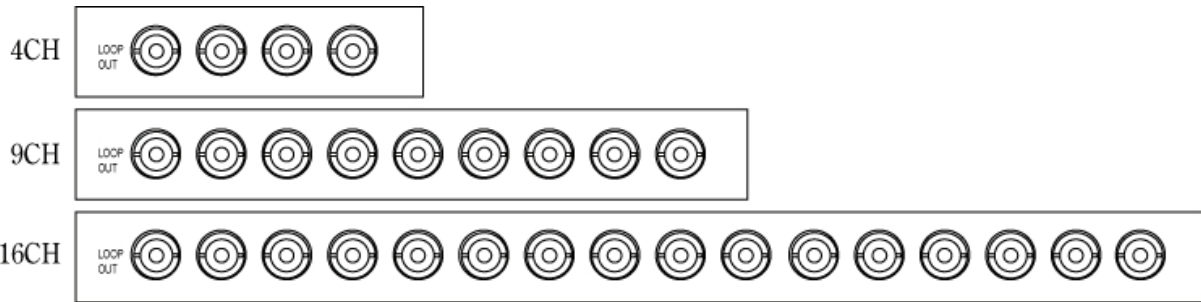
- (1) ビデオ 入力 (2) ループアウト (3) RJ-45(ネットワーク) (4) USB (背面)
- (5) RS-485 (6) アラーム出力 (7) センサー入力 (8) シリアルポート (9)音声入力
- (10) 音声出力 (11) S-Video出力 (12) VGA出力 (13) Compositeモニター出力
- (14) SPOT OUT (15) 電源 (アダプター DC 12V、5A) (16) 電源スイッチ

ビデオ信号入力端子

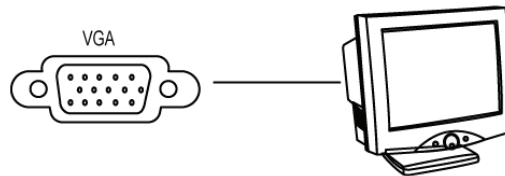


DIGITAL VIDEO RECORDER

ビデオ信号ループアウト出力端子

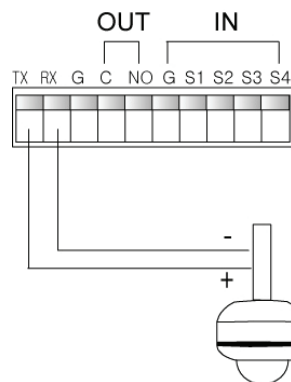


VGA 出力



VGA方式の LCD モニター及び CRT モニターに連結時使います。

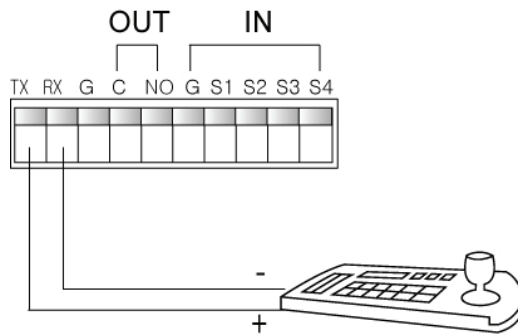
RS-485 (PTZ カメラ)



PTZ カメラ

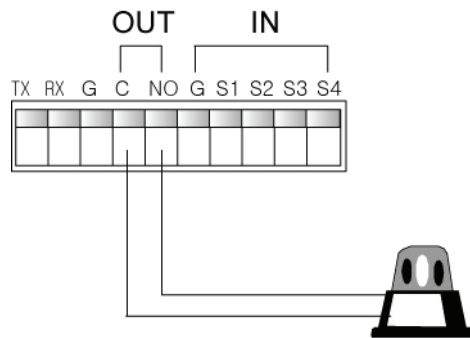
PTZ 使用時、本製品が支援する PTZ カメラのリストをご確認ください。

RS-485 (KEYPAD CONTROLLER)



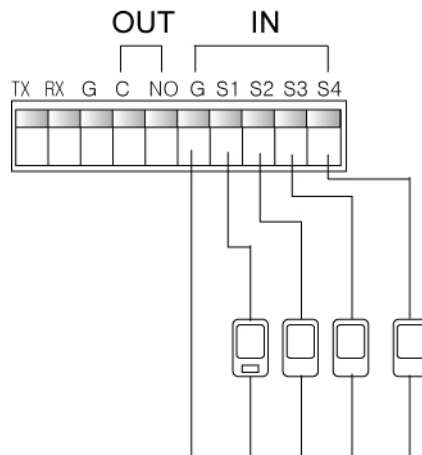
ご購入希望の方は販売先にお問い合わせください。

アラム出力



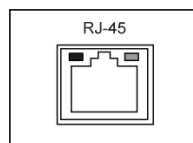
アラム出力は一つのみ支援できます。

センサー入力



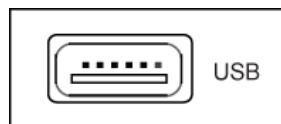
本製品は四つのセンサー出力を支援します。

RJ-45 ポート (インターネット接続)



ネットワーク接続時に使用します。

USBポート



USBマウスまたは、USBメモリーの利用時に使用します。
(USBメモリーを利用したファームウェアの更新時に使用します。)

HDD 装着

本DVRは 4CH, 9CH, 16CHの3つのタイプがあります。オプションとしてODD装着と未装着の製品があります。

モデル区分



▷ ODD付きモデル (4/9/16CH)

- ・ HDD 1のみ 装着可能 (ミラーリング使用不可)
- ・ ODDを取り外し、HDDの追加装着ご希望の方は販売先へお問い合わせください。
(プロントカバー必要)



▷ ODD未装着モデル (4/9/16CH)

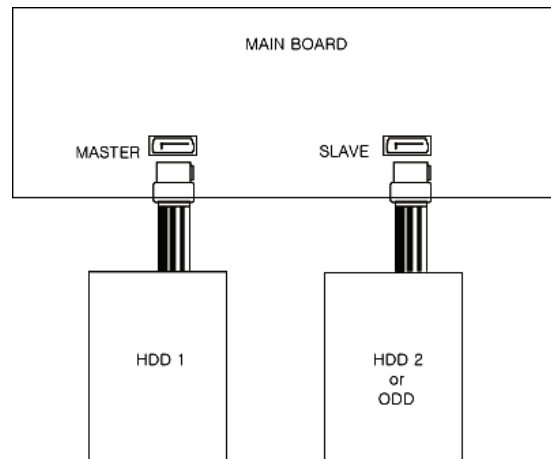
- ・ HDD 1~2個装着可能 (ミラーリング使用可能)
- ・ ODDの追加装着ご希望の方は販売先へお問い合わせください。(ODD固定ブラケット必要)

HDD及びODD装着

本製品はSATA方式のHDD及び ODDのみ使用可能です。既存 PATA方式は使用不可になります。HDD及びODD追加購入時、本製品と互換できるかどうか販売先へお問い合わせください。本製品と互換できないHDD及び ODDを付けた場合は製品が異常動作する恐れがあります。

(但し、2008年 3月までは PATA方式のHDD及び ODD使用可能です。)

DIGITAL VIDEO RECORDER



▷ HDD装着：製品によってはHDDが1~2個まで装着できます。HDD 1個装着の場合はメインボードの“MASTER”にSATAケーブルを連結します。HDD 2個装着の場合は“SLAVE”にSATAケーブルを連結します。

▷ ODD装着：ODD装着の場合“SLAVE”にSATAケーブル連結します。
ODD装着の場合、HDDは1個のみ使用できます。

[参考]

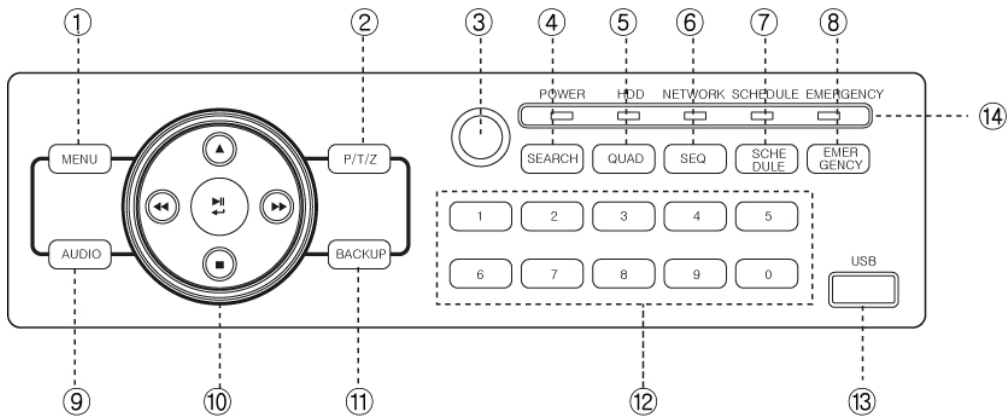
- ・ HDDを装着して再起動させると、AUTOチェックでフォーマット出来なかったHDDがある場合は自動的にフォーマット可否を使用者に確認します。
- ・ 録画を正常にするためには必ずシステムメニューのHDD管理の設定で装着されたODD及びHDD情報を設定してから使用できます。

電源コード

警告：電源コードを傷つけたり、加工したり、重いものを乗せたりしないでください。また、布でくるんだ状態で使用しないでください。感電や火災の恐れがあります。
他の機器とコンセントを共用しないでください。以上発熱でコンセント部が発火する恐れがあります。
ぬれた手でコンセントに触らないでください。感電やけがの恐れがあります。

第 3 章 — システム構成

前面パネルボタン



前面パネルボタンで下記の説明のとおりDVRを初期設定した上でご使用ください。

- 1** MENU(メニュー) ボタン機能

 - ・メニューを呼び出します。
 - ・メニュー上から以前段階に戻る時、使用します。
- 2** P/T/Z メニュー呼び出し機能

パン/チルト/ズームカメラをコントロールします。

チャンネルを選択し、**P/T/Z** ボタンを押せばカメラを制御するメニューが表示されます。
- 3** リモコン受信部

リモコンを使用する場合、受信部の前に障害物を置かないでください。
- 4** 検索機能

録画された映像を再生します。
- 5** 分割画面機能

メニューで設定した分割画面に切り替わります。
- 6** 自動画面転換機能

各チャンネルに時間を設定すればライブ映像が1CHずつ、画面が切り替わります。
- 7** スケジュール録画機能

メニューで設定したスケジュールに従い、録画を始めます。
- 8** 緊急録画機能

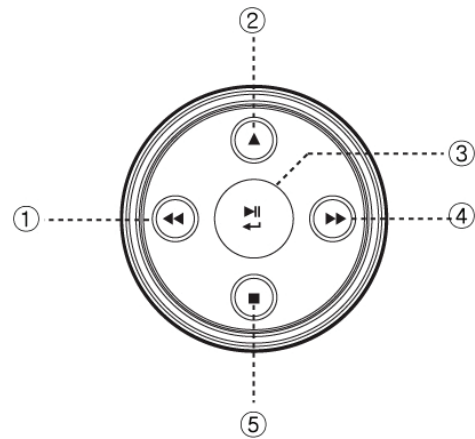
緊急な状況が発生の時、**EMERGENCY** ボタンを押せばスケジュール設定にかかわらず全てのチャンネル録画を始めます。
- 9** オーディオ機能

マイクが付いているチャンネルを選択し、オーディオボタンでDVRと遠隔地での音声確認が可能です。

- 10** メニュー設定移動キー/ 再生ボタン
メニュー移動、選択決定時に使用します。録画再生では再生、停止、再生スピードなどを制御します。
- 11** バックアップ機能ボタン
録画データを外部メディアへのバックアップ時に使用します。
- 12** チャンネルボタン / 数字入力ボタン
チャンネル選択やパスワード及び数字入力の時に使用します。
- 13** USB 挿入ポート
USBマウスまたは、USBメモリーの利用時に使用します。
(USBメモリーを利用したファームウェアの更新時に使用します。)

前面パネル方向キー

- 1** 左側移動ボタン
メニュー左に移動
再生の時、逆再生及び倍速調節
- 2** 側移動ボタン
メニューの上移動
- 3** プレー及び確認ボタン
メニュー設定の後確認ボタン
再生の時、プレー及び一時停止ボタン
パンチルト動作確認ボタン
- 4** 右側移動ボタン
メニュー右側に移動
再生の時、通常倍速調節
- 5** 下側移動ボタン
メニューの下に移動
再生中、停止ボタン



※リモコン方向キー動作も同じです。

ログイン



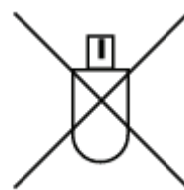
本製品を起動させると自動的にログイン画面が出て来ます。工場出荷時(Admin)の暗証番号は“111111”に設定されています。

マウス使用方法

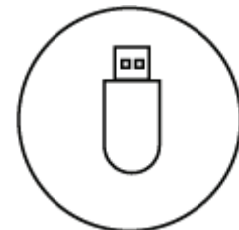
本製品はPC環境に慣れた方のためにマウス操作で大部分の機能が使えるように設計されています。



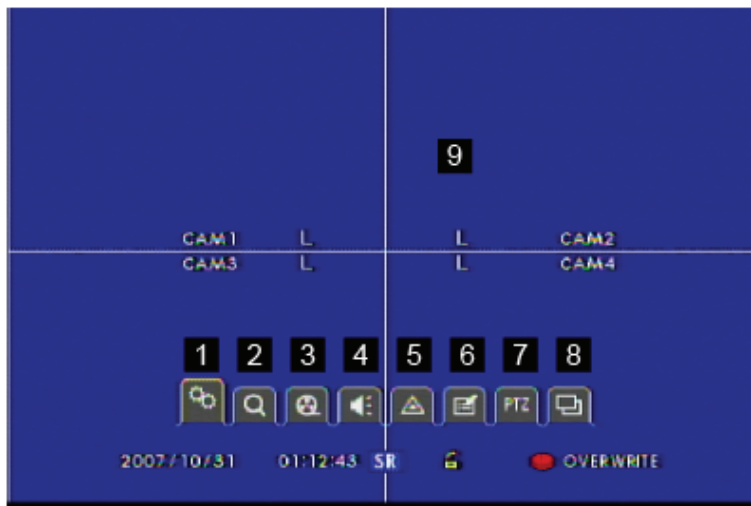
画面のマウス右側ボタンクリックで、メインメニューが表示されます。設定部分では項目別 ◀ ▶左右側マークが出るのにクリックする度に、数値等設定を変更することができます。



PS/2 MOUSE



USB MOUSE



ライブ画面でマウスを右クリックするとメニューが出て来ます。

- 1** SYSTEM(システム) メニューアイコン
- 2** DISPLAY(画面表示) メニューアイコン
- 3** NETWORK(ネットワーク) メニューアイコン
- 4** CAMERA(カメラ) メニューアイコン
- 5** RECORD(録画) メニューアイコン
- 6** EVENT(イベント) メニューアイコン
- 7** PTZ(パンチルト) メニューアイコン
- 8** SEQ (シーケンス) メニューアイコン
(機能取り消しの場合、メニューから SEQ アイコンでは右クリックで取り消しされます。)
- 9** マウスで該当チャンネルをクリックすると全体画面に転換されて、クリックの度に分割画面に戻ります。

メニュー呼び出し方法

本製品は前面操作部のメニューボタン、マウス及びリモコンで各種設定が可能です。システムの全般的な設定のため、取扱方法を十分にご理解の上お使いください。

- ▶ 本体でのメニューの呼び出し方
全面の操作部に **MENU** ボタンがあります。押下するとメニューが表示されます。
- ▶ リモコンでのメニュー呼び出し方
リモコンの **SET UP** ボタンを押下するとメニューが表示されます。
- ▶ マウス使用時のメニュー呼び出し
マウスの右クリックでメニューが表示され、左クリックでメニュー項目が選択できます。

アイコン説明

ライブ上に見えるアイコンの意味は動作状態を表示します。



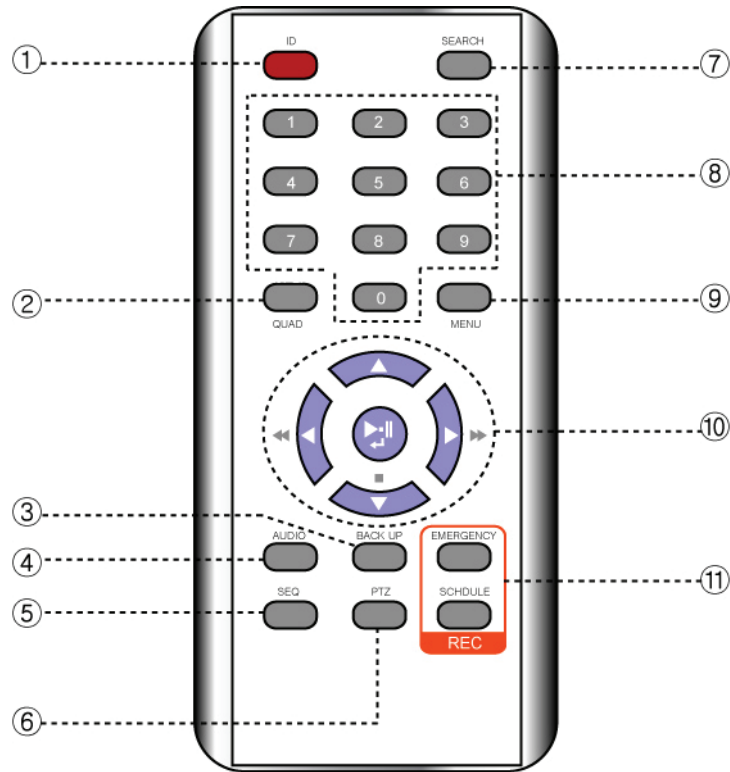
- 1** カメラ名表示領域
- 2** 録画及びイベント表示領域
- 3** 日付時間表示領域
- 4** 状態表示領域

アイコン表示意味

	ハードディスク残量表示アイコン		ネットワーク接続表示
	緊急録画表示		センサー発生表示
	スケジュール録画表示		モーション領域検知表示
	キー LOCK(ロック) 設定と解除		ビデオロス表示
	シーケンス機能表示		録画表示

リモコン使用方法

本製品に付属のリモコンですべての機能を制御することができます。
コンパクトサイズで複数のDVRシステムを一つのリモコンで制御することが可能です。



- 1** **ID** : IDボタン
複数のシステムを一つのリモコンで制御する時、それぞれのシステム別ID選択に使用します。
- 2** **SPLIT** : 分割画面機能 (QUAD)
メニューで設定された分割画面に切り替わります。
- 3** **BACKUP** : バックアップボタン
USBメモリースティックなどでバックアップする時に使用します。
- 4** **AUDIO** : 音声聴取ボタン
チャンネル別、音声聴取モードを選択する時に使用します。
- 5** **SEQ** : 自動画面転換ボタン
自動順次画面転換機能ボタンです。設定された順番で繰り返し、映像が切り替わります。
- 6** **PTZ** : パンチルトカメラボタン
パンチルトカメラを制御する時に使用します。
- 7** **SEARCH** : 検索ボタン
録画された映像を検索する時に使用します。

- 8** **1** ~ **0** : 1~0までの数字ボタン
チャンネル別映像を選択やシステムパスワード入力の際に使用します。

- 9** **SET UP** : メニュー ボタン
システム設定をするための呼び出しボタンです。

- 10**  : 移動方向キー/確認ボタン/ 再生ボタン

メニューで方向キー及び確認ボタンで使われ、再生の時にはプレー、前後速度調節、一時停止などのボタンとして使用します。

- 11** **REC** : 録画ボタン
スケジュール録画及び緊急録画ボタンです。

リモコン ID設定方法

[リモコン設定方法] 詳細については本誌システム設定—情報を参照してください。



- [1]まず、システムのIDを確認して変更します。
(工場出荷時の IDは“0”に設定されています。)
メニューの情報のリモコンID(範囲 : 0 ~ 99)で設定します。
リモコンでは変更することができないので、本体メニューで設定してください。

- [2]リモコン使用方法
リモコンIDを本体で変更した場合は、リモコンIDを本体と一致させてください。



リモコンのIDボタンを押すと上記の画面のように、リモコンのIDを変更することができるメニューが表示されます。

- (1) 現在の本体のリモコンIDを表示します。
- (2) リモコンの数字ボタンで同じIDを入力し、 ボタンを押してください。

[注意]

- ① システム“ID”とリモコンの“ID”が一致しないと作動しません。作動しない場合は、システム“ID”とリモコンの“ID”の確認が必要になります。
- ② システムの“ID”変更時、リモコンの キーだけが動作し、その他のボタンは動作しません。(この場合、リモコン“ID”を確認し必要に応じて変更してお使い下さい)

第 4 章 — システム設定

情報

**1** リモコンID

本製品はIDリモコンに対応しています。

一つのリモコンで複数のDVRを管理することができます。(基本値 : 0、最大 99台)

2 マウス感度

マウスの動き感度を設定します。調節して使用してください。

(基本: 1 遅い 1 < 2 < 3 早い)

3 言語

システム上で使われる言語を変更することができます。

**4** バージョン情報を表示します。

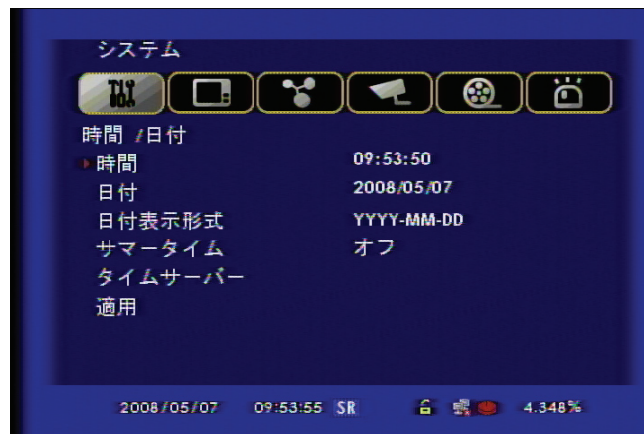
- ・ H/W バージョン : ハードウェアバージョンを表示します。
- ・ S/W バージョン : ソフトウェアバージョンを表示します。
- ・ N/W バージョン : ネットワークバージョンを表示します。
- ・ FPGA バージョン : FPGA バージョンを表示します。

5 Health : メインボードに装着されているHDDの温度を表示します。

- 6 映像入力規格：映像モードを
- 7 ウェブコード：CMS またはウェブブラウザでモニタリングの時、使われる固有の番号です。
- 8 MACアドレス：製品固有のネットワークアドレスです。

*映像信号がない時にはNTSCで認識します。電源を入れてからPALモードで映像入力する時には誤動作が発生(NTSCで認識)します。このような場合、再起動してください。

時間/日付



- 1 時間
時間を設定します。時：分：秒を表示します。
- 2 日付
日付を設定します。年：月：日を表示します。
- 3 日付表示形式
国ごとに時間表記が違うので該当地域で設定を行ってください。
 - ・ ASIA : YYYY/MM/DD -- 2006/05/31
 - ・ US : MM/DD/YYYY -- 05/31/2006
 - ・ EURO : DD/MM/YYYY -- 31/05/2006
- 4 サマータイム
基準時間に対して1時間早くまたは遅れるように調節することができます。
- 5 タイムサーバー
DVRの時間がずれないように調節することができます。
- 6 適用
設定をシステムに登録します。

パスワード



システム上のフォーマットやシステムロックなどの重要事項を変更する時、必要なパスワードです。

[パスワード変更方法]

- ① 初期パスワード
現在使用のパスワードを入力します。* 工場出荷時の初期パスワードは「111111」です。
- ② 新しいパスワード
新たに入力する数字をチャンネルボタンまたはリモコンで1から4までの数字を入力します。
- ③ パスワード確認
確認のためもう一度パスワードを入力します。
- ④ パスワード変更確認表示
正常に変更された場合“パスワード変更完了”という表示がされます。

* [参照] パスワードにはシステムパスワードとネットワークパスワードの2種類があります。
 ・システムパスワード：数字 1・2・3・4 の組み合わせで設定が可能です。システムロック、ハードフォーマットのようなシステム運用上、重要な部分を変更する時に使用します。
 ・ネットワークパスワード：ネットワークを通じて接続する場合、権限別でパスワードを別途設定してください。

HDD管理

**1** HDD情報表示

- ・ Hard Disk1 : 一番目のハードディスクの容量を表示します。
- ・ Hard Disk2 : 二番目のハードディスクの容量を表示します。
*Hard Disk の代わりにDVDRW(ODD)を設置した場合は、“RW Write”と表示されます。
- ・ トータル : 全てのハードディスク用量を表示します。

2 上書き

上書き保存機能でHDDディスク容量をすべて使った場合は最初の映像ファイルを削除しながら保存されます。

3 フォーマット

HDDディスクを選択して映像ファイルを削除することができます。

- ・ Main Disk : メインディスクの映像ファイルを削除します。
- ・ Mirror Disk : ミラーリングに設定されているHDDディスクの映像ファイルを削除します。

4 自動削除

映像ファイルは運用開始日付を基準として設定した期間だけが保存され、その前の映像ファイルは自動的に削除されます。(設定範囲 : 1~99日まで設定可能)

5 設定

設定機能は DVRに内蔵されたHDDディスク及びDVDRWに対する情報を設定する機能です。
この設定が正しく行われなければ装置認識に問題が発生する恐れがあります。

DIGITAL VIDEO RECORDER

- ・ Main Disk1 : DVRにHDD一つだけ内蔵されている場合に選択します。
- ・ Main Disk1 + Main Disk2 : DVRにHDDが二つ内蔵される場合に選択します。
- ・ Main Disk1 + Mirror Disk : DVRにHDDが二つ内蔵される場合で、一つはミラーHDDで使う場合に選択します。
- ・ Main Disk1 + RW Writer : DVRにHDD一つとDVDRW一つを使用する場合に選択します。

*設定が可能な項目だけが適用され、設定後自動的に再起動します。

工場初期化



工場初期化はすべての設定を工場初期化する機能です。

(但し、HDDディスクの関連機能と言語、時間設定は初期化されません。)

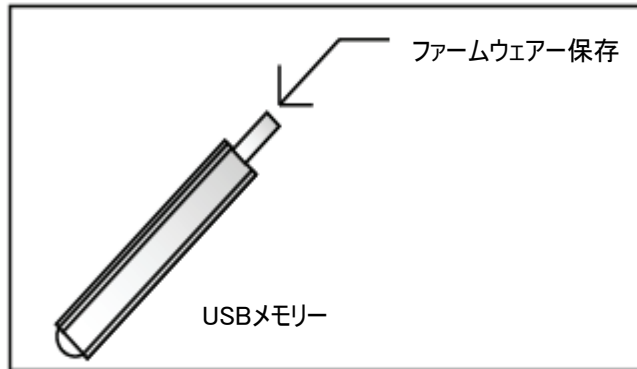
アップグレード

製品の機能変更及び機能追加による F/W_Upgradeが必要な場合はネットワーク方式とUSB方式があります。



1 ネットワーク : 遠隔で接続してアップグレードする方法です。
この方法は遠隔でアップグレードが必要な場合使われます。

2 USB : USBメモリーを通じてアップグレードする方法はまず、USBメモリーにファームウェアを事前に保存し、本体USBポートに挿入します。それからメニューで“USB”をクリックすれば簡単にアップグレードされます。



3 設定保存 : DVR設定をUSBに保存します。

4 設定呼出 : 保存された設定をDVRに呼び出します。(完了されたら再起動します。)

バックアップ

バックアップは二つの方法があります。前面パネルの“BACKUP”ボタン、リモコンの“BACKUP”ボタン、マウス使用時の“BACKUP”アイコンを選択するとクイックバックアップになります。

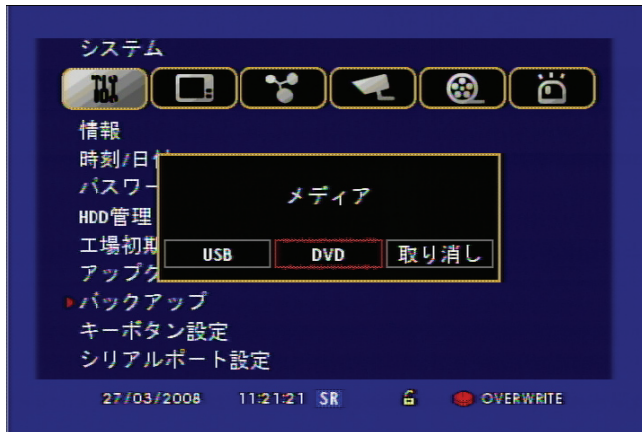
アドバンスバックアップの場合はメニュー-> システム-> バックアップ->アドバンスバックアップを選択します。.

- ・ アドバンスバックアップ : カレンダーの日付、時間を選択してバックアップする方式です。
- ・ クイックバックアップ : 時間を直接入力してバックアップする方式です。

アドバンスメニュー使用方法 (16CH)

[1] バックアップするメディアを選択します。

- ・ USB : USBメモリー
- ・ DVD : CD-R, CD R/W, DVD-R, DVD R/W



[2] アドバンスバックアップを選択します。



[3] バックアップしたい日付を選択します。(データが残っている日は赤色に表示されます。)



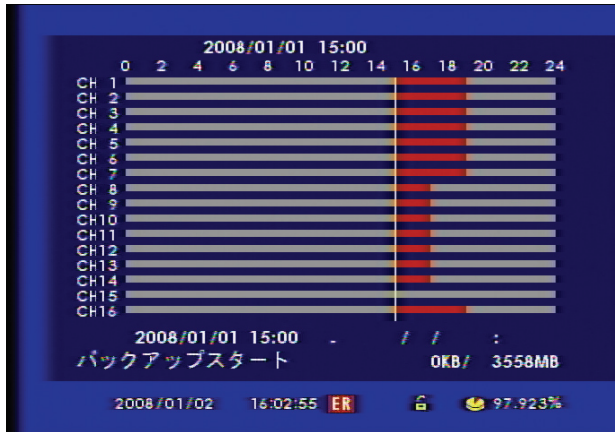
DIGITAL VIDEO RECORDER

[4] バックアップしたい時間帯を選択します。

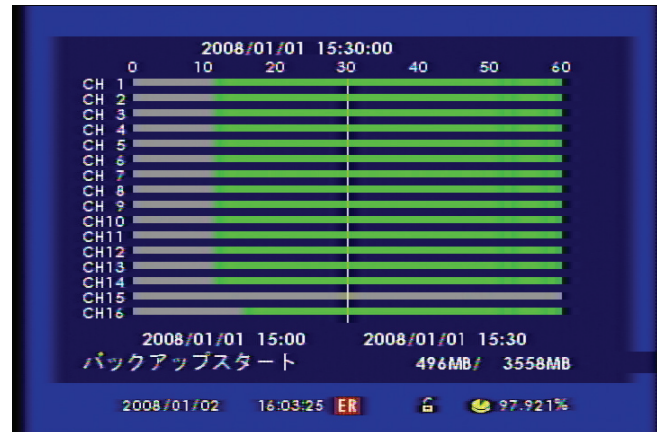


▶ 時間選択方法の例1

バックアップ時間：：15時から15時30分までバックアップする場合



(A 画面)



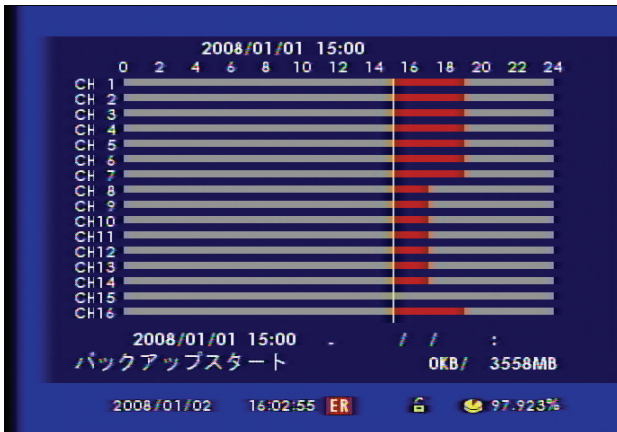
(B 画面)

- ① **A** 画面で 15時を選択し、**1** を押下すると、“バックアップ開始”に時間が入力されます。
- ② **確認** ボタンを選択すると、**B** に移動します。
- ③ **B** 画面で 30分を選択し、**2** ボタン押下すると、“バックアップ終了”に 15時30が入力されます。
- ④ **B** 画面で “バックアップスタート”を選択すると、次のメニューに移動します。

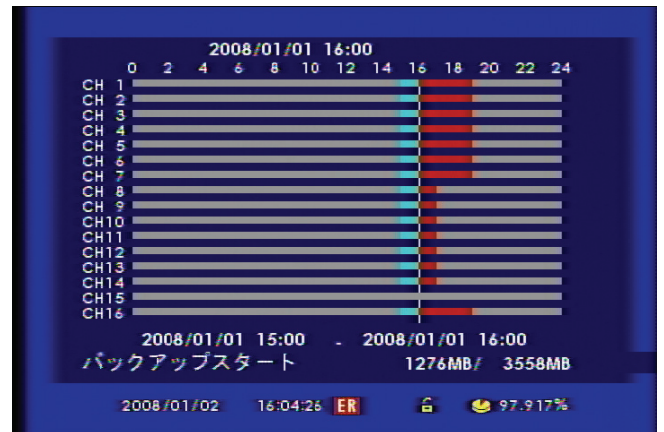
▶ 時間選択方法の例2

バックアップ時間：15時から16時までバックアップする場合

DIGITAL VIDEO RECORDER



(A 画面)

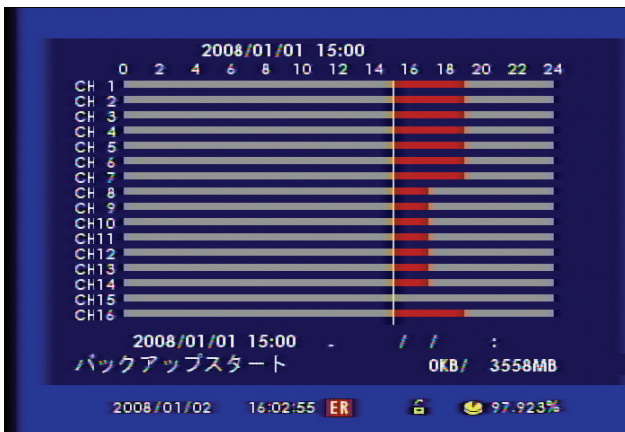


(B 画面)

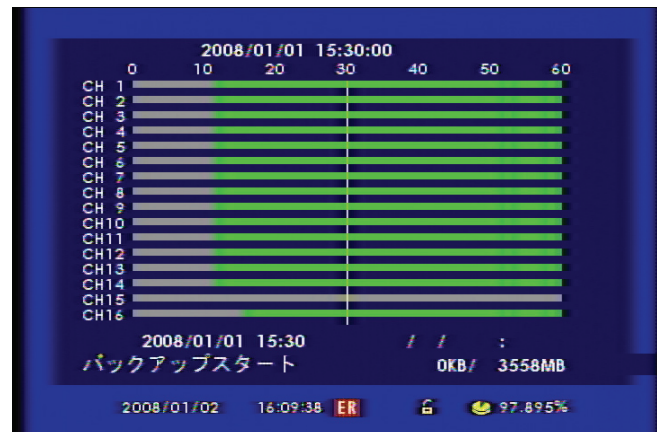
- ① **A** 画面で 15時を選択し、**1** を押下すると、“バックアップ開始”に時間が入力されます。
- ② 現在の画面で方向キーを利用し16時に移動します。その後 **B** 画面のように **2** ボタンを押下すると16時に入力されます。
- ③ **A** 画面で “バックアップスタート”を選択すれば次のメニューに移動します。

▶ 時間選択方法の例3

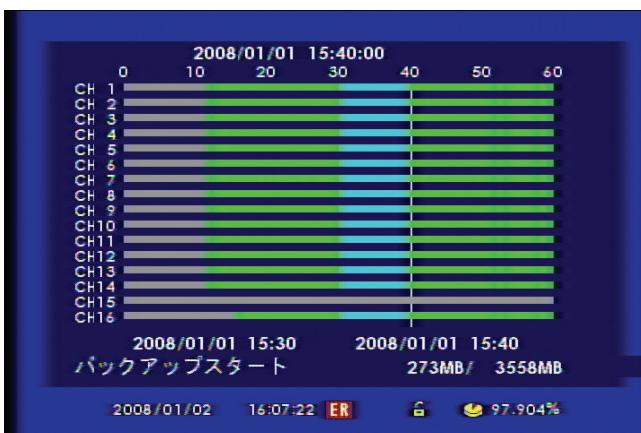
バックアップ時間：15時30分から 15時40分までバックアップする場合



(A 画面)



(B 画面)



(C 画面)

- ① **A** 画面で 15時を選択し、**1** を押下すると、“バックアップ開始”に時間が入力されます。
- ② **確認** ボタンを選択すると、**B** に移動します。

- ③ **B** で 15時30分を選択し、**1** ボタン押下すると15時30分に入力されます。
- ④ **B** 画面で 15時40分を選択し、**2** ボタンを押下すると、**C** 画面のように入力されます。
- ⑤ 入力完了したら、バックアップスタートを選択して次のメニューに移動します。

アドバンスメニュー使用方法 (9 CH)

[1] バックアップするメディアを選択します。

- ・ USB : USBメモリー
- ・ DVD : CD-R, CD R/W, DVD-R, DVD R/W



[2] アドバンスバックアップを選択します。



DIGITAL VIDEO RECORDER

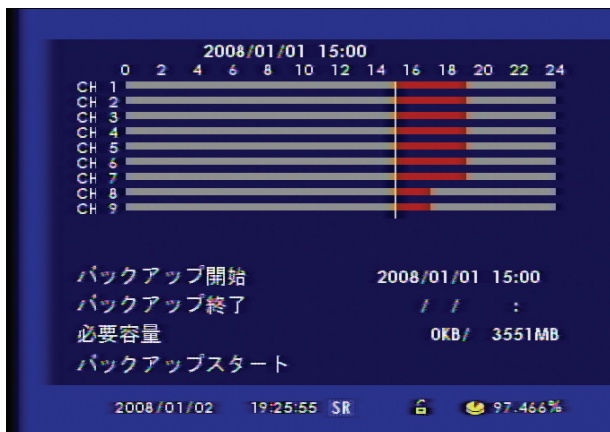
[3]バックアップしたい日付を選択します。(データが残っている日は赤色に表示されます。)



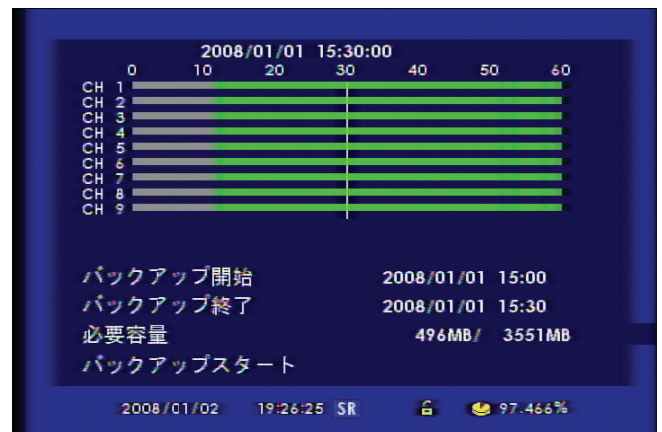
[4] バックアップしたい時間を選択します。

▶ 時間選択方法の例1

バックアップ時間：15時から15時30分までバックアップする場合



(A 画面)



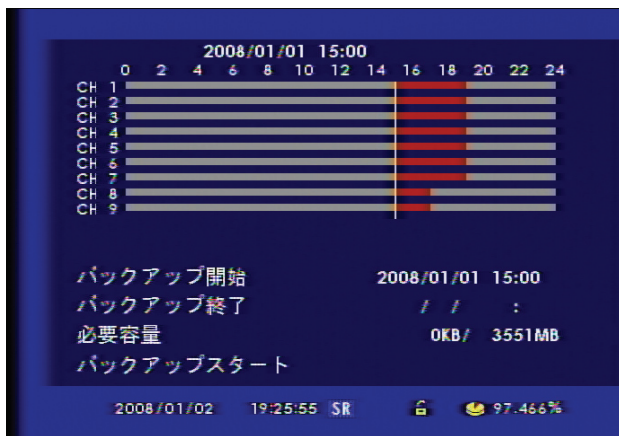
(B 画面)

- ① **A** 画面で 15時を選択し、**1** を押下すると、“バックアップ開始”に時間が入力されます。
- ② **確認** ボタンを選択すると、**B** に移動します。
- ③ **B** で 30分を選択し、**2** ボタン押下すると、“バックアップ終了”に 15時30が入力されます。
- ④ **B** 画面で “バックアップスタート”を選択すると、次のメニューに移動します。

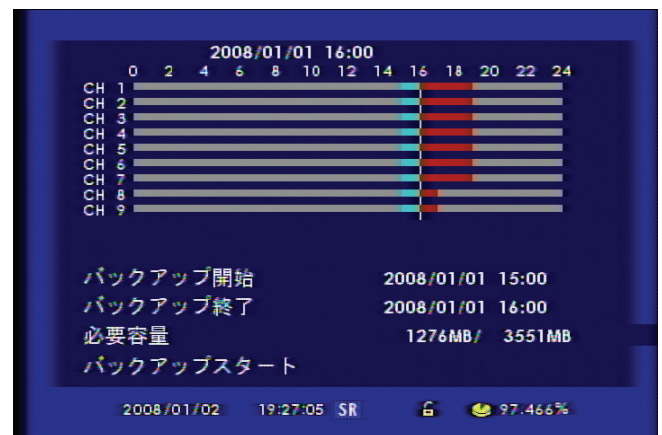
DIGITAL VIDEO RECORDER

▶ 時間選択方法の例2

バックアップ時間：15時～16時までバックアップをする場合



(A 画面)

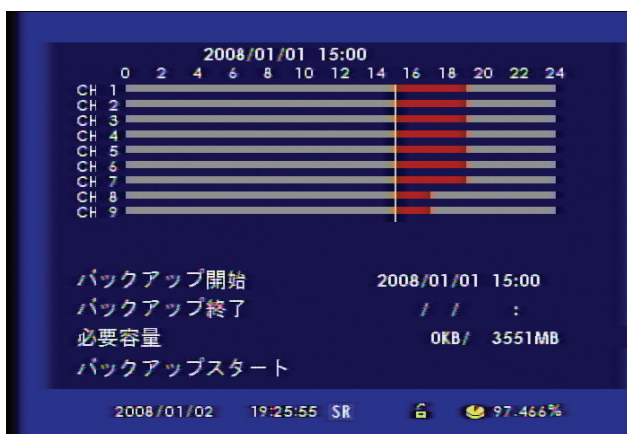


(B 画面)

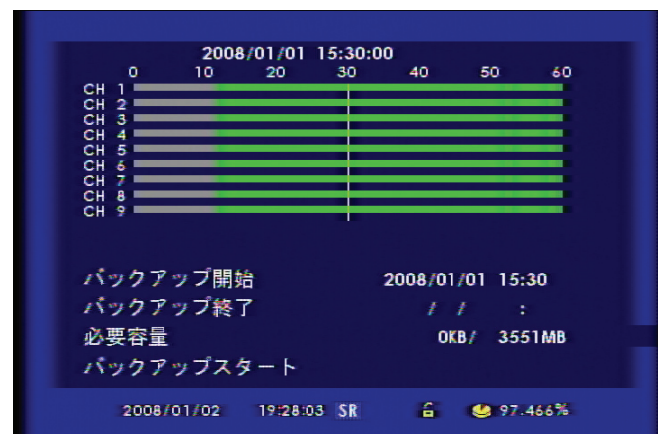
- ① **A** 画面で 15時を選択し、**1** を押下すると、“バックアップ開始”に時間が入力されます。
- ② 現在の画面で方向キーを利用して16時に移動します。その後 **B** 画面のように **2** ボタンを押下すると16時に入力されます。
- ③ **A** 画面で “バックアップスタート”を選択すれば次のメニューに移動します。

▶ 時間選択方法の例3

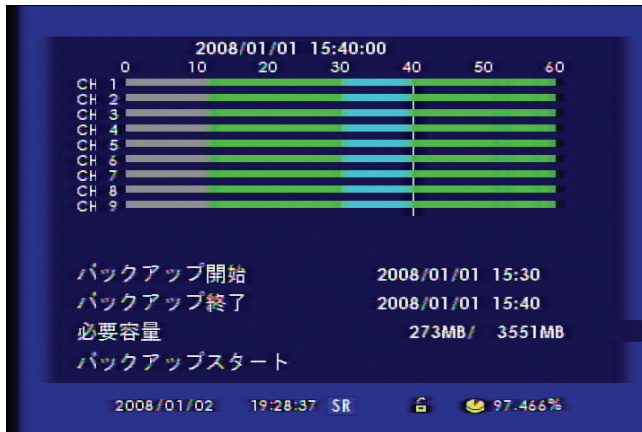
バックアップ時間：15時30分から15時40分までバックアップする場合



(A 画面)



(B 画面)



(C 画面)

- ① **A** 画面で 15時を選択し、**1** を押下すると、“バックアップ開始” に時間が入力されます。
- ② **確認** ボタンを選択すると、**B** に移動します。
- ③ **B** で 15時30分を選択し、**1** ボタン押下すると15時30分に入力されます。
- ④ **B** 画面で 15時40分を選択し、**2** ボタンを押下すると、**C** 画面のように入力されます。
- ⑤ 入力完了したら、バックアップスタートを選択して次のメニューに移動します。

アドバンスメニュー使用方法(4CH)

[1] バックアップするメディアを選択します。

- ・ USB : USBメモリー
- ・ DVD : CD-R, CD R/W, DVD-R, DVD R/W



[2] アドバンスバックアップを選択します。



[3] バックアップしたい日付を選択します。(データが残っている日は赤色に表示されます。)



[4] バックアップしたい時間を選択します。

▶ 時間選択方法の例1

バックアップ時間：15時から15時30分までバックアップする場合



(A 画面)



(B 画面)

- ① **A** 画面で 15時を選択し、**1** を押下すると、“バックアップ開始”に時間が入力されます。
- ② **確認** ボタンを選択すると、**B** に移動します。
- ③ **B** で 30分を選択し、**2** ボタン押下すると、“バックアップ終了”に 15時30が入力されます。
- ④ **B** 画面で “バックアップスタート”を選択すると、次のメニューに移動します。

▶ 時間選択方法の例2

バックアップ時間：15時から16時までバックアップする場合



(A画面)



(B画面)

- ① **A** 画面で 15時を選択し、**1** を押下すると、“バックアップ開始”に時間が入力されます。
- ② 現在の画面で方向キーを利用し16時に移動します。その後 **B** 画面のように **2** ボタンを押下すると16時に入力されます。
- ③ **A** 画面で “バックアップスタート”を選択すれば次のメニューに移動します。

▶ 時間選択方法の例3

バックアップ時間：15時30分～15時40までバックアップする場合



(A画面)



(B画面)



(C 画面)

- ① **A** 画面で 15時を選択し、**1** を押下すると、“バックアップ開始”に時間が入力されます。
- ② **確認** ボタンを選択すると、**B** に移動します。
- ③ **B** で 15時30分を選択し、**1** ボタンを押下すると15時30分に入力されます。
- ④ **B** 画面で 15時40分を選択し、**2** ボタンを押下すると、**C** 画面のように入力されます。
- ⑤ 入力完了したら、バックアップスタートを選択して次のメニューに移動します。

16/9/4CH 共通

アドバンスバックアップの時間設定が完了されたら、“バックアップ開始”を選択してください。



- ▷ 装置：保存メディア(USBメモリースティック、CD-R、CD R/W、DVD-R、DVD R/W)を表示します。
- ▷ 録画開始：DVRに保存された初めての映像ファイルの時間が表示されます。
- ▷ 録画終了：DVRに保存された最後の映像ファイルの時間が表示されます。
- ▷ バックアップ開始：バックアップ開始時間を入力して下さい。
- ▷ バックアップ終了：バックアップ終了時間を入力して下さい。

DIGITAL VIDEO RECORDER



- ▷ 装置：選択された保存メディア(USBメモリースティック、CD-R、CD R/W、DVD-R、DVD R/W)を表示します。
- ▷ 必要容量：バックアップする映像の容量を表示します。
- ▷ トータル：メディアの保存容量を表示します。



記録中には他の作業は出来ません。

クイック バックアップ (16/9/4CH 共通)

クイックバックアップは使用者が直接時間を選択してバックアップする機能です。

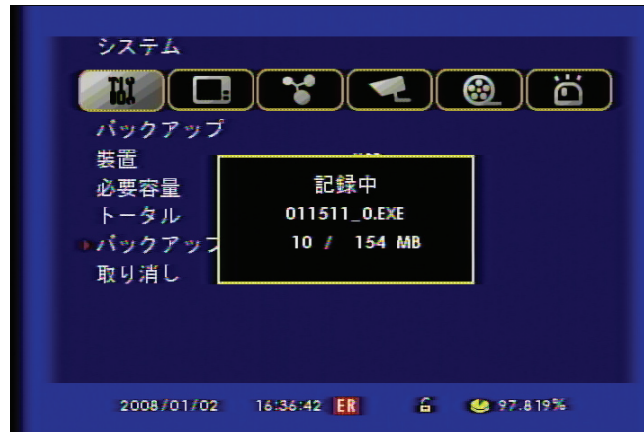


- ▷ 装置：保存メディア(USBメモリースティック、CD-R、CD R/W、DVD-R、DVD R/W)を表示します。
- ▷ 録画開始：DVRに保存された初めての映像ファイルの時間が表示されます。
- ▷ 録画終了：DVRに保存された最後の映像ファイルの時間が表示されます。
- ▷ バックアップ開始：バックアップ開始時間を入力して下さい。
- ▷ バックアップ終了：バックアップ終了時間を入力して下さい。



- ▷ 装置：選択された保存メディア(USBメモリースティック、CD-R、CD R/W、DVD-R、DVD R/W)を表示します。
- ▷ 必要容量：バックアップする映像の容量を表示します。
- ▷ トータル：メディアの保存容量を表示します。

DIGITAL VIDEO RECORDER

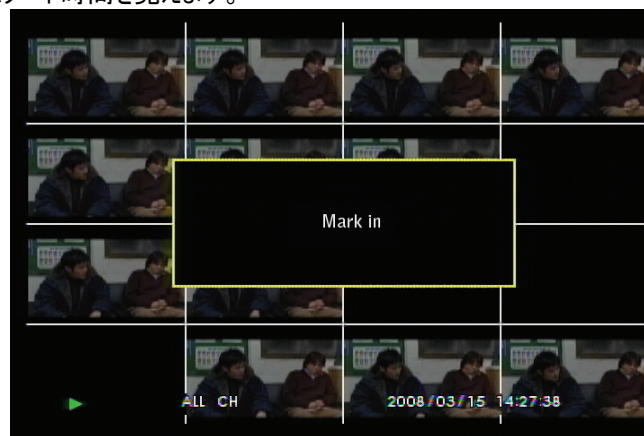


記録中には他の作業は出来ません。

簡単バックアップ (Mark in- Mark Backup)

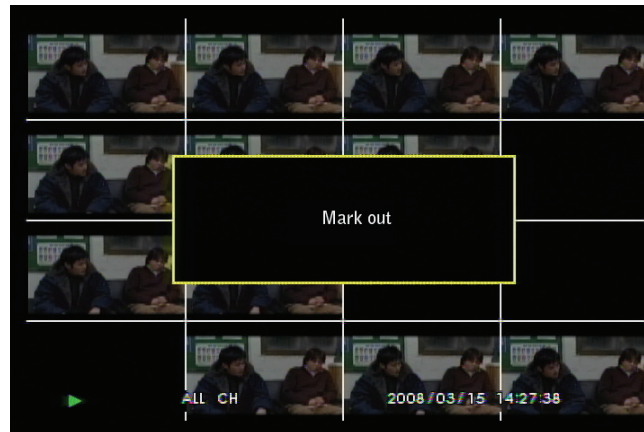
マーク イン-マーク バックアップは、再生中に映像ファイルを選択してバックアップする機能です。

[1] 再生中にバックアップが必要な映像の最初の部分で“Backup”ボタンを押下すると“Mark in”の表示が点灯します。DVR側でバックアップスタート時間を覚えます。

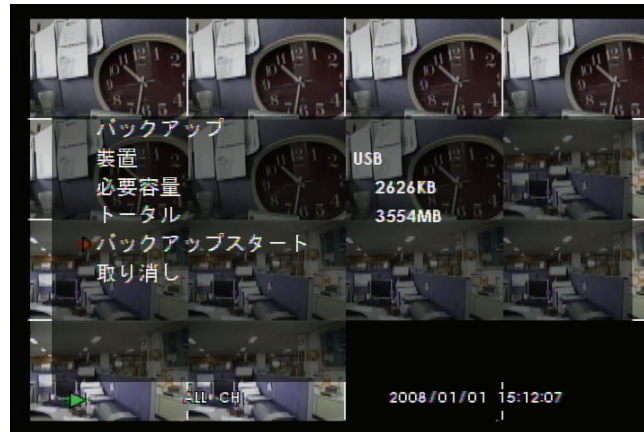


[2] 再生中にバックアップが必要な映像の最後の部分で“Backup”ボタンをもう一度押下すると“Mark Backup”という表示が出てバックアップしたい最終時間を覚えます。

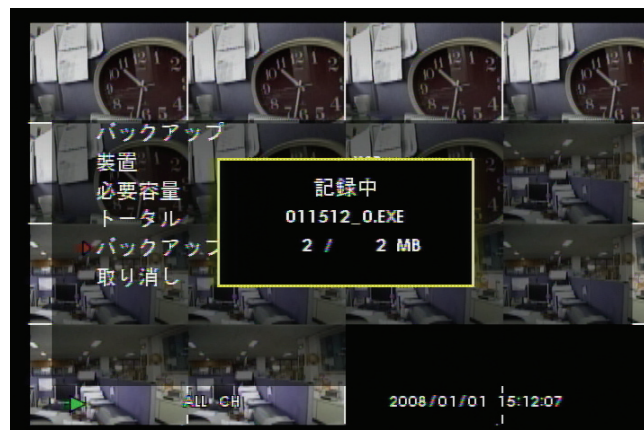
DIGITAL VIDEO RECORDER



[3] バックアップ装置を選択して、必要容量とトータル容量を確認した上でバックアップして下さい。



[4] 記録中には他の作業は出来ません。



[参考] バックアップが完了するとメディアにバックアップファイルとビューアプログラムと一緒に保存されます。

☞ ODDバックアップ時は録画できません。 USBバックアップ時は録画できます。

バックアップビューアー

バックアップ時、メディアにバックアップ映像が見られるビューアー プログラムも一緒に保存になります。
 PCにバックアップされた保存メディア(USBまたはCDなど)を挿入すれば、ビューアー プログラムが自動で実行されます。
 自動実行が出来ない時は保存メディアの中に入っている下記のアイコンをクリックします。



バックアップファイルを開く



バックアップファイル再生



バックアップファイル再生スピード調節(1倍速/2倍速/4倍速/8倍速/16倍速)



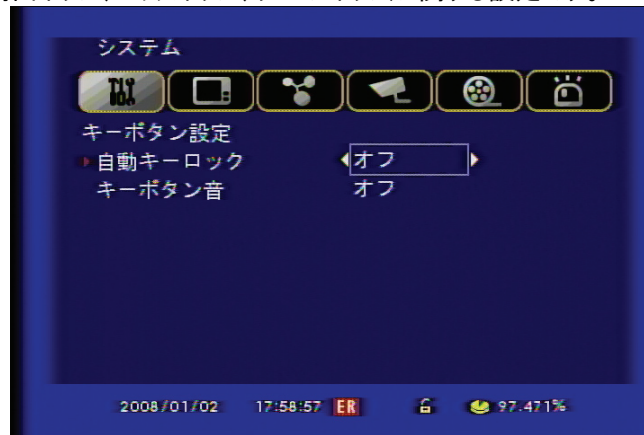
フレーム単位で再生



一時停止

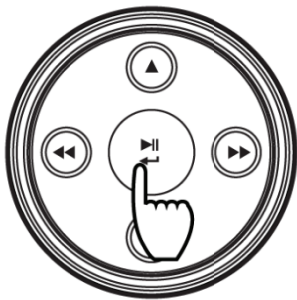
ボタン設定

操作ボタン(本体前面ボタン、マウスボタン、リモコンボタン)に関する設定です。



- (1)キーボタンロック：ボタン使用を制限する機能です。
- ・ オン：主要ボタンに関してはパスワード確認後、使用可能となります。
*QUAD、チャンネルボタンは制限なしに使用可能です。
 - ・ オフ：使用中止
- (2)キーボタン音：オンを選択した場合、ボタンを押すと“ピ”という音を出します。

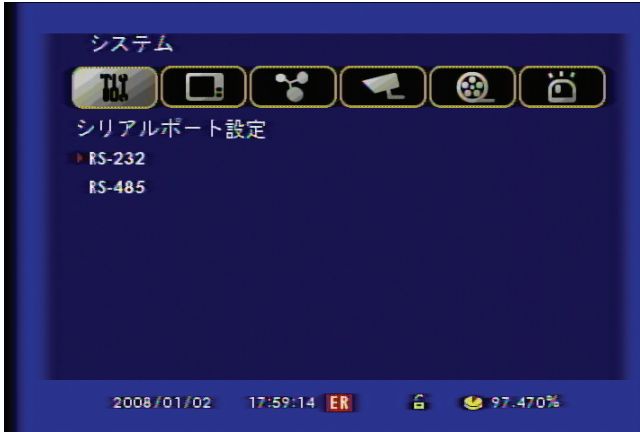
ログアウト



ライブ状態でボタンを長く押すとログアウトされます。

シリアルポート設定

周辺機器を使用するための通信ポートを設定するメニューです。

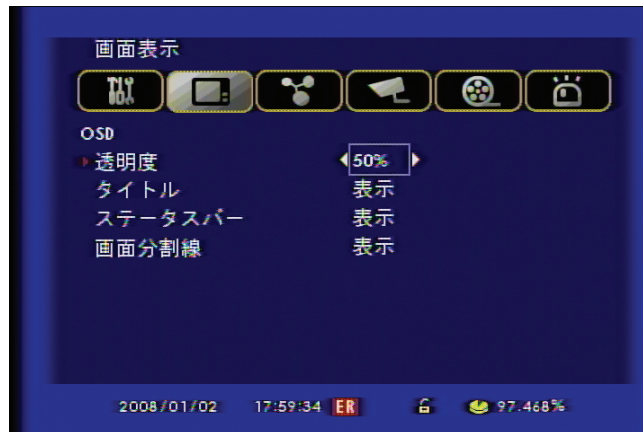


- ◀ RS-232 ポート使用時、下記のような情報を設定する必要があります。
 - ・ ボーレート/パリティ/ストップビット
- ◀ RS-485 ポートはキーボード及びパンチルトカメラを使用する時に設定します。設定方法は接続する装置によって違うので周辺機器のマニュアルを参考して設定してください。

第 5 章 — 画面表示

OSD

画面上に表示される事項を設定します。



- 1 透明度：メニューの呼び出しの際に壁紙の透明感を設定します。
- 2 タイトル：使用可否によって、カメラ名が表示されます。
- 3 ステータスバー：使用可否によって、状態を表すバーが表示されます。
- 4 画面分割線：使用可否によって、映像区分線が表示されます。

分割モード

分割モードは“QUAD”機能使用時、設定されたモードに変更できる機能です。

[参考] ライブ画面で方向キー(UPボタン)を押せば分割モードが変更されます。方向キー(右ボタン)を押せば分割モードのグループが変更されます。

分割モード選択 (16CH)

16分割モード



- ▷ 16分割モードは一つのグループがあります。
- ▷ 16分割モード設定後"QUAD"ボタンをクリックすると16分割モードに変更されます。
- ▷ 方向キーを利用してチャンネルを選択した後、左右ボタンでチャンネルの変更が出来ます。

13分割モード



- ▷ 13分割モードは二つのグループがあります。
- ▷ ライブ画面で"QUAD"ボタンをクリック時、設定した分割モードに変更され、“右方向キー”を押せばグループが変更されます。(例：グループⅠ→グループⅡ)
- ▷ ライブ画面で“上方向キー”を押す毎にいろんな形の分割モードに変更されます。

9分割モード



▷ 9分割モードは4つのタイプがあります。

▷ ライブ画面で“QUAD”ボタンをクリック時、設定した分割モードに変更され、“右方向キー”を押せばグループが変更されます。（例：グループⅠ→グループⅡ）

▷ ライブ画面で“上方向キー”を押す毎にいろんな形の分割モードに変更されます。

6分割モード

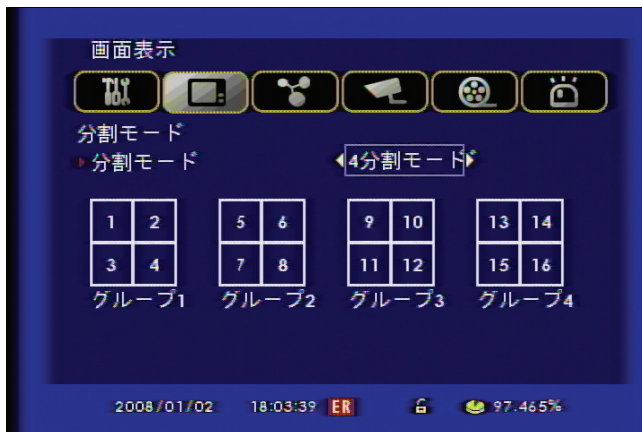


▷ 6分割モードは3つのグループがあります。

▷ ライブ画面で“QUAD”ボタンをクリック時、設定した分割モードに変更され、“右方向キー”を押せばグループが変更されます。（例：グループⅠ→グループⅡ）

▷ ライブ画面で“上方向キー”を押す毎にいろんな形の分割モードに変更されます。

4分割モード



▷ 4分割モードは4つのグループがあります。

▷ ライブ画面で“QUAD”ボタンをクリック時、設定した分割モードに変更され、“右方向キー”を押せばグループが変更されます。（例：グループⅠ→グループⅡ）

▷ ライブ画面で“上方向キー”を押す毎にいろんな形の分割モードに変更されます。

分割モード選択 (9CH)

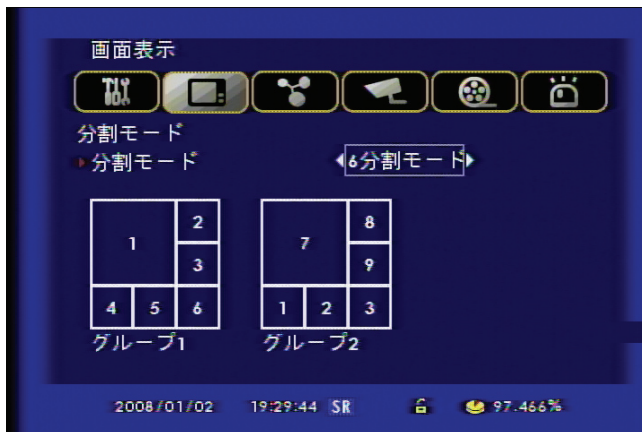
9分割モード



▷ 9分割モードは1つのグループがあります。

▷ 9分割モード設定後 “QUAD”ボタンをクリックすると9分割に変更されます。

6分割モード



▷ 6分割モードは2つのグループがあります。

▷ ライブ画面で“QUAD”ボタンをクリック時、設定した分割モードに変更され、“右方向キー”を押せばグループが変更されます。（例：グループⅠ→グループⅡ）

▷ ライブ画面で“上方向キー”を押す毎にいろんな形の分割モードに変更されます。

4分割モード



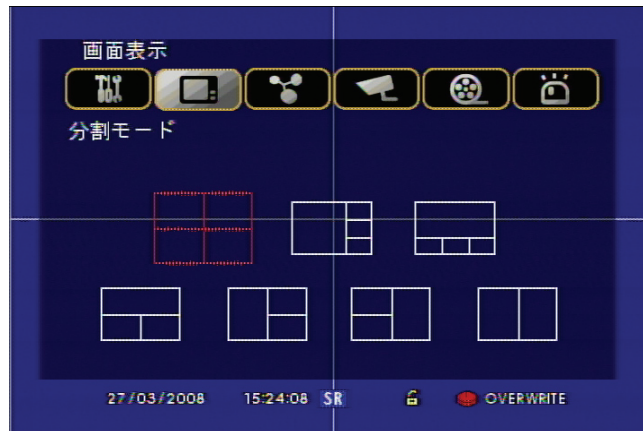
▷ 4分割モードは3つのグループがあります。

▷ ライブ画面で“QUAD”ボタンをクリック時、設定した分割モードに変更され、“右方向キー”を押せばグループが変更されます。（例：グループⅠ→グループⅡ）

▷ ライブ画面で“上方向キー”を押す毎にいろんな形の分割モードに変更されます。

分割モード選択(4CH)

QUADボタンをクリック時出て来る4分割モードを選択します。



▷ QUADボタンをクリックし表示する分割画面を選択します。

シーケンス

画面自動転換機能で、設定された時間によって自動的に画面が切り替わる機能です。



1 自動スキップ:使用可否によって、ビデオ入力のないチャンネルは画面の切り替えの時に表示されません。

2 表示時間:映像を順次に切り替える時に、チャンネル当たり切り替える時間を設定します。(範囲:1秒~30秒)

[参考] 16/9/4CHのタイプによって設定できるCH数は異なります

画面調節

- ▷ VGA 解像度は720X480と 800X600モードを支援します。
 - ビデオ入力がNTSCタイプの場合 : 800X600モード設定
 - ビデオ入力が PALタイプの場合 : 720X480モード設定
- ▷ アイコン機能はモニターによって最適化されたOSDを表示します。
 - 小型 : 小さいモニターを使用
 - NORMAL : TVモニター使用
 - VGA : VGA, LCDモニター使用

第 6 章 — ネットワーク設定

IP アドレス

遠隔でシステムの設定およびモニタリングができます。必要な場合は、バックアップも可能です。
この機能を使用するためには、本体のネットワーク設定を必ず実施してください。

インターネット環境がダイナミックIP(DHCP)もしくは固定IPなどの基本的な情報を確認してください。

ダイナミックIPと固定IP

ダイナミックIP : 本製品は別途サーバーの運営でダイナミックIPに対応しています。

固定IP : インターネット環境の中で特定のアドレスを取得している場合です。
世界で唯一のアドレスであるため、どこでも簡単に接続が可能です。



1 * DHCP機能

ダイナミックIP

インターネット環境がダイナミックIPのときに使用します。(オンに設定)

固定IP

固定IPの場合はDHCP機能が不要ありません。(オフに設定)

2 * IP情報設定

ダイナミックIP

ダイナミックIP使用の場合、設定しません。

固定IP

ネットワーク接続が固定IPの場合、IP情報をインターネットプロバイダーに問い合わせせて情報を入力してください。

[例]

- ・ IPアドレス : 192.168.001.050
- ・ サブネットマスク : 255.255.255.000
- ・ ゲートウェイ : 192.168.001.001
- ・ DNSアドレス : 168.126.063.001

※上記の数字は一例です。

3 DDNSアドレス

DDNSアドレスはダイナミックIP利用者だけが必要です。デフォルトは61.250.157.14です。

4 ネットワーク接続ポートを設定します。(共通 : ダイナミックIP / 固定 IP)

万一、ネットワーク設定をしたにもかかわらず、接続できない場合は、ポートの変更が必要になります。

同一ネットワーク環境ですでに他の装置が使用しているか、ルーター等で使用できないように設定しておく場合もありますので管理者あるいはプロバイダーに問い合わせしてください。

(工場出荷時のポート : 2000)

[参照] ダイナミックIP使用でルーターを使う場合

ルーターを使う場合、Port Forwarding を設定しなければなりません。Port Forwarding機能は使用ルーターのマニュアルを参照してください。

5 帯域幅(BANDWIDTH)調節はネットワーク速度によってスムーズに電送できるように設定します。

- LOW : ネットワーク 帯域幅(BANDWIDTH)が小さいと映像の I フレームのみ電送します。
- HIGH : ネットワーク 帯域幅(BANDWIDTH)が大きいと映像の I と P フレーム全てを電送します。

通知設定

イベント(アラーム、センサー、動き検知、ビデオロス、電源オン、パスワード変更など) 発生時、メールで通報してくれる機能です。

メール設定

**1** SMTPサーバー

メールサーバーのアドレスを入力します。

(64桁まで入力可能)

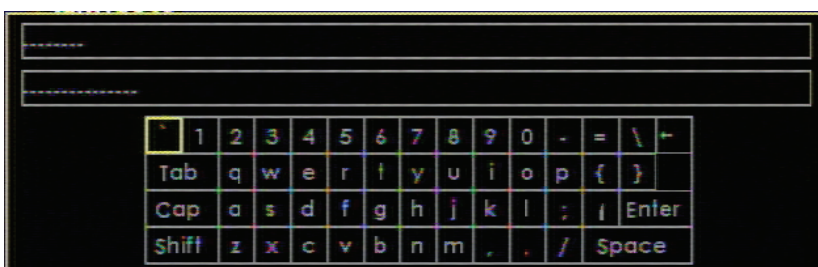
2 ポート

ほとんどのメールサーバーは25番を使っており、設定後、転送されない場合は、ポートの確認が必要です。

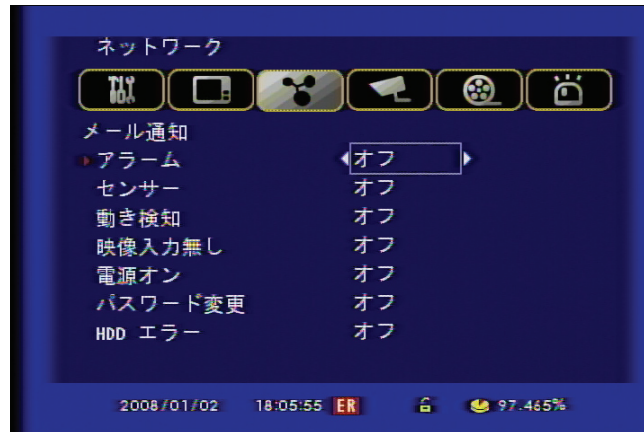
3 メールアドレス

メールアドレスを入力します。

(64桁まで入力可能、3人までメール発送可能)

4 パスワード

メール通知



◀ 設定が“オン”の場合は、下記のような状況でメールが転送されます。

- ・ アラーム：アラームが発生した場合
- ・ センサー：センサーが発生した場合
- ・ 動き検知：動きが発生した場合
- ・ ビデオロス：ビデオロスになった場合
- ・ 電源オン：電源がオンになった場合
- ・ パスワード変更：パスワードが変更された場合
- ・ HDD エラー：HDDディスクにエラーが発生した場合

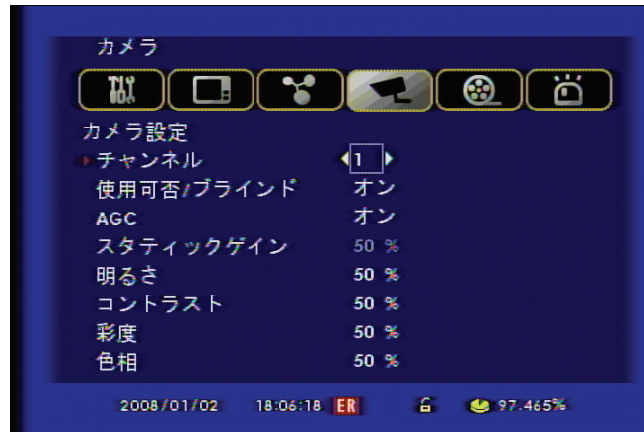
[参照]

- ・ アラーム/センサー/動き検知：時間設定が可能です。
(範囲：オフ、10分、30分、1時間、12時間、24時間)
- ・ ビデオロス/電源オン/パスワード変更：オン/オフ 可能
- ・ メール転送時、イベント発生後、設定によって送信されます。

第 7 章 — カメラ

カメラ設定

カメラの使用可否と色、明るさなどを設定するメニューです。



- 1** チャンネル：設定するチャンネルを選択します。
- 2** オン/オフ/ブラインド：カメラ使用可否を設定します。
 オン：使用する
 オフ：使用中止
 ブラインド：画面を隠す機能(録画は中止されなくライブの映像だけ表示しません)
- 3** AGC (Automatic Gain Control)：自動ゲイン調節はカメラ出力信号によって適当な明るさに出力されるように自動でゲインを調節する機能です。
- 4** スタティックゲイン(固定利得)：カメラ入力信号を増幅します。
 画面が暗ければゲインを増加させ、明るければゲインを減少させて適当な利得を設定します。
- 5** 画面の表示状態を設定します。録画にも適用されます。
 - ・明るさ：画質の明るさを調節
 - ・コントラスト：色の濃さを調節
 - ・彩度：画質の白黒を調節
 - ・色相：全体の色を緑系と赤系で調節

カメラタイトル

カメラ名を入力します。クリックすると仮想キーボードが表示されます。



▷ クリックすると仮想キーボードが表示されます。

[参考] 16/9/4CHモデルによってチャンネル数は異なります。

パン/チルト

パンチルトカメラを使用する時の設定メニューです。



- ◀ パンチルトカメラ使用可否及びプロトコルを設定します。
- ・ チャンネル：どのチャンネルに接続するかを選択します。
- ・ 使用：パンチルトの使用可否を設定します。
- ・ モデル：パンチルトのプロトコルを選択します。
- ・ ID：パンチルトのIDを選択します。(パンチルトカメラのマニュアルを参照)

詳細設定

P T Z詳細設定で速度を設定します。



◀ 設定(パンチルト詳細設定)

- ・ パン速度 : 左右動きのスピード設定
- ・ チルト速度: 上下動きのスピード設定
- ・ ズーム速度 : ズームスピード設定
- ・ フォーカス速度 : フォーカススピード設定
- ・ 逆回し運転(PAN) : 右左移動時、反対側に移動させる機能です。
- ・ 逆回し運転(TILT) : 上下移動時、 反対側に移動させる機能です。

[参照] パンチルトプロトコルの選択

プロトコルというのは、パンチルトを動かすドライブのようなものです。プロトコルは、製品の型番またはプロトコルの名前で登録されています。

パンチルトカメラ購入の時には、カメラのプロトコルの支援の確認が必要になります。

* ツアーリング機能はパンチルトカメラの仕様によって動作できます。

パンチルト使用法

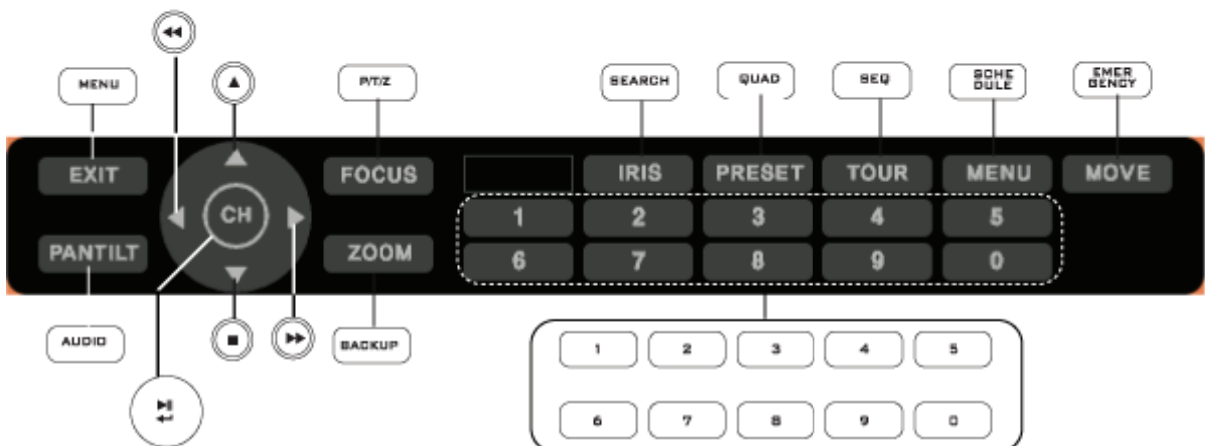
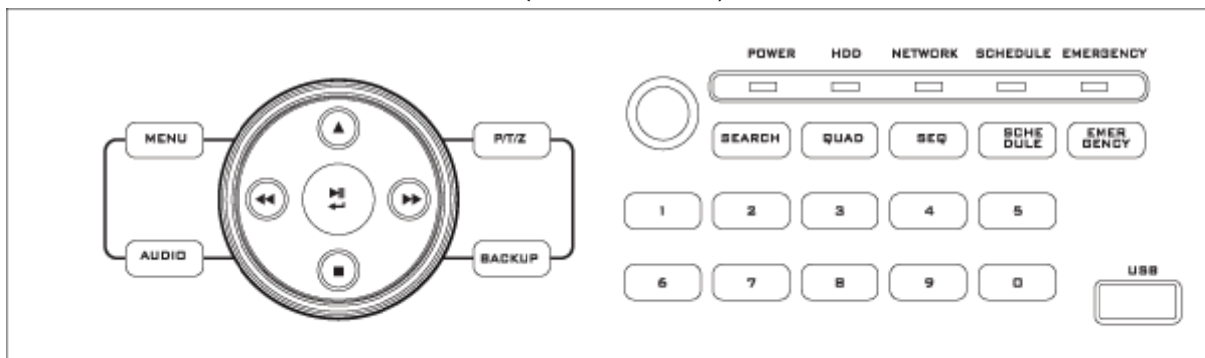
本製品はパンチルトカメラを利用しプリセットまたはツアーリングなどの様々な機能を提供します。

フロントボタンを利用したPTZ制御方法。

フロントパネルで“PTZ”を選択すると下記の画面のようにパンチルトメニューが呼出されます。



(PTZ 制御画面)



上記のようにPTZ制御は前面部のボタン位置と同じです。

DIGITAL VIDEO RECORDER

- ▷ チャンネル選択方法：マルチ画面で“PTZ”ボタンを選択した後、方向キーで画面を選択します。シングル画面でP T Zを制御する場合はまずチャンネルを選択した後“PTZ”を選択します。

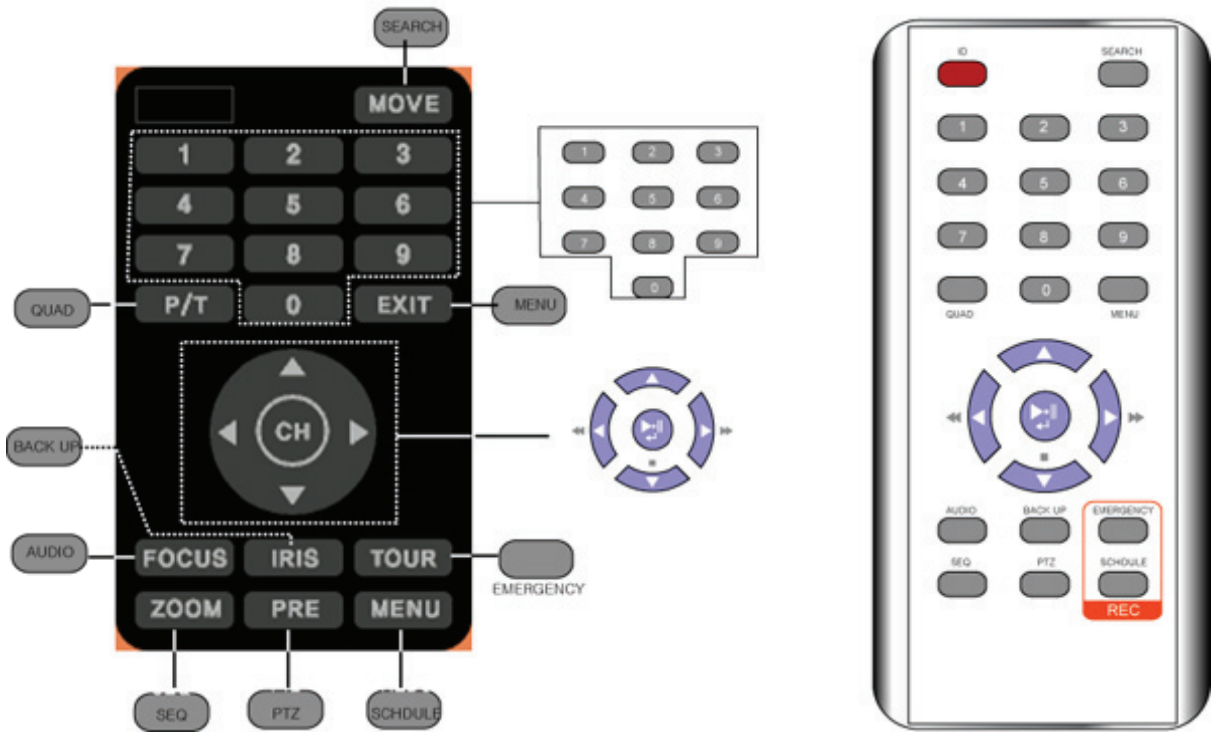
- ▷ EXIT：パンチルト制御を終了します。
- ▷ CH：機能解除
- ▷ PANTILT：パンチルトカメラの方向を制御します。カメラ移動時方向キーで制御します。
- ▷ FOCUS：パンチルトカメラでフォーカスを調節します。上下方向キーで制御します。
- ▷ ZOOM：パンチルトカメラで映像を拡大または縮小します。上下方向キーで制御します。
- ▷ IRIS：パンチルトカメラの照度を調節します。上下方向キーで制御します。
- ▷ MOVE：パンチルト制御画面の移動が出来ます。[PRESET]機能で番号移動時にも使えます。
- ▷ PRESET：P T Zのプリセット機能を制御します。
 - プリセット保存方法：まず [PANTILT]ボタンを選択した後、方向キーを利用して位置を選択します。[PRESET]ボタンを押すと保存しようとするプリセット番号を入力します。左右上下ボタンを使用して保存します。
(プリセット保存範囲：00から99まで)

 - プリセット呼出：まず[PRESET]ボタンを選択した後、プリセット番号を入力して[MOVE]を選択したらP T Zが移動します。

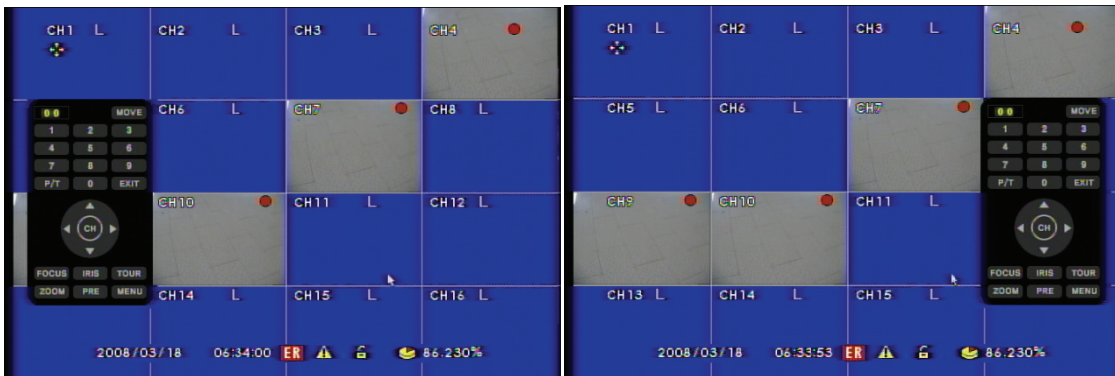
- ▷ TOUR：ツアーリング機能は保存したプリセット番号の順番どおり自動にカメラが移動される機能です。
(但し、ツアーリング機能はカメラ仕様によって作動しないカメラもあります。)

- ▷ MENU：P T Zカメラに内蔵されているメニューを呼出します。P T Zツアーリング機能設定及びID変更等を制御するためにはP T Zカメラ内蔵メニューを使用してください。

マウス及びリモコンを利用する P T Z 制御方法



マウスのメニュー及びリモコンで“PTZ”ボタンを選択すると下記の画面のように P T Z 制御画面が呼び出されます。P T Z 制御画面はリモコンボタンの配列と同じです。



- ▷ チャンネル選択方法：マルチ画面ではリモコンの“PTZ”ボタン、マウスメニューでの“PTZ”ボタンを選択後、方向キーで画面を選択します。シングルモニターで P T Z 画面を制御する場合はまずチャンネルを選択した後“PTZ”ボタンを選択します。
- ▷ EXIT：パンチルト制御を終了します。
- ▷ CH：機能解除
- ▷ PANTILT：パンチルトカメラの方向を制御します。カメラ移動時方向キーで制御します。
- ▷ FOCUS：パンチルトカメラでフォーカスを調節します。上下方向キーで制御します。
- ▷ ZOOM：パンチルトカメラで映像を拡大または縮小します。上下方向キーで制御します。

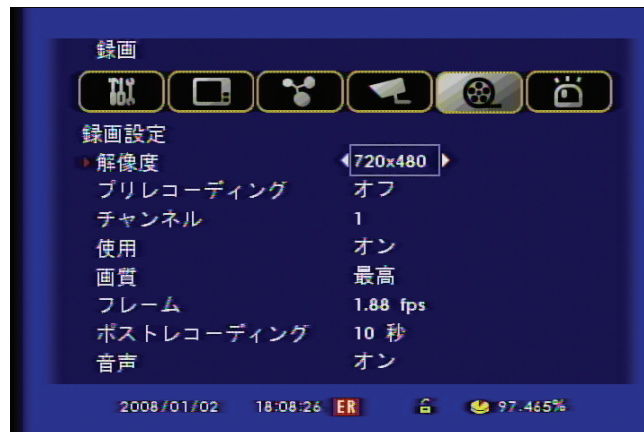
DIGITAL VIDEO RECORDER

- ▷ IRIS : パンチルトカメラの照度を調節します。上下方向キーで制御します。
- ▷ MOVE : パンチルト制御画面の移動が出来ます。 [PRESET]機能で番号移動時にも使えます。
- ▷ PRESET : P T Z のプレセット機能を制御します。
 - プリセット保存方法 : まず [PANTILT]ボタンを選択した後、方向キーを利用して位置を選択します。 [PRESET]ボタンを押すと保存しようとするプリセット番号を入力します。左右上下ボタンを使用して保存します。
(プリセット保存範囲 : 00から99まで)
 - プリセット呼出 : まず [PRESET]ボタンを選択した後、プリセット番号を入力して [MOVE]を選択したら P T Z が移動します。
- ▷ TOUR : ツアーリング機能は保存したプリセット番号の順番どおり自動にカメラが移動される機能です。
(但し, ツアーリング機能はカメラ仕様によって作動しないカメラもあります。)
- ▷ MENU : P T Z カメラに内蔵されているメニューを呼出します。 P T Z ツアーリング機能設定及び ID変更等を制御するためには P T Z カメラ内蔵メニューを使用してください。

第 8 章 — 録画

録画設定

録画の解像度選択及び各チャンネルの録画フレームを設定します。
映像サイズと画質の設定によって録画期間が変わるので、ご注意ください。



▷ 解像度設定：映像解像度を設定します。解像度によってフレームが変わります。
解像度が上がれば、フレーム数は低くなり、解像度が低くなればフレーム数は上がります。

[16CH]

解像度	NTSC	解像度	PAL
720 X 480	CH当り 1.88 F/S	720 X 576	CH当り 1.56 F/S
720 X 240	CH当り 3.75 F/S	720 X 288	CH当り 3.13 F/S
352 X 240	CH当り 7.50 F/S	352 X 288	CH当り 6.25 F/S

[9CH]

解像度	NTSC	解像度	PAL
720 X 480	CH当り 3.33 F/S	720 X 576	CH当り 2.78 F/S
720 X 240	CH当り 6.67 F/S	720 X 288	CH当り 5.56 F/S
352 X 240	CH当り 13.33 F/S	352 X 288	CH当り 11.11 F/S

[4CH]

解像度	NTSC	解像度	PAL
720 X 480	CH当り 7.5 F/S	720 X 576	CH当り 6.25 F/S
720 X 240	CH当り 15 F/S	720 X 288	CH当り 12.5 F/S
352 X 240	CH当り 30 F/S	352 X 288	CH当り 25 F/S

▷ プレレコーディング

この機能はイベント発生する前の事前録画時間を設定します。イベントが発生する 5秒位の以前の映像から録画します。(解像度とフレームによって秒数が変化します。)

▷ チャンネル：チャンネルを選択します。

▷ 使用：録画可否を選択します。

▷ 画質：録画画質を選択します。

[画質] LOWEST < LOW < NORMAL < HIGH < HIGHEST
最低 < 低 < 普通 < 高 < 最高

▷ フレーム：解像度によって録画フレームも変わるので上記の表を参考にして設定してください。

▷ ポストレコーディング：イベント発生終了後の事後録画時間を設定します。

▷ 音声：音声録画可否を設定します。

スケジュール録画

予約録画の機能で曜日別、時間別、チャンネル別に設定し、予約通りに録画します。
30分単位で設定できます。

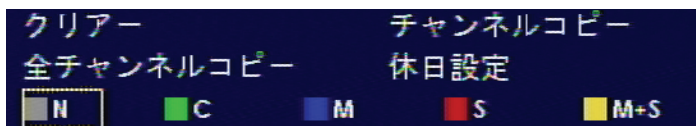


- N：録画なし
- C：連続録画
- M：動き検知による録画
- S：センサーによる録画
- M+S：動きまたはセンサーによる録画

DIGITAL VIDEO RECORDER

[設定方法]

1. CHを選択します。（CHはモデルによって4CH・9CH・16CHに表示されます。）
2. 下記のように録画したい曜日と時間を選択して“確認ボタン”を押したら N-> C -. M -> S -> M+Sに変更されます。



3. クリアー：選択された曜日の設定を削除します。
4. チャンネルコピー：設定された録画日程を選択してチャンネルにコピーします。
5. 全チャンネルコピー：全曜日適用時に選択。
6. 休日設定：特定日設定機能で“休日設定”の設定通りに録画が行われます。

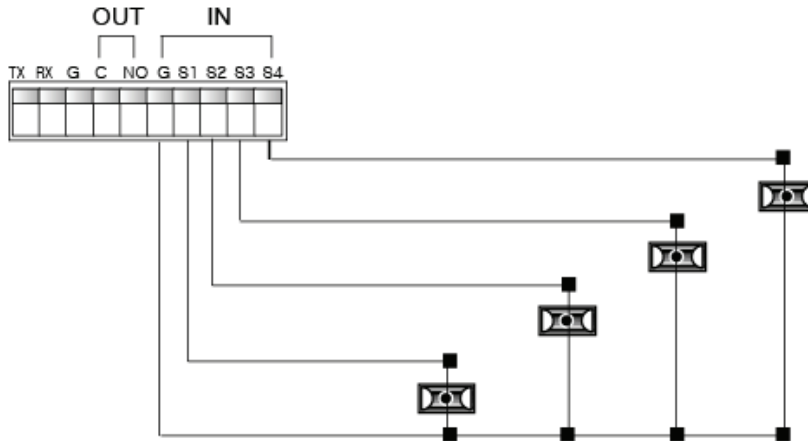


特定日設定機能で“休日設定”の設定通りに録画が行われます。

第 9 章 — イベント

センサー

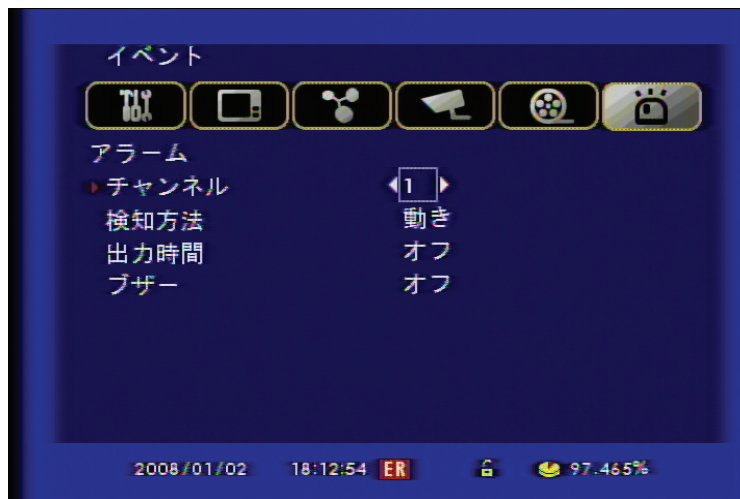
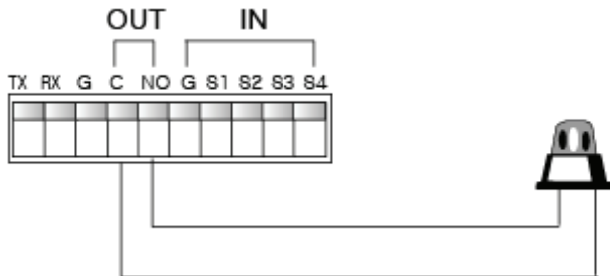
センサーの接続と設定方法を説明します。
本製品はモデルに関係なくセンサー入力は四つになります。



- ▷ センサー入力：センサー入力チャンネルを選択します。
- ▷ 使用：センサー使用可否を選択します。
- ▷ 入力タイプ：センサーの接点タイプを選択します。
 - N/Open（ノーマルオープン）：接点がついたら信号発生
 - N/Close（ノーマルクローズ）：接点が離れたら信号発生
- ▷ 連動カメラ：センサーと連動するカメラを選択します。多種選択可能。

アラーム

本製品はモデルに関係なくアラームは一つになります。アラームの接続と設定方法を説明します。



- 1 チャンネル：アラーム出力するチャンネルを選択します。
- 2 検知方法：アラームを出力するイベントを選択します。
 - ・動き：動き検知の時、アラーム出力
 - ・センサー：センサー発生の時、アラーム出力
 - ・ビデオロス：ビデオロスになった場合アラーム出力
- 3 出力時間：アラーム出力時間を設定します。(範囲：1秒~30秒)
- 4 ブザー：ブザー持続時間を設定します。(範囲：1秒~30秒)
- 5 アラーム終了：確認ボタンを押すとアラーム出力が遮断されます。

動き検知

動き検知(モーション検知機能)領域を設定するメニューです。

この機能は動き発生時にイベント録画が出来るように領域と感度を設定します。



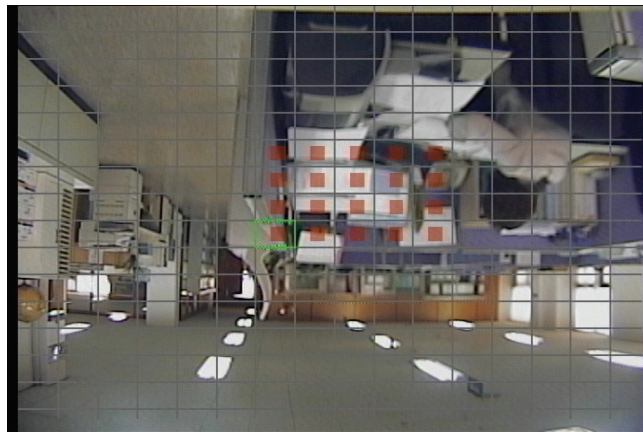
1 チャンネル：動き検知を設定するチャンネルを選択します。

2 使用：動き検知使用可否を選択します。

3 感度：動き検知の感度を設定します。

実際適用時には、感度反応可否をテストしてから適用してください。

4 検知エリア：動き検知領域を設定



設定は方向キーで操作します。“確認”ボタンをクリックして選択します。

*動き検知領域選択: 赤色

* 動き検知領域解除: 透明色

[一括適用] 全体的に適用する場合は、一括適用キーが便利です。

1 ボタン：全体解除

2 ボタン：全体選択

[マウス使用時]

右側クリックでドラッグしてエリアを設定します。

スポット出力

別途のモニターを利用して一つのCHずつ時間別、全体画面で繰り返し切り替わります。



▷ 画面表示方法：出力モードを選択します。

- ・ 16CH：CH1～CH16の選択されたCHのみ出力
- ・ 9CH：CH1～CH9の選択されたCHのみ出力
- ・ 4CH：CH1～CH4の選択されたCHのみ出力
- ・ シーケンス：チャンネル別に時間設定通りに繰り返し出力します。
- ・ イベント：イベント発生チャンネルだけ順次に出力します。次のイベント発生まで出力。
- ・ シーケンス+イベント：チャンネル別に時間設定通り出力されますが、イベントが発生すると該当チャンネルだけが順次出力されます。

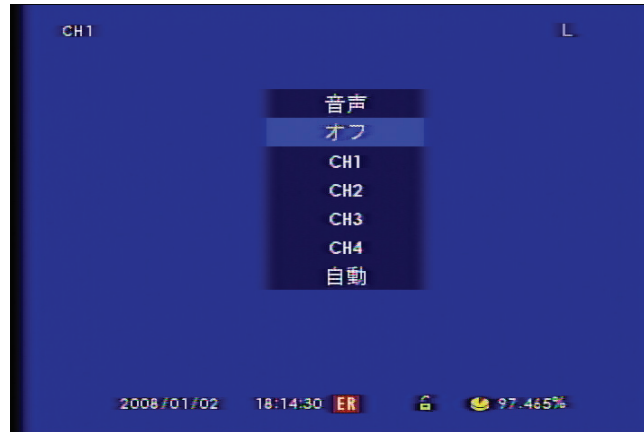
▷ 表示時間：チャンネル別の出力時間を設定し順番に繰り返し出力できるように設定します。

16/9/4CHによって設定できるチャンネル数は異なります。

[参考] SPOT出力時 9/16CHではチャンネルが表示されますが、4CHはチャンネル表示が出来ません。

音声出力

DVRにマイクが接続されて録画した場合はライブ及び再生時、音声聴取が出来ます。マルチ画面でも音声聴取が可能です。



▷ メニュー呼出：ライブ及び再生時 “AUDIO”ボタンを選択すると “AUDIO出力”メニューが呼び出されます。

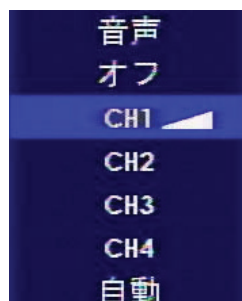
メニュー呼出はフロントパネル、リモコン、マウスで操作できます。

▷ モード選択

- ・ オフ：AUDIO出力なし
- ・ CH1：CH1のみ出力
- ・ CH2：CH2のみ出力
- ・ CH3：CH3のみ出力
- ・ CH4：CH4のみ出力
- ・ 自動：設定されたチャンネルのAUDIOのみ出力されます。

▷ ボリューム調節

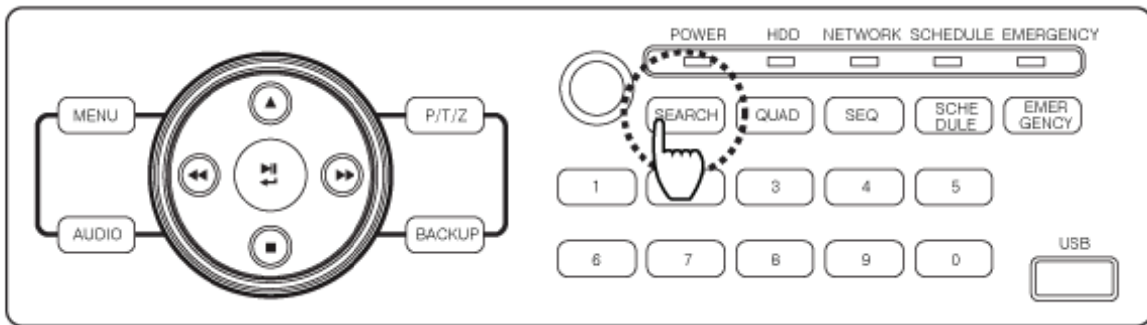
音声出力メニューでチャンネルを選択した後、左右方向キーで調節します。



第 10 章 — 検索

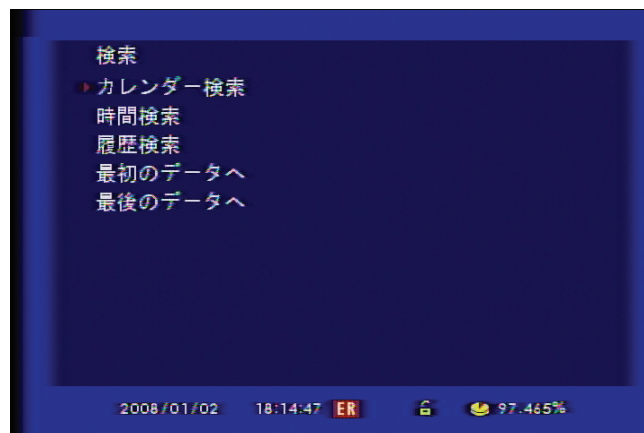
検索

本製品は保存した録画データを再生することが出来ます。また検索条件を適用し再生する時間の録画データをすぐ検索することが出来ます。



▷ 検索方法：録画データを検索するためにはフロントパネルの **SEARCH** ボタン、リモコンの **SEARCH** ボタン、マウスメニューの **SEARCH** ボタンをクリックしてください。

▷ 検索方法選択



- ・ カレンダー検索: カレンダーを利用し検索します。検索する正確な時間が分からない時に使用します。
- ・ 時間検索: 正確な時間を選択し検索します。
- ・ 履歴検索: イベントが発生したデータだけを検索します。(スケジュールでイベント録画が設定されていないと履歴検索は出来ません。)
- ・ 最初のデータへ: HDDに保存されているデータの最初のデータから再生されます。
- ・ 最後のデータへ: HDDに保存されているデータの最後のデータから再生されます。

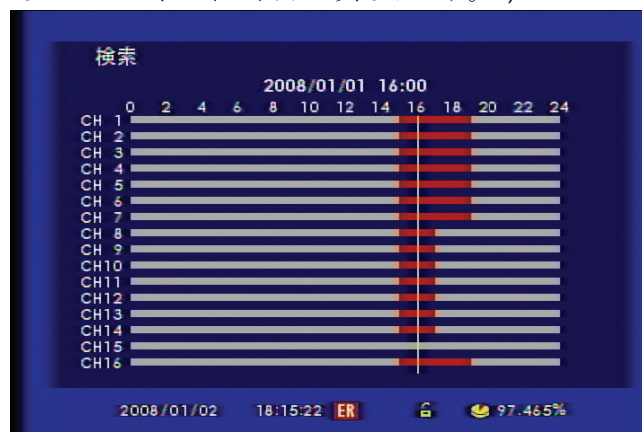
カレンダー検索

カレンダーを利用して検索する機能です。

1. カレンダー検索を選択すると下記のようにカレンダー表示が出てきます。録画データがある日付は赤色に表示されます。方向キーを利用して、年/月/日の変更が出来ます。日付を選択して確認ボタンを押してください。

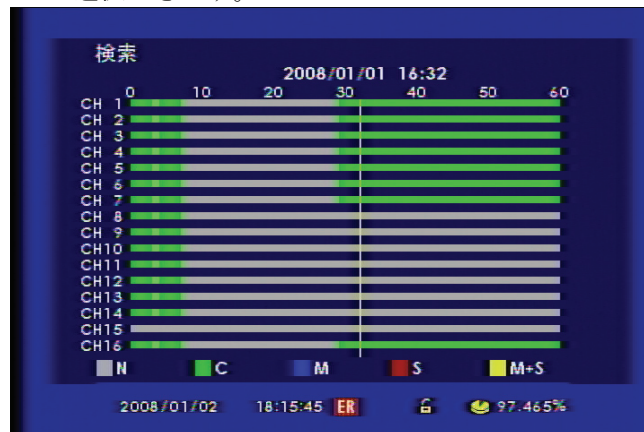


2. 時間別・チャンネル別に録画データが下記のようにグラフに表示され、検索したい時間を設定して“確認”ボタンを押します。
(但し、16/9/4CHによってチャンネル表示は異なります。)



DIGITAL VIDEO RECORDER

3. 当該時間帯の“分”まで選択できます。



時間検索

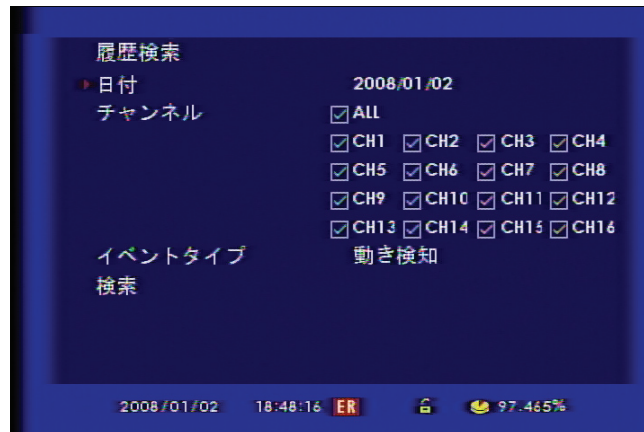
HDDに保存されているすべての録画データの最初から最後まで時間情報を表示します。



- ▷ 録画開始：最初録画データ
- ▷ 録画終了：最後録画データ
- ▷ チャンネル：再生するチャンネル及び“全チャンネル”を選択します。
- ▷ 再生開始：再生を開始する日付、時間、分を選択します。
- ▷ 再生：入力設定した時間からさいせいが始まります。

履歴検索

メニューの検索の **履歴検索** を選択します。



- ▷ 日付：検索する日付を選択します。
- ▷ チャンネル：検索するチャンネルを選択します。
- ▷ イベントタイプ：イベントタイプを選択します。（動き検知、センサー、映像信号なし、システム、オール）
- ▷ 検索：日付、チャンネル、イベントタイプの選択が終わったら現在の設定で検索が始まります。



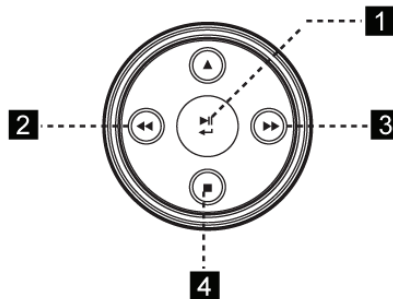
- ▷ 上記の画面のようにイベントリストで選択するとすぐに再生が始まります。

最初 /最後のデータへ


各項目を選択するとHDDの最初のデータあるいは最後のデータから再生が始まります。

再生ボタンの説明

[フロント方向キー制御]




- [1] 再生ボタン
- [2] 速度巻き戻し再生ボタン
- [3] 速度再生ボタン
- [4] 停止ボタン(現在の機能を終了して上位のメニューに移動します。)

※ コマ送り：映像を1コマずつ再生する方法で一時停止した後、一般再生速度調節ボタン  を押しことによって1コマずつ再生されます。(逆コマ送りは支援していません。)

[マウス使用]

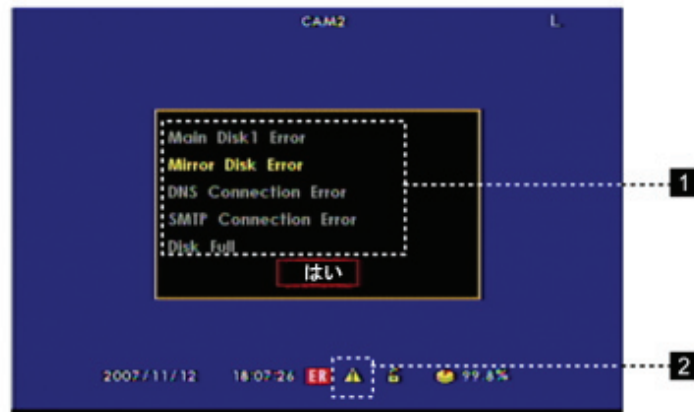


- [1] 一般再生
- [2] 一般再生速度調節
- [3] 5分後にスキップし映像再生
- [4] 一時停止
- [5] 停止ボタン(現在の機能を終了して上位のメニューに移動します。)
- [6] 逆再生(逆再生時には“1”フレームだけ再生され一般再生速度より速く再生されます。)
- [7] 逆再生速度調節(逆再生時には“1”フレームだけ再生され一般再生速度より速く再生されます。)
- [8] 5分前にスキップし映像再生

※ コマ送り：一時停止した後、一般再生速度調節ボタン  を押しことによって1コマずつ再生されます。(逆コマ送りは支援していません。)

第 11 章 — システムエラーチェック

DVRに問題が発生するとその事項について自動にお知らせする機能です。
DVRに問題が発生するとDVRは自体的に問題を認識してエラーメッセージを表示します。確認ボタンで詳しいエラー内容を見ることが出来ます。



1 エラーチェックリスト(黄色表示)

エラーリスト中に黄色で表示された項目が現システムに異常がある部分です。

[参考]

- ・ Main Disk1 Error : 1番目のHDDに問題発生
- ・ Mirror Disk Error : ミラーHDDに問題発生
(ミラーHDDを使わない場合には2番目のHDDを意味する“Main Disk2 Error”に表示が変更されます。)
- ・ DNS Connection Error : ダイナミックIPが支援されていない場合。
- ・ SMTP Connection Error : **通知**のメニューでメール設定が間違った場合。
- ・ Disk Full : “上書き”機能がオフになっていてHDD残量がない場合。(この場合にはHDDを交換するか、システムのHDD管理メニューで上書き機能をオンすると解決されます。)

2 警告アイコン

問題が解決されてない場合にはアイコンが消えません。

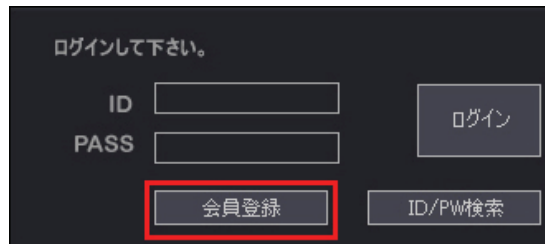
第 12章 —WEB BROWSER

本製品は WEB BROWSER機能を通して多数のDVRを登録します。PCにていつでもウェブモニタリングが出来て検索及びPTZの使用も可能です。

<http://www.livesecu.com>

会員登録

[1] まずは会員登録してください。



ログインして下さい。

ID

PASS

[2] 下記のように会員登録をします。



会員登録

下記の項目に情報をご記入下さい。

ID	<input type="text" value="user"/>	<input type="button" value="ID登録確認"/> More than 4 characters
パスワード	<input type="password"/>	再入力 <input type="password"/> More than 4 characters
お名前	<input type="text" value="使用者"/>	
国	<input type="text" value="Japan"/>	
電話番号	<input type="text" value="03-999-9999"/>	
携帯電話	<input type="text" value="090-9999-9999"/>	
メール	<input type="text" value="user@yahoo.co.jp"/>	

[3] 会員登録が完了されたらログインします。

DIGITAL VIDEO RECORDER

ログインして下さい。

ID

PASS

[4] DVRを登録するため "You DVR List"の "登録"ボタンをクリックします。

YOUR DVR LIST

[5-1] 製品登録 [ダイナミックIP] 使用者

製品登録

1	モデル	<input type="text" value="FDS410G"/>
2	登録名	<input type="text" value="チェーン店-1"/>
3	説明	<input type="text" value="居酒屋"/>
4	Web Code	<input type="text" value="G4FA002600000103"/>
5	使用者ID	<input type="text" value="HONG"/>
6	使用者パスワード	<input type="text" value="111111"/>
7	DDNS使用	<input checked="" type="radio"/> Use <input type="radio"/> No use
8	DDNS Server	<input type="text" value="61"/> <input type="text" value="250"/> <input type="text" value="157"/> <input type="text" value="14"/> Port <input type="text" value="2000"/>

- (1) モデル：DVR名を選択します。
- (2) 登録名：リストに表示するDVR名を選択します。

DIGITAL VIDEO RECORDER

- (3) 説明：入力しなくとも構いません。
- (4) ウェブコード：DVRメニューの“情報”に“Web Code”と同じコードを入力します。
- (5) User ID：使用者 IDを入力します。(DVRに登録されたIDを入力します。)
- (6) パスワード：使用者パスワードを入力します。(工場初期値は“111111”です。)
- (7) DDNS 使用：ダイナミックIP使用の方は“Use”を選択します。.
- (8) DDNS IP：DDNS Useをチェックした使用者は 61.250.157.14、ポートは2000で設定してください。

[5-2] 製品登録 [固定IP] 使用者

製品修正	
1	モデル <input type="text" value="FDS410G"/>
2	登録名 <input type="text" value="チェーン店-1"/>
3	説明 <input type="text" value="居酒屋"/>
4	Web Code <input type="text" value="G4FA002600000103"/>
5	使用者ID <input type="text" value="HONG"/>
6	使用者パスワード <input type="password" value="●●●●●"/>
7	DDNS使用 <input type="radio"/> Use <input checked="" type="radio"/> No use
8	DVR IP <input type="text" value="61"/> <input type="text" value="250"/> <input type="text" value="157"/> <input type="text" value="228"/> Port <input type="text" value="2000"/>
<input type="button" value="修正"/> <input type="button" value="取消"/> <input type="button" value="閉める"/>	

- (1) モデル：DVR名を選択します
- (2) 登録名：リストに表示するDVR名を選択します。
- (3) 説明：入力しなくとも構いません。
- (4) ウェブコード：DVRメニューの“情報”に“Web Code”と同じコードを入力します。
- (5) User ID：使用者 IDを入力します。(DVRに登録されたIDを入力します。)
- (6) パスワード：使用者パスワードを入力します。(工場初期値は“111111”です。)
- (7) DDNS 使用：固定IP使用の方は“No Use”を選択します。.
- (8) 固定IP：DVRに設定されている固定IP ネットワーク情報とポートを入力します。

DIGITAL VIDEO RECORDER

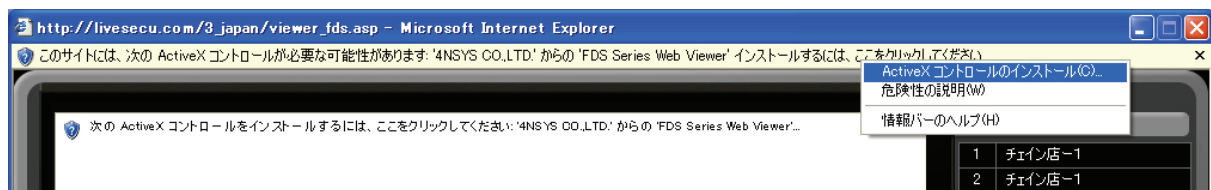
[6] 追加された DVR リスト



登録が完了された上記のような画面になります。
実行時、登録リストをクリックします。

実行方法

登録されたDVRリストを選択すると下記のように ActivX コントロールをインストールします。



設置方法はマウス右クリックで "ActivXコントロールをインストールします。"



[参照] 正常に実行できなかつたら再起動させてもう一度実行させてください。

DIGITAL VIDEO RECORDER

メイン画面



本製品のウェブビューアはDVRモデルに関係なく上記の画面で使用できます。

[特長]

- ・ウェブでライブ、検索、設定、PTZの使用が可能。
- ・4台のDVRが同時モニタリング可能
- ・ウェブサイトにDVR登録は無制限です。

- ・ Ctrl + マウス右ダブルクリック: 一つのチャンネルをポップアップします。
- ・ Shift + マウス右ダブルクリック: 選択されたDVRの全体画面に切り替わります。
(復旧時、もう一度ダブルクリック)

キャプチャー

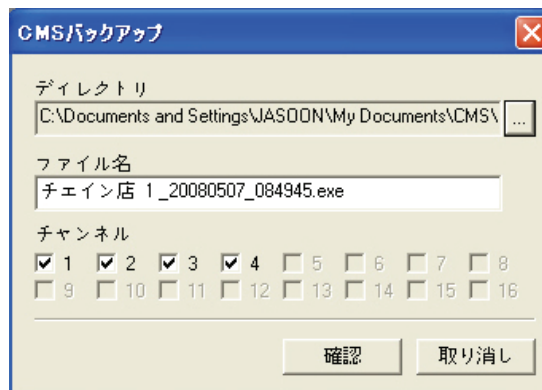
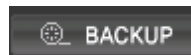
モニタリングしている現在の画面を保存してプリントアウトします。



BMPファイルで保存され、WINDOWでプリントアウトします。

バックアップ

遠隔バックアップですので、ライブ画面をバックアップします。 "バックアップ"ボタンをクリックした時間から "バックアップ"ボタンをクリックした時間までバックアップします。 .



- ・ バックアップボタンをクリックします。
- ・ バックアップデータを保存するディレクトリを選択します。(入力しない場合は基本ホルダーにバックアップされます。)
- ・ 保存するファイル名を入力します。 入力しない場合は基本ファイル名(日付,時間)で自動入力されます。
- ・ バックアップするチャンネルを選択します。
- ・ 設定が完了されたら"確認"ボタンをクリックします。バックアップがスタートすると選択されたチャンネルの右下に "BACKUP"というメッセージが出力されます。 .

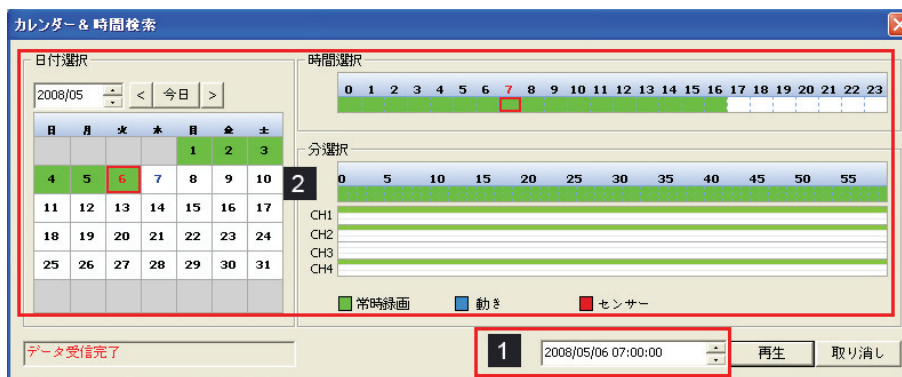
DIGITAL VIDEO RECORDER

- ・バックアップを中断したい時はもう一度 "バックアップ" ボタンをクリックしてください。

参照：バックアップされたファイルはビュープログラムが内蔵されているため他のビュープログラムを設置する必要はありません。

時間検索

ウェブ上で検索する時に使用します。



[参照] DVRモデルによってチャンネル表示が異なります。

[1] 時間検索

検索したい時間を直接選択した後、“再生”ボタンをクリックします。

[2] カレンダー検索

カレンダーを利用して検索する場合には、まず日付を選択して時間と分を選択してから“再生”ボタンをクリックします。

[参照] ネットワーク環境によって多少の時間が掛かります。

検索制御方法

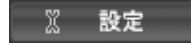


- (1) 速度巻き戻し再生ボタン (最大2倍速)
- (2) 停止ボタン：再生を停止します。
- (3) 再生ボタン：一般再生

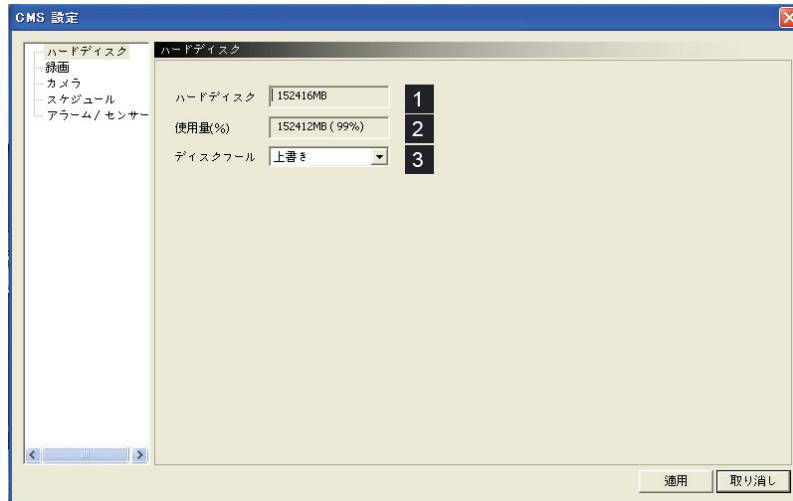
DIGITAL VIDEO RECORDER

- (4) 速度再生ボタン (最大2倍速)
- (5) 検索終了：検索を終了します。

遠隔でDVRメニューを呼出して設定します。

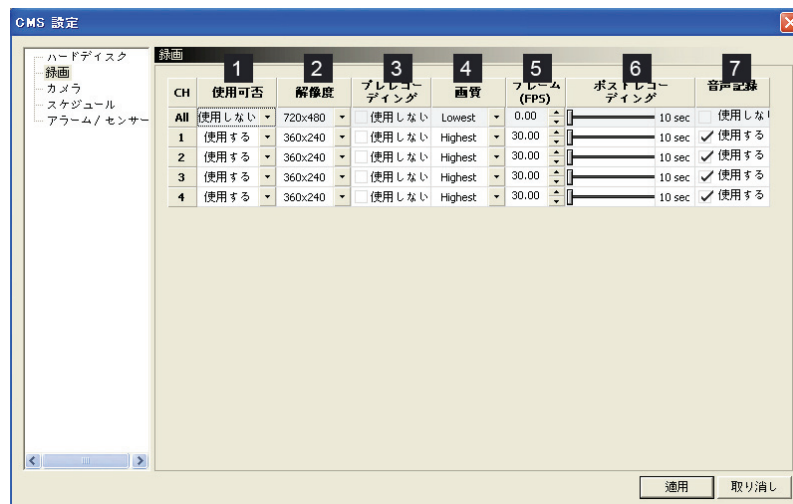


[HDD 設定]



- (1) Hard Diskのトータル用量
- (2) 使用可能用量
- (3) 保存方法選択
 - ・ Overwrite：上書き
 - ・ Stop Recording：用量が足りなければ録画停止

[録画設定]

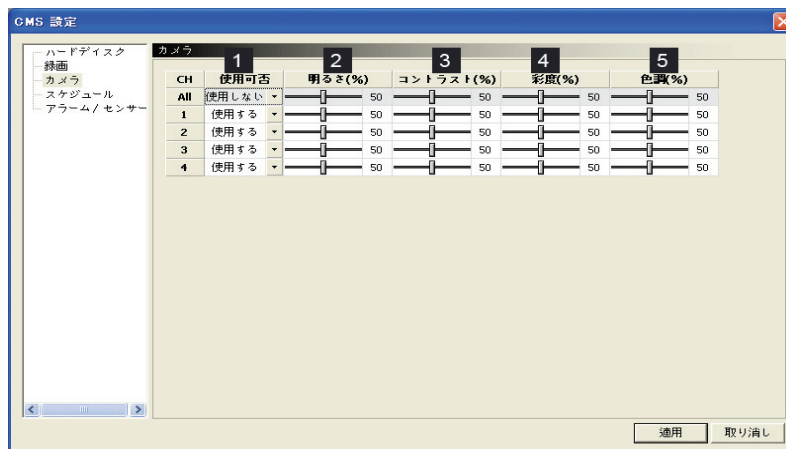


[参照] DVRモデルによってチャンネル表示が異なります。

DIGITAL VIDEO RECORDER

- (1) チャンネル別の録画可否を設定します。
- (2) 解像度設定 (全チャンネル同時適用)
- (3) イベント発生時、プレコーディング使用可否設定
- (4) チャンネル別画質を設定します。
- (5) チャンネル別録画フレームを設定します。
- (6) イベント発生終了後ポストコーディング使用可否設定
- (7) 音声録画可否設定 (4つのチャンネルのみ)

[カメラ設定]



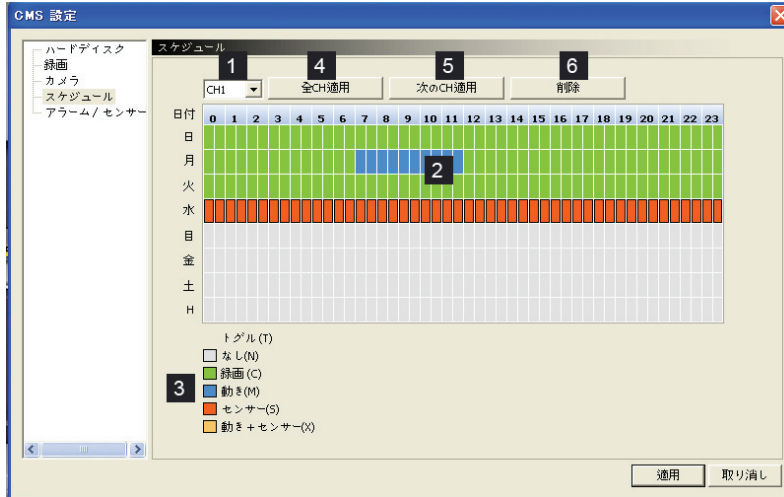
[参照] DVRモデルによってチャンネル表示が異なります。

- (1) チャンネル別カメラ使用可否設定
- (2) 明るさ：明るさを調節します。
- (3) コントラスト：コントラストを調節します。
- (4) 彩度：彩度を調節します。
- (5) 色調：色相を調節します。

[スケジュール設定]

遠隔でDVR設定を変更できます。

DIGITAL VIDEO RECORDER



- (1) スケジュールを適用するチャンネルを選択します。
- (2) スケジュールを入力するためにはまずマウスでエリアを選択します。
- (3) スケジュール "トグル (Toggle)" で入力するイベント集類を選択すればスケジュールエリアが表示されます。
- (4) 全チャンネル適用：全てのチャンネルにコピーします。
- (5) 次のチャンネル適用：次のチャンネルにコピーします。(CH1にスケジュールを入力したらCH2にコピーします。
- (6) 選択されたチャンネルだけ削除されます。

[アラーム/センサー]

遠隔でアラームとセンサーの設定が出来ます。



[参照] DVRモデルによってチャンネル表示が異なります。

- (1) センサー
 - ・ All：全チャンネルに的用時、設定します。

DIGITAL VIDEO RECORDER

- ・ 使用可否：センサー使用時、当該チャンネルに設定します。
- ・ 入力タイプ：センサーのタイプを設定します。(Normal Open , Normal Close)

(2) アラーム

- ・ All：全チャンネルに的用時、設定します。
- ・ 検知：選択されたイベントによってアラームを出力します。
- ・ アラーム出力時間：アラーム出力時間を設定します。
- ・ ブザー：ブザー出力時間を設定します。

PTZ 使用法

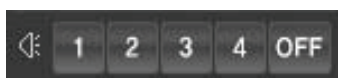
遠隔でPTZ制御が出来ます。



- ・ チャンネル：PTZカメラのチャンネルを選択します。
- ・ 方向キーを用いて調節できます。
- ・ ZOOM：PTZカメラの映像拡大・縮小が出来ます。
- ・ FOCUS：映像の焦点を設定します。

音声聴取機能

本製品は4CH, 9CH, 16CHのDVRに関係なく音声は4つのチャンネルのみ使用可能です。



- ・ チャンネル選択：選択されたチャンネルだけ音声出力されます。
- ・ OFF：音声出力を使用しない。

断ち切り / 終了



- ・ 断ち切り：連結されている全てのDVRを断ち切ります。
- ・ 終了：プログラムを終了します。

第 13 章 — 付録

SPEC (仕様)

モデル				
ビデオ	ビデオ形式	NTSC/PAL		
	ビデオ入力	4CH	9CH	16CH
	圧縮方式	MPEG-4		
	ビデオ形式	NTSC / PAL		
	ビデオ出力	Loop Through (4 or 9 or 16) Composite (1) , SPOT OUT (1) , S-VIDEO (1), VGA (1)		
	再生モード	分割モード / 全体画面モード		
ディスプレイ	解像度	NTSC : 720x480, 720x240, 352x240		
		PAL : 720x576, 720x288, 352x288		
録画	速度	NTSC : 120fps, PAL : 100fps		
	解像度	NTSC : 720x480, 720x240, 352x240		
		PAL : 720x576, 720x288, 352x288		
イベント	連続、スケジュール、モーション、緊急、プリ・ポストレコーディング			
音声	入力/出力	入力 4ch / 出力 1ch		
アラーム	入力/出力	入力 4ch / 出力 1ch		
ネットワーク	通信ポート	LAN [10/100, Ethernet (RJ45)]		
	プロトコル	TCP/IP		
その他	遠隔接続	CMS (中央監視システム) /ウェブブラウザ		
	イベント通知	メール通知、画面ポップアップ、ブザー		
	P/T/Z 制御	可能(RS-485)		
	P/W 権限設定	複数の使用者PW支援		
	バックアップ	USB、DVDRW、ネットワーク		
	USB 2.0支援	2ポート (1 xフロント & 1 x リア)		
	HDD	Max. 2 x 内蔵 HDD (DVDRW選択時 1 個内蔵可能)		
	ミラーリング	可能		
	その他	IDタイプリモコン、USBマウス (オプション)		
動作温度.		0°C ~ 40°C		
電源		DC 12V 5A, アダプター		
寸法		430mm(W) x 54mm(H) x 315.5mm(D)		
重量		2.7Kg		

CMS



取扱説明書

概要

CMS (Central Monitoring Software)は中央監視ソフトの略として複数の遠隔地に設置したDVRを中央センターから監視、制御できるように開発されたソフトウェアです。

CMSの目的は使用者が一気に100台のDVRと1,000台以上のカメラを監視することではなく、複数の視点を監視する時に非常時の画面とか緊急データなど、実際対応に必要な情報だけを分かりやすく表示し緊急状況に対応を速くする事にあります。

また遠隔地のDVRを中央センターからより効果的に統制することにあります。

CMSは効率的な中央監視体系を作るために下記の機能を持っています。

1. 多種モニタリングを支援 (2~3台以上のモニター画面を支援)
2. 一つの画面に最大1,024個分割画面を支援
3. ライブ画面、E-MAP画面を支援
4. 進歩したE-MAP監視機能
5. 遠隔検索およびバックアップ
6. ダイナミックIPを支援



- 目 次 -

・ パソコン仕様.....	4
・ CMS プログラムのインストール.....	4
・ CMS LOGIN.....	5
・ メインGUI説明.....	6
・ DVR登録.....	6
・ DVR登録・削除及び修正.....	8
・ DVR接続/接続解除.....	9
・ DVR登録リスト.....	10
・ 分割画面モード.....	11
・ I フレーム.....	12
・ NASS (スケジュールバックアップ).....	12
・ CLONE.....	16
・ AUTO CON.....	16
・ シーケンスコネクター (SEQ CON)	17
・ SINGLE MODE	17
・ 画面コントロール.....	17
・ ウィンドウコントロール.....	19
・ 画面表示.....	20
・ キャプチャー.....	20
・ バックアップ.....	21
・ 遠隔DVR設定.....	22
・ 音声.....	32
・ 検索.....	32
・ P T Z プリセット.....	36
・ P T Z ツアーリング.....	37
・ E-MAP.....	38

パソコン仕様

パソコンの仕様およびネットワーク速度によってCMS機能に制限があります。

パソコンの最低仕様

- ・ Pentium4 3GHz 以上
- ・ メモリ：1G 以上
- ・ VGA メモリ：32M 以上
- ・ HDD：10G 以上
- ・ DirectX 8.1 以上

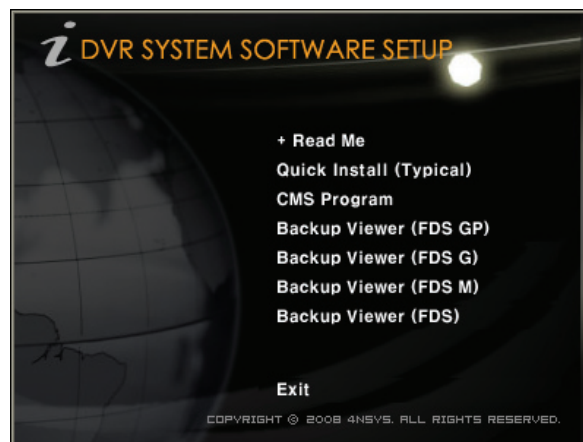
パソコンの推奨仕様

- ・ Core2 Duo 以上
- ・ メモリ：2G 以上
- ・ VGA メモリ：64M 以上
- ・ HDD：10G 以上
- ・ DirectX 8.1 以上

CMSプログラムのインストール

CMSプログラムはDVR本体の出荷時の付属CDにあります。
今後機能改善によるアップグレードが必要な場合には販売先にお問い合わせください。

インストールCDをパソコンに挿入し“install.exe”ファイルを実行します。



- Read Me：プログラム設置説明。
- Quick Install (Typical)：以下の全項目をインストールします。

DIGITAL VIDEO RECORDER

- CMS Program : CMSプログラムをインストールします。
-
-
-
-



クリックするとCMSが実行されます。



ViewerGP

:バックアップ映像の再生プログラムです。

CMS LOGIN



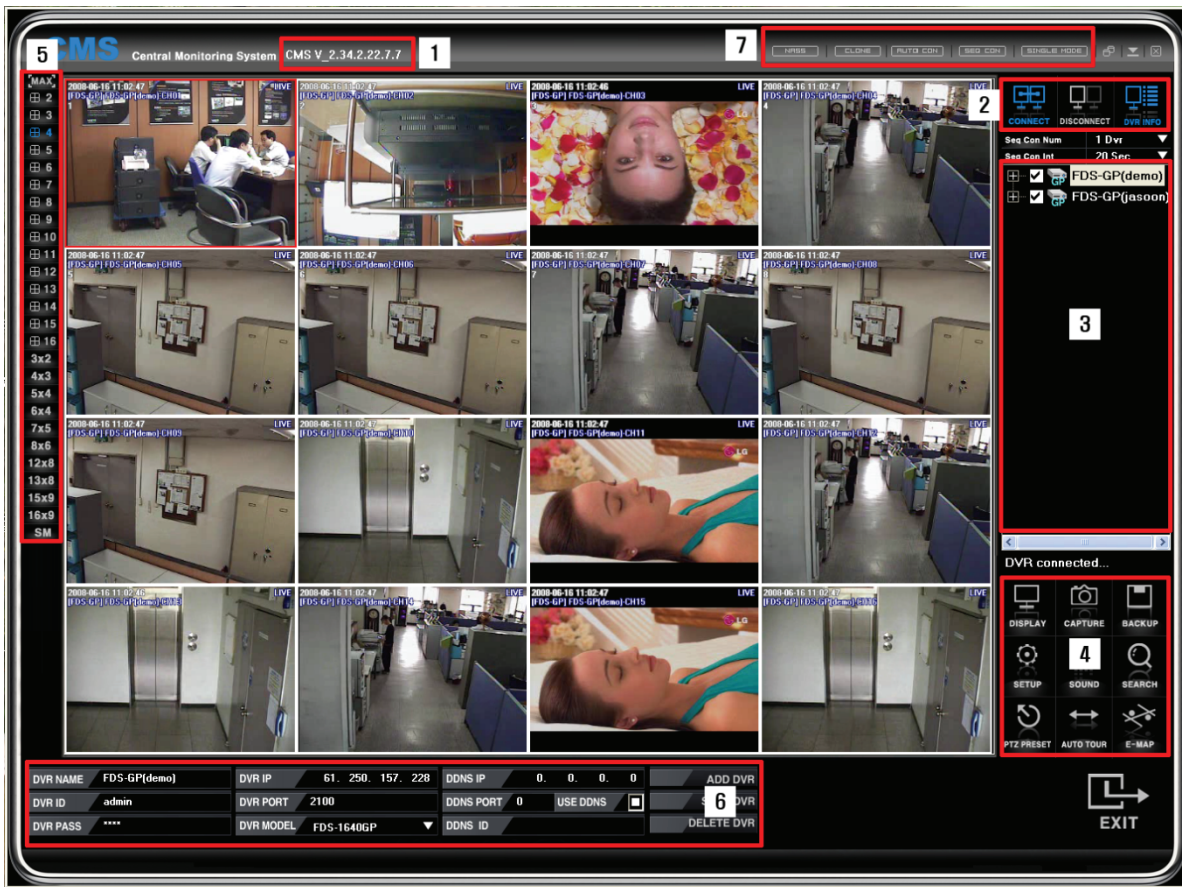
・ パスワードの権限

- ADMIN PASSWORD PASSWORD : NNNN → CMSの全機能の使用権限があります。
- POWER USER PASSWORD : PPPP → CMSの設定(遠隔設定, E-Map設定, DVR登録)以外の使用権限があります。
- USER PASSWORD : UUUU → CMSのライブを見ることが出来ます。それ以外の機能は使用不可になります。

[参考] DVRが全ての作業が出来る管理者 (ADMIN)モードになってもCMSで“UUUU”にログインしたら、CMS側ではライブ画面だけ見ることが出来ます。

- ・ CHANGE ADMIN PASSWORD : ADMINパスワードを変更します。
- ・ CHANGE POWER USER PASSWORD : POWER USERパスワードを変更します。
- ・ CHANGE USER PASSWORD : USERパスワードを変更します。

メインGUI説明



- (1) CMSバージョンを表示します。
- (2) DVR接続/終了の状態を表示します。
- (3) 登録されているDVRリストを表示します。
- (4) DVRの設定、検索、バックアップ、PTZ等をコントロールします。
- (5) 分割画面の変更が出来ます。
- (6) DVR情報を登録及び削除・修正します。
- (7) スケジュールバックアップ、自動接続、シーケンス等の機能を提供します。

DVR登録



- ・ DVRを登録するために **DVR INFO** ボタンをクリックします。下段にDVR登録情報が表示されます。
- ・ DVRを登録する場合、DVRが設置されているネットワーク環境がダイナミックIPであるか固定IPであるかを確認しDVRがネットワークに正しく接続されていなければなりません。

[参考] DVRを登録するためにはCMSでADMIN権限でログインしてください。

DIGITAL VIDEO RECORDER

・ DVR登録時、ダイナミックIP使用と固定IP使用の設定が違いますので、DVRを設置する現場のインターネット環境を確認してください。

固定IP使用の場合

DVR NAME	DEMO-1	DVR IP	61. 250. 157. 1	DDNS IP	0. 0. 0. 0	ADD DVR		
DVR ID	admin	DVR PORT	2100	DDNS PORT	0	USE DDNS	<input type="checkbox"/>	SAVE DVR
DVR PASS	****	DVR MODEL	FDS-1640GP	DDNS ID		DELETE DVR		

(上図は16の例です。)

- ・ **DVR NAME** : DVRの名前を任意で入力します。(例:TOKYO SHINJUKU)
- ・ **DVR ID** : DVRに登録されているIDと同じく入力してください。
- ・ **PASS** : DVRに登録されているパスワードと同じく入力してください。
- ・ **DVR IP** : DVRに設定した固定IPを入力します。DVRに設定したIPアドレスと同じアドレスです。
- ・ **DVR PORT** :
2000
- ・ **DVR MODEL** : **DVRのモデル** を選択します。
- ・ **DDNS IP**、**DDNS PORT**、**DDNS ID** は入力しません。
- ・ 設定が完了され **ADD DVR** をクリックすると入力が完了されて右側のリストに登録したDVRが表示されま
す。

ダイナミックIPの場合

DVR NAME	DEMO-1	DVR IP	.	DDNS IP	61. 250. 157. 14	ADD DVR		
DVR ID	admin	DVR PORT	2100	DDNS PORT	2200	USE DDNS	<input checked="" type="checkbox"/>	SAVE DVR
DVR PASS	****	DVR MODEL	FDS-1640GP	DDNS ID	P6FF01500000001	DELETE DVR		

(上図は16の例です。)

- ・ **DVR NAME** : DVRの名前を任意で入力します。(例:TOKYO SHINJUKU)
- ・ **DVR ID** : DVRに登録されているIDと同じく入力してください。
- ・ **DVR PASS** : DVRに登録されているパスワードと同じく入力してください。
- ・ **DVR IP** : 入力しないで下さい。
- ・ **DVR PORT** :
2000
- ・ **DVR MODEL** : **DVRのモデル** を選択します。
- ・ **DDNS IP** : **61. 250. 157. 14** を入力します。
- ・ **DDNS PORT** : 16/8 : 2200
9/16 : 1900
- ・ **USE DDNS** : チェックして下さい。
- ・ **DDNS ID** : DVRの **MENU** ボタンの **設定** > **システム** > **システム情報** > **DDNS ID** でダイ
ナミックIP接続に必要なDDNS ID(DVR固有番号です。)を確認し同じ番号を入力します。

- 4/9/16 : メニュー → システム → システム情報 → Web code

- ・ 設定が完了され **ADD DVR** をクリックすると入力が完了されて右側のリストに登録したDVRが表示されます。

DVR登録・削除及び修正

DVR情報を登録・削除・修正します。

DVR登録情報修正

- ・ CMSのDVR登録リストから登録情報を修正するDVRを選択した後、**DVR INFO** ボタンをクリックするとDVR登録情報が表示されます。



- ・ DVR登録情報を修正した後、**SAVE DVR** ボタンをクリックすると修正した情報が登録されたDVRに適用されます。

DVR NAME	DEMO-1	DVR IP		DDNS IP	61. 250. 157. 14	ADD DVR
DVR ID	admin	DVR PORT	2100	DDNS PORT	2200	USE DDNS <input checked="" type="checkbox"/>
DVR PASS	****	DVR MODEL	FDS-1640GP	DDNS ID	P6FF0150000001	DELETE DVR

(上図は16の例です。)

DVR登録情報削除

- ・ CMSのDVR登録リストから登録情報を削除するDVRを選択した後、**DVR INFO** ボタンをクリックするとDVR登録情報が表示されます。



- ・ DVR登録情報で **DELETE DVR** ボタンをクリックすると登録されたDVR情報が削除されます。

DVR NAME	DEMO-1	DVR IP		DDNS IP	61. 250. 157. 14	ADD DVR
DVR ID	admin	DVR PORT	2100	DDNS PORT	2200	USE DDNS <input checked="" type="checkbox"/>
DVR PASS	****	DVR MODEL	FDS-1640GP	DDNS ID	P6FF0150000001	DELETE DVR

(上図は16の例です。)

DVR接続/接続解除

DVR接続

CMSのDVR登録リストに登録されているDVRを接続します。

- ・ DVR登録リストのDVRアイコンあるいはDVR名をダブルクリックします。



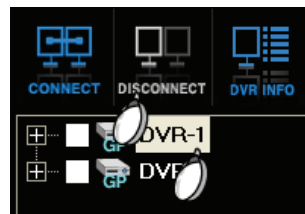
- ・ DVR登録リストのDVRアイコンあるいはDVR名を選択し **CONNECT** ボタンをクリックします。



DVR接続解除

CMSに接続されているDVRを接続解除します。

- ・ DVR登録リストのDVRアイコンあるいはDVR名を選択し **DISCONNECT** ボタンをクリックします。

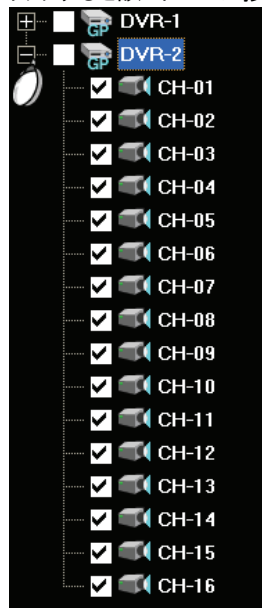


DVR登録リスト

DVRを登録して、CMSに登録されたDVRリストでカメラ接続解除および画面非表示機能を行います。

カメラ接続解除

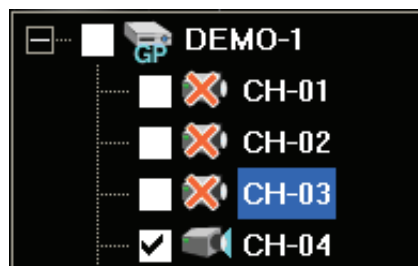
- 登録されたDVRリストの+ボタンをクリックすると該当DVRに接続されているすべてのカメラが表示されます。



- カメラアイコンのチェックを外したり、カメラアイコンあるいはカメラ名をダブルクリックするとカメラ接続が解除されDVRアイコンをダブルクリックし接続するとチェックを外したカメラ映像はCMSに表示されません。例えばカメラが16個接続されているDVRの場合、カメラを8個だけ選択しDVRアイコンをダブルクリックすると8個の映像だけ表示されます。

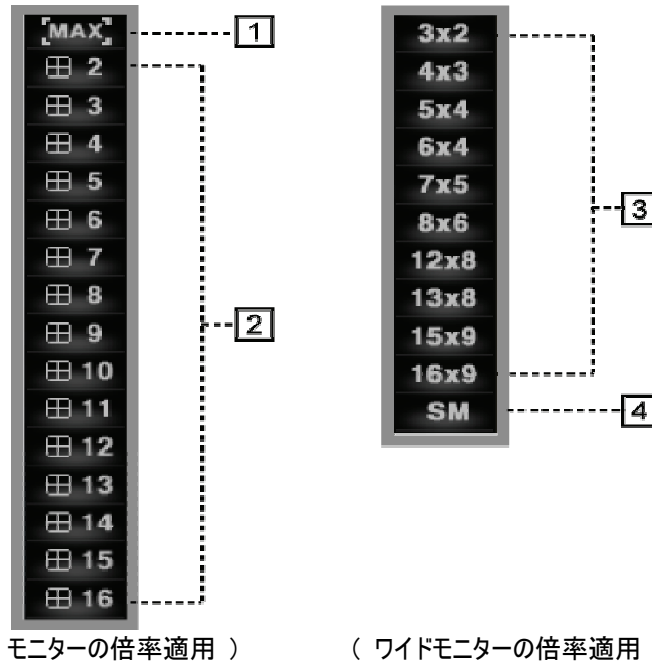
画面非表示(ブラインド、COVERT)

- カメラアイコンをダブルクリックすると下図のように“X”印になり該当チャンネルがブラインド状態になります。
- DVR本体の設定とは関係ありません。



分割画面モード

複数のDVRに接続されているたくさんカメラ映像を一つのCMSに分割画面で表示することができます。またワイドモニター上でも最適化モードでモニターの種類に関係なく使用することができます。



(LCD/CRT モニターの倍率適用)

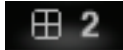
(ワイドモニターの倍率適用)

(1) **MAX** : ライブ画面を全体画面に拡大して、ESCを押すと元サイズに戻ります。

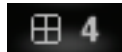
(2) 分割モードの選択

使用者ニーズに合う分割モードでモニタリングすることができます。

(例) 2を選択すると2*2の4分割画面に表示します。



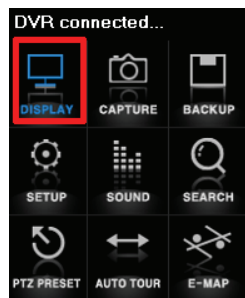
4を選択すると4*4の16分割画面に表示します。



(3) ワイドモニターの場合に使用する分割モードです。

(4) **SM** 機能は使用者分割モードです。CMSは使用者のパソコンスペックを感知し分割モードを自動調節しますが、使用者がパソコンスペックに構わずもたくさんの映像を一つの画面(モニター)でモニタリングする必要がある時、SM機能で使用者が受動で分割モードを設定出来ます。但し、パソコンに負荷がかかってCMSが正常に動作しない恐れがあります。

- **DISPLAY** ボタンをクリックします。

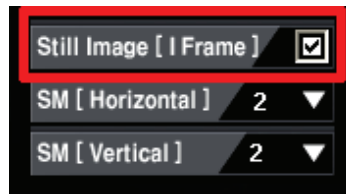




- ・ **SM (Horizontal)** : CMSウィンドウの横に表示するチャンネル数を選択します。
- ・ **SM (Vertical)** : CMSウィンドウの縦に表示するチャンネル数を選択します。

I フレーム

- ・ **Still Image [I Frame]** : 数多いDVRが接続されているためネットワークに負荷が掛かり、正常速度で映像が転送されない場合、**Still Image** をチェックすれば映像転送方式が動画転送方式からイメージ転送方式に変更されてネットワークおよびパソコンのCPU負荷を減らすことができます。但しイメージ転送方式なので、フレームが落ちて自然な映像が見えない可能性もあります。



NASS (スケジュールバックアップ)

NASSとは遠隔でスケジュールバックアップを提供する機能です。スケジュールバックアップは多数のDVRを使用者が時間帯を選択してバックアップする機能です。

設定方法

- (1) “NASS” ボタンをクリックします。



- (2) スケジュールバックアップするDVRを登録します。

(固定IP使用者)

NASS NASS_V1.2.7.7									
ADD		SAVE		DELETE					
DVR NAME	DEMO-1	ID	admin	DEVICE	FDS-1640GP	ADDRESS	61.250.157.1	PORT	2100
<input checked="" type="checkbox"/> USE DDNS	PASS	DDNS ID	DDNS	DDNS PORT					

- ・ DVR NAME : 任意のDVR名を入力してください。
- ・ ID : IDを入力してください。(DVRに登録されているIDを入力します。)
- ・ PASS : パスワードを入力してください。(DVRに登録されているパスワードを入力します。)
- ・ ADDRESS : 固定IPを入力します。
- ・ PORT :
2000
- ・ DEVICE : DVRモデル名を選択します。
- ・ DDNS IP, DDNS PORT, DDNS ID等の設定は固定IP使用の場合、入力する必要はありません。
- ・ 設定が完了されて“ADD DVR”をクリックすると入力完了され、右側のリストに登録したDVRが表示されます。

DIGITAL VIDEO RECORDER

(ダイナミックIP使用者)

NASS NASS_V1.2.7.7

ADD SAVE DELETE

DVR NAME	DEMO-1	ID	admin	DEVICE	FDS-1640GP	ADDRESS		PORT	2100
<input checked="" type="checkbox"/> USE DDNS		PASS	xxxx	DDNS ID	P6FF01560000300	DDNS	61.250.157.14	DDNS PORT	2200

- ・ DVR NAME : 任意のDVR名を入力してください。
 - ・ ID : IDを入力してください。(DVRに登録されているIDを入力します。)
 - ・ PASS : パスワードを入力してください。(DVRに登録されているパスワードを入力します。)
 - ・ ADDRESS : 固定IP使用者以外には入力する必要はありません。
 - ・ PORT :
2000
 - ・ DEVICE : DVRモデル名を選択します。(例:FDS-1640GP)
 - ・ DDNS : 61.250.157.14
 - ・ DDNS PORT :
1900
 - ・ USE DDNSをチェックして下さい。
 - ・ ダイナミックIP接続に必要なDDNS ID(DVR固有番号です。)を確認し同じ番号を入力します。
- : メニュー -> システム -> システム情報 -> Web code
- ・ 設定が完了されて“ADD DVR”をクリックすると入力完了されて右側のリストに登録したDVRが表示されます。

(3) 録画データ呼出

DVR??*??*録録*						2008-6-3 16:0:0 ~ 2008-6-21 13:36:15					
6/2008	7/2008	8/2008	9/2008	10/2008	11/2008	12/2008	1/2009	2/2009	3/2009	4/2009	5/2009
ソネシクアナタ 26 27 28 29 30 31 1	ソネシクアナタ 1 2 3 4 5 6	ソネシクアナタ 1 2 3	ソネシクアナタ 1 2 3 4 5 6 7	ソネシクアナタ 1 2 3 4 5	ソネシクアナタ 1 2	ソネシクアナタ 1 2 3 4 5 6 7 8	ソネシクアナタ 1 2 3 4	ソネシクアナタ 1	ソネシクアナタ 1	ソネシクアナタ 1 2 3 4 5	ソネシクアナタ 1 2 3
2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 1 2 3 4 5 6 7

- ・ 接続されているDVRの録画データを呼出するためには“DVR録画データ再呼出”ボタンをクリックします。
- ・ 録画データがある日付にはカレンダー表示がされていて、DVRにどれぐらいのデータがあるかの確認が出来ます。

DIGITAL VIDEO RECORDER

(4) 詳細情報表示

	Emergency, Continuous Record	Motion Detection Record	Sensor Event Record	Museum Event Record	Unattended Event Record																			
CH 1	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
CH 2	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
CH 3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
CH 4	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
CH 5	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
CH 6	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
CH 7	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
CH 8	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
CH 9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
CH 10	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
CH 11	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
CH 12	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
CH 13	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
CH 14	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
CH 15	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
CH 16	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
	0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55												

・カレンダーに録画データ表示がある日付をクリックすると当該日付にCH別データ情報が出ます。その時間を選択すると下にその時間帯の分帯を選択するようにデータ情報が表示されます。

・CH別に録画種類によって表示色が異なります。

(例1) 0時~4時: 緊急・常時録画



(例2) 10時~11時: 緊急・常時録画、動き

12時~13時: 録画データなし

13時: 緊急・常時録画、動き



(5) CH選択

All Channel 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

・バックアップするCHを選択します。

- All Channel: 全CHバックアップ
- CH別選択: バックアップが必要CHのみ選択

(6) 録画種類選択

All Event E.C M.D S.S M.U U.A

・バックアップモードを選択します。

- All Event: 全イベント録画データのバックアップ
- E.C: 緊急・常時録画データのバックアップ
- M.D: 動き検知録画データのバックアップ
- S.S: センサー録画データのバックアップ
- M.U: ミュージウム録画データのバックアップ
- U.A: 不審物検知録画データのバックアップ

(8) バックアップ時間(領域)設定

Backup Start time End

・DVRに保存されているデータの中でバックアップする領域(時間)を設定します。

(9) 保存ホルダー指定

バックアップデータの保存先は“Find folder”をクリックして選択します。

Save folder Find folder

(10) バックアップ実行時間の設定

Backup schedule All times Start End

・バックアップ実行時間

- All time : 常にバックアップ実行
- 時間設定 : 時間を設定すれば、その設定時間の間のみバックアップします。

(11) バックアップ実行日

All days SUN MON TUE WED THU FRI SAT

・バックアップ実行日を選択します

- All day : 毎日バックアップ
- 曜日選択 : 設定された曜日のみバックアップします。

[参考] 万一、設定された時間内にバックアップが終わり切れなかった場合、次の日にバックアップ予定が設定されていればそバックアップを続けます。

(12) バックアップ開始

“Start schedule backup”ボタンをクリックします。

Start schedule backup

(13) バックアップ中止

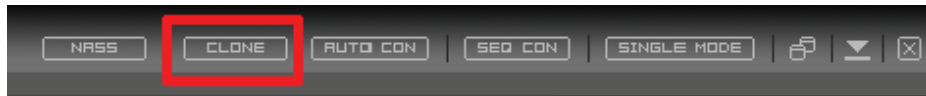
“Stop schedule backup”ボタンをクリックします。

Stop schedule backup

(14) バックアップホルダーを開けます。

Open save folder

CLONE



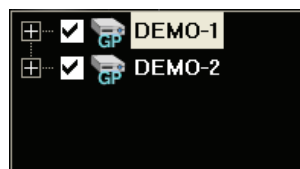
デュアルまたはトリプルモニターを使用する場合、同じCMSプログラムを二つ実行し異なる分割モードでライブ画面をモニタリングしたり一つのCMSではライブを別のCMSでは検索したりすることが出来ます。
 (但し、CLONEで実行されたCMSは終了されると分割モードなどどんな情報も保存されません。)



AUTO CON



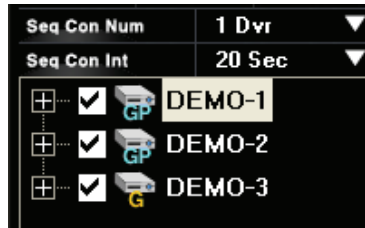
AUTO CONは自動接続機能としてDVR登録リストに登録されている複数のDVR中でチェックボックスにチェックが入っているDVRとカメラだけが自動的に接続される機能です。分割モードも自動的に調節されますがDVR登録リスト中でチェックしたDVRとそのDVRに接続されているカメラ中でチェックしたカメラの台数を自動的に計算し分割モードも自動的に調節されます。



シーケンスコネクター (SEQ CON)



シーケンス機能は選択されたDVRを順次接続します。
 “SEQ CON”機能動作中には“SEQ CON”ボタンが青色になります。



切り替えDVR数と切り替え時間を選択します。

SINGLE MODE



SINGLE MODE機能は複数のDVRを同時に接続することではなくDVRを1台ずつ接続する機能です。
 つまり、複数のDVRでなく、1台のDVRを使用するための機能です。 **SINGLE MODE** ボタンをクリックすると **単一接続モードに変更します。DVRの接続が終了されますが本当に行いますか。** というメッセージが表示され、 **はい** すれば **SINGLE MODE** ボタンが青色に変わります。

その状態では分割モードを選択できませんが、DVR登録リストに登録されているDVRのチャンネル数(4CH,8CH,9CH,16CH)に合わせて自動に分割モードが4分割、8分割、9分割、16分割に調節されます。
 たとえば、FDS-410Gなら4分割になります。

画面コントロール

CMS上で複数のイベントと映像を監視するためには様々な画面の構成が必要です。

CH Viewer

ライブ上で別途のウィンドウで一つのチャンネルを表示します。

- ・ **ポップアップ** : キーボードのCtrlキーを押してCMSの一つのチャンネルをダブルクリックします。



DIGITAL VIDEO RECORDER

- ・ **全体画面** : CMSの一つのチャンネルをダブルクリックします。もう一度ダブルクリックすると分割画面に戻ります。



S-PIP(全体画面)

ライブ上で別途のウィンドウで1台のDVRの全チャンネルを表示します。

- ・ キーボードのShiftキーを押してCMSの一つのチャンネルをダブルクリックします。

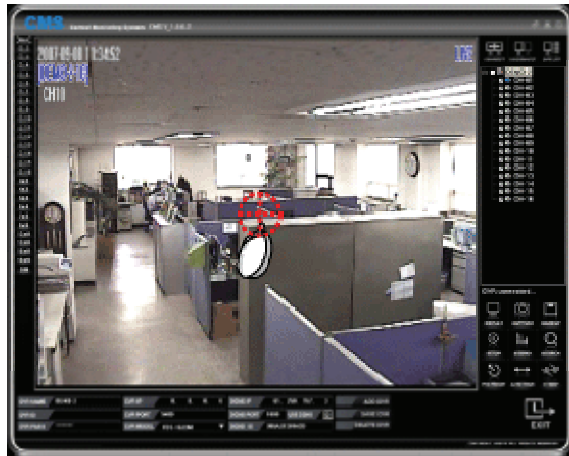


- * 参考 : CH Viewer上でも同じ方法でS-PIPを表示することができます。

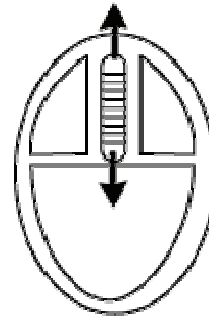


デジタルズーム

デジタルズームはカメラの機能と関係なく画面を拡大する機能です。



ズームイン



ズームアウト

【使用法】

- ・ チャンネルを全画面にして拡大する位置でマウスホイールを利用し拡大、縮小します。
- ・ 拡大した状態でマウスでドラッグし位置を変更します。
- ・ 画面をダブルクリックすると分割画面に戻ります。

*** 参考 : 分割画面の状態とS-PIP画面では動作しません。(必ず全画面モードで実行)**

ウィンドウコントロール

メイン画面ウィンドウコントロールボタン



- (1) CMSプログラムを拡大または縮小します。
- (2) CMSプログラムを最小化します。
- (3) CMSプログラムを終了します。

S-PIP画面(全体画面)



- (1) S-PIPビューアを拡大します。
- (2) S-PIPビューアを縮小します。
- (3) デュアルモニターを使用する時に自動的に2番目のモニターに画面が移動されます。
- (4) S-PIPビューアを最小化します。
- (5) S-PIPビューアを終了します。

E-Map画面

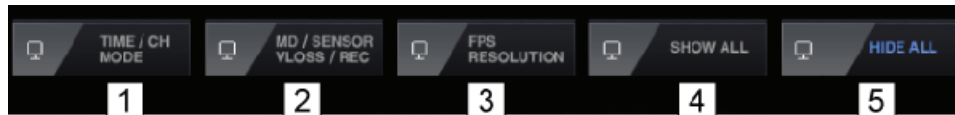


- (1) E-MAPビューアを拡大します。
- (2) E-MAPビューアを縮小します。
- (3) デュアルモニターまたはトリプルモニターを使用する時に自動的に2番または3番目のモニターに画面が移動されます。
- (4) E-MAPビューアを最小化します。
- (5) E-MAPビューアを終了します。

画面表示

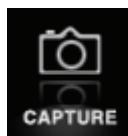


映像に表示される状態情報を設定します。(青色に表示されます)



- (1) **TIME / CH MODE** : 時間と現在のチャンネルのモード(ライブ、再生)を表示します。
- (2) **MD/SENSOR/VLOSS/REC** : モーション、センサー、ビデオロス、不審物検知、ミュージアムの発生状態を表示します。
 MD : モーション検知
 SS : センサー入力
 VL : ビデオロス発生
 MU : 不審物検知
 NU : ミュージアム
- (3) **FPS / RESOLUTION** : フレーム、解像度を表示します。
- (4) **SHOW ALL** : すべての状態情報を表示します。
- (5) **HIDE ALL** : すべての状態情報を表示しません。

キャプチャー



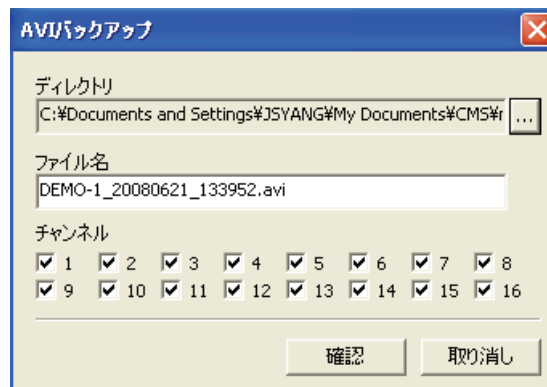
ライブ上または再生中の映像をキャプチャーレイメージファイルで保存することができます。

- ・ **保存フォルダ** : C:\¥マイドキュメント¥CMS¥CAPTURE

バックアップ



DVRに保存されている録画データと現在のライブ映像を遠隔のCMSでバックアップすることが出来ます。AVIファイルでバックアップされます。ライブ上または再生中にCMSの **BACKUP** ボタンをクリックすると **AVIバックアップ** というメニューが表示されます。



(DVRモデルによってCH数が異なります。)

- (1) **ディレクトリ** : バックアップデータを保存する経路を選択します。(変更しないと基本フォルダにバックアップします。)
- (2) **ファイル名** : 保存するファイル名を入力します。(変更しないと基本ファイル名で保存されます。)
- (3) **チャンネル** : バックアップするチャンネルを選択します。
- (4) 設定が完了されたら **確認** ボタンをクリックします。
- (5) バックアップが開始されるとバックアップメニューは自動的に消えます。
- (6) バックアップ中のチャンネルには **BACKUP** というメッセージが表示されます。
- (7) もう一度 **BACKUP** ボタンをクリックすると **バックアップ中です。中止しますか。** というメッセージが表示され **はい** ボタンを押すと **AVIバックアップ** メニューが再度表示され **取消** ボタンを押すとバックアップは中止されます。

遠隔DVR設定



CMSからDVRに接続しDVRの重要な設定を遠隔で変更することが出来ます。
DVRのすべての設定が変更できるものではありません。

設定

[HDD設定]



- (1) HDDのトータル用量を表示します。
- (2) HDDの残量を表示します。
- (3) ディスクフル
 - ・ Overwrite : 上書き
 - ・ Stop Recording : HDDディスク容量をすべて使った場合に録画を中止する。

[録画設定]

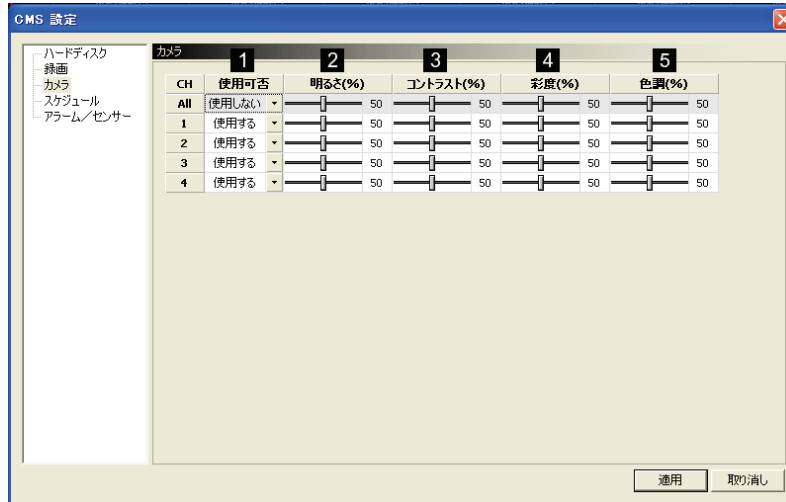


[参考] CH表示はDVRモデルによって4、8、9、16CHになります。

DIGITAL VIDEO RECORDER

- (1) 設定を適用するチャンネルを選択します。
- (2) 解像度設定 (全CH同時適用)
- (3) イベント発生時、事前録画設定
- (4) CH別画質を設定します。
- (5) CH別録画フレームを設定します。
- (6) イベント発生終了後、録画持続時間を設定します。
- (7) 音声機能使用設定(音声4CH支援)

[カメラ設定]

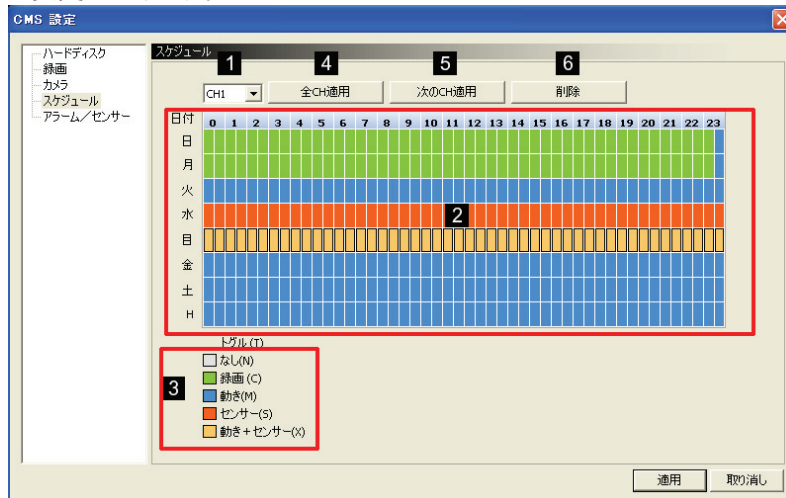


[参考] CH表示はDVRモデルによって4、8、9、16CHになります。

- (1) CH別カメラ使用設定
- (2) 明るさ : 明るさ設定
- (3) コントラスト : コントラスト設定
- (4) 彩度 : 彩度設定
- (5) 色相 : 色相設定

[スケジュール設定]

遠隔でDVRの設定の変更が出来ます。



DIGITAL VIDEO RECORDER

- (1) スケジュールを適用するCHを選択します。
- (2) スケジュールを入力するため、まずマウスでエリアをクリック及びDRAGして選択します。
- (3) スケジュール“トグル”に入力するイベント週類を選択すればスケジュールエリアが表示されます。
- (4) 全CHコピー : 全てのCHにコピーします。
- (5) 次CHコピー : 次のCHにコピーします。(現在CH1にスケジュールを入力したらCH2へコピーされます。
- (6) 選択されたCHのみ削除されます。

[アラーム/センサー]

遠隔でアラームとセンサーの設定が出来ます。



[参考] CH表示はDVRモデルによって4、8、9、16CHになります。

(1) センサー

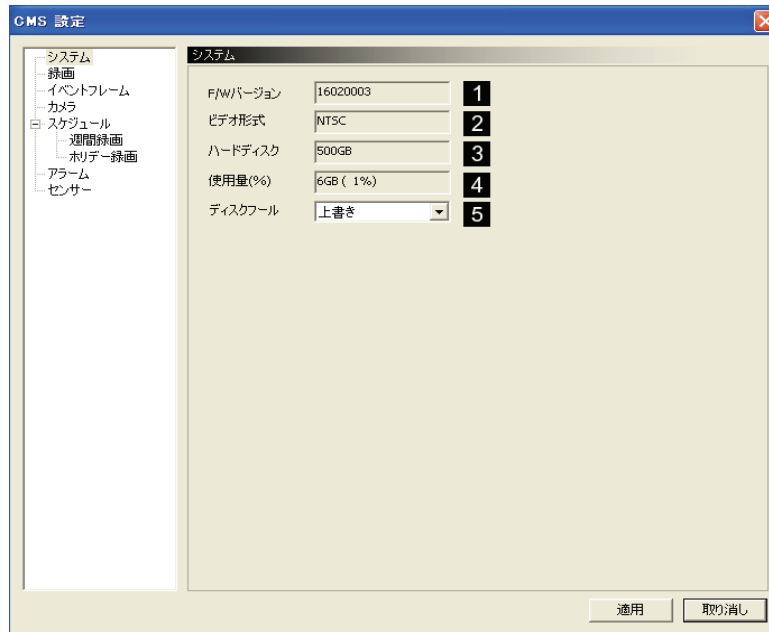
- ・ All : 全CH適用設定
- ・ 使用可否 : センサー使用時、当該のCHを“使用”に設定
- ・ 入力タイプ : センサーの入力タイプを設定します。(Normal Open, Normal Close)

(2) アラーム

- ・ All : ぜんCH適用設定
- ・ 検知 : 選択されたイベントによってアラームを出力します。
- ・ アラーム時間 : 設定された時間だけアラームを出力します。
- ・ 内部ブザー : 設定された時間だけ内部ブザーが出力します。

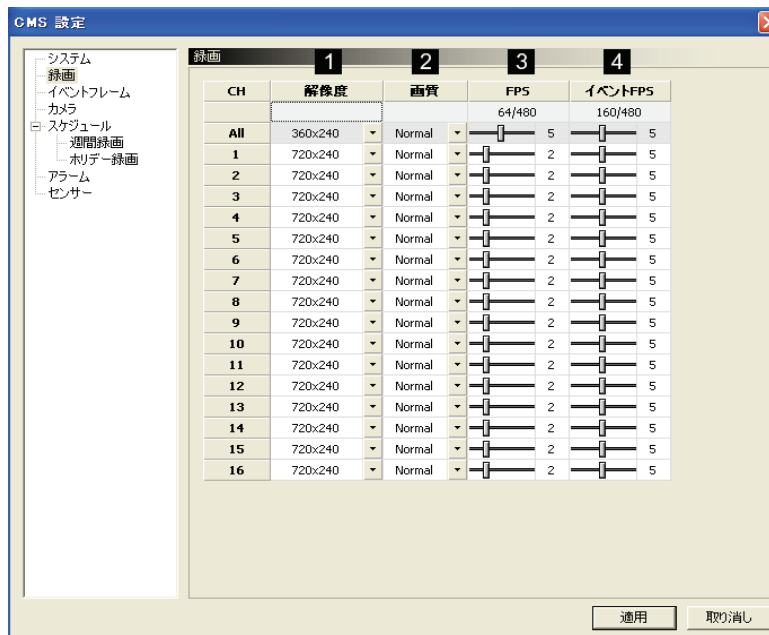
設定

[システム設定]



- (1) ファームウェアバージョンを表示します。
- (2) ビデオ入カタイプを表示します。
- (3) HDDのトータル用量を表示します。
- (4) HDDの残量を表示します。
- (5) ディスクフル
 - ・ Overwrite : 上書き
 - ・ Stop Recording : HDDディスク容量をすべて使った場合に録画を中止する。

[録画設定]

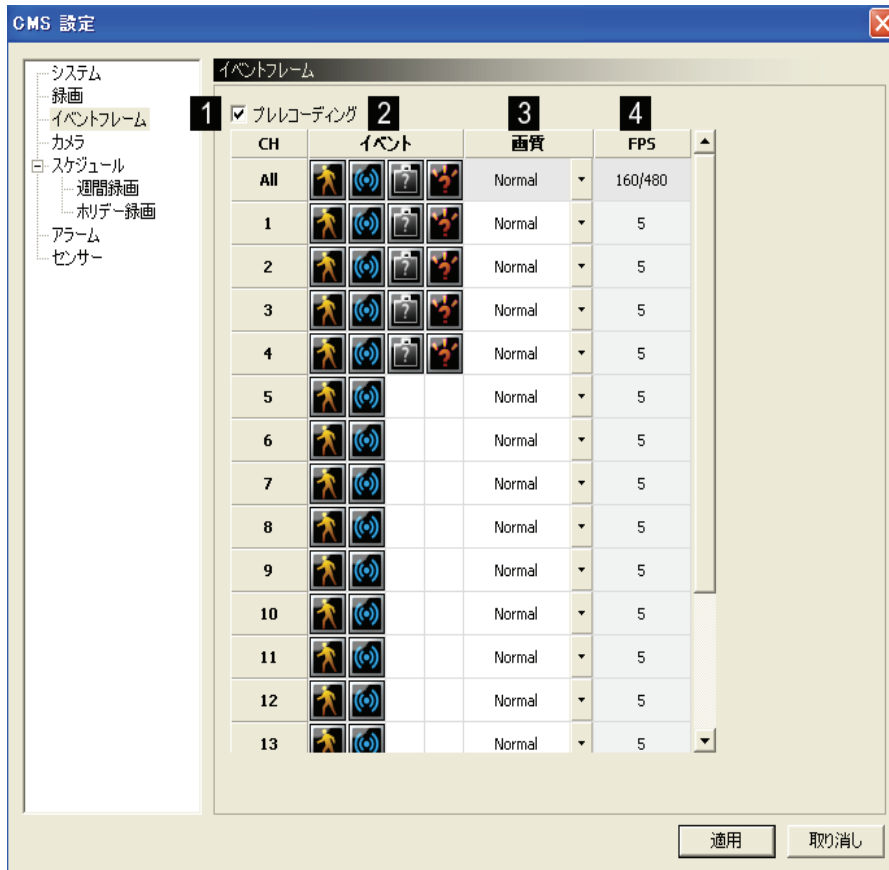


[参考] CH表示はDVRモデルによって4、8、9、16CHになります。

DIGITAL VIDEO RECORDER

- (1) CH別録画解像度を設定します。
- (2) CH別録画画質を選択します。
- (3) CH別常時録画フレームを設定します。
- (4) イベント発生時、録画フレームを設定します。

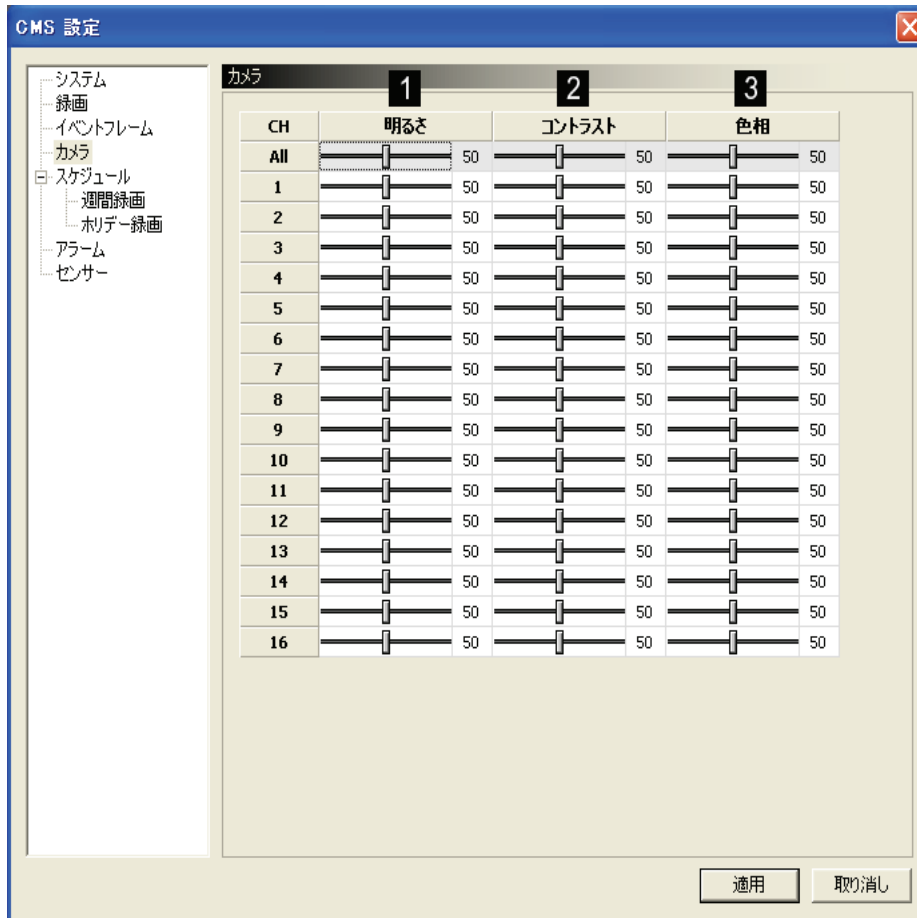
[RAMP UP 設定]



[参考] CH表示はDVRモデルによって4、8、9、16CHになります。

- (1) プレーレコ : チェックすればイベント発生の5秒前の映像から録画します。
- (2) 選択されたイベントが発生したら、イベントフレームで録画します。
- (3) イベント録画時、選択された画質で録画します。
- (4) 前のステップで設定されたイベントフレームの設定値を表示します。

[カメラ設定]



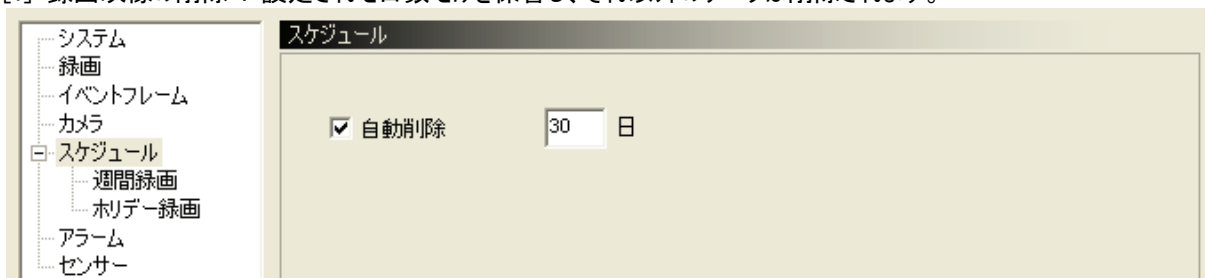
[参考] CH表示はDVRモデルによって4、8、9、16CHになります。

- (1) CH別明暗を設定します。
- (2) CH別コントラストを設定します。
- (3) CH別彩度を設定します。

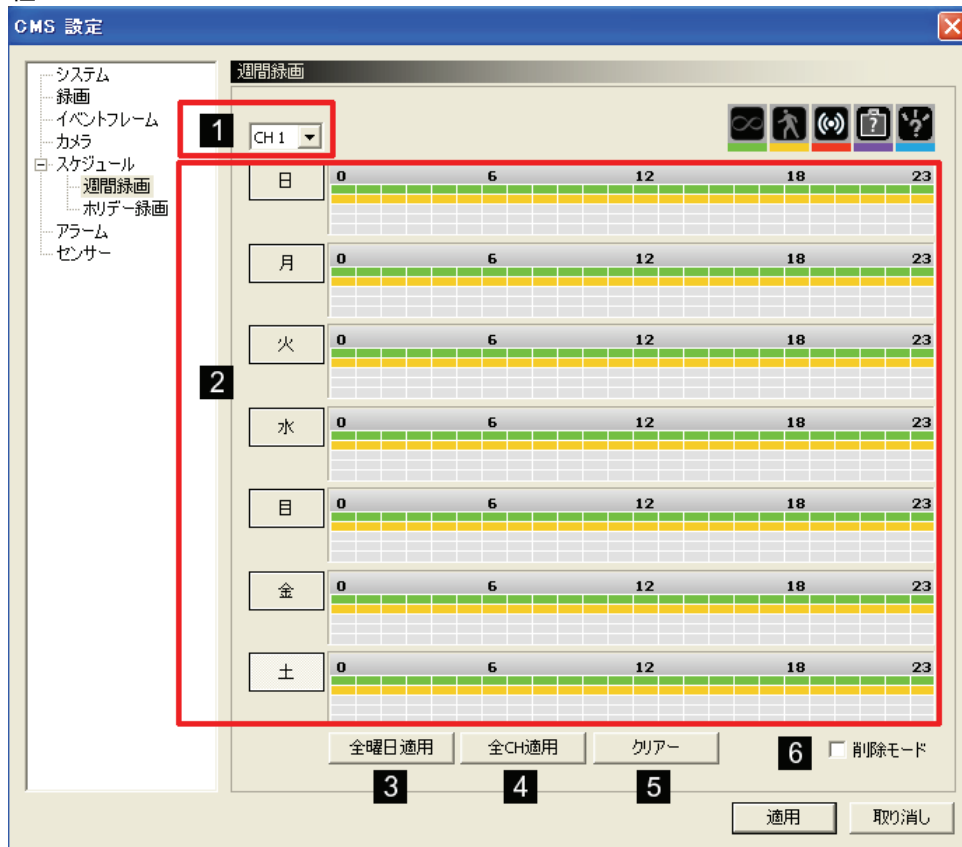
[スケジュール設定]

遠隔で録画設定の変更や削除が出来ます。

[1] 録画映像の削除：設定された日数だけを保管し、それ以外のデータは削除されます。

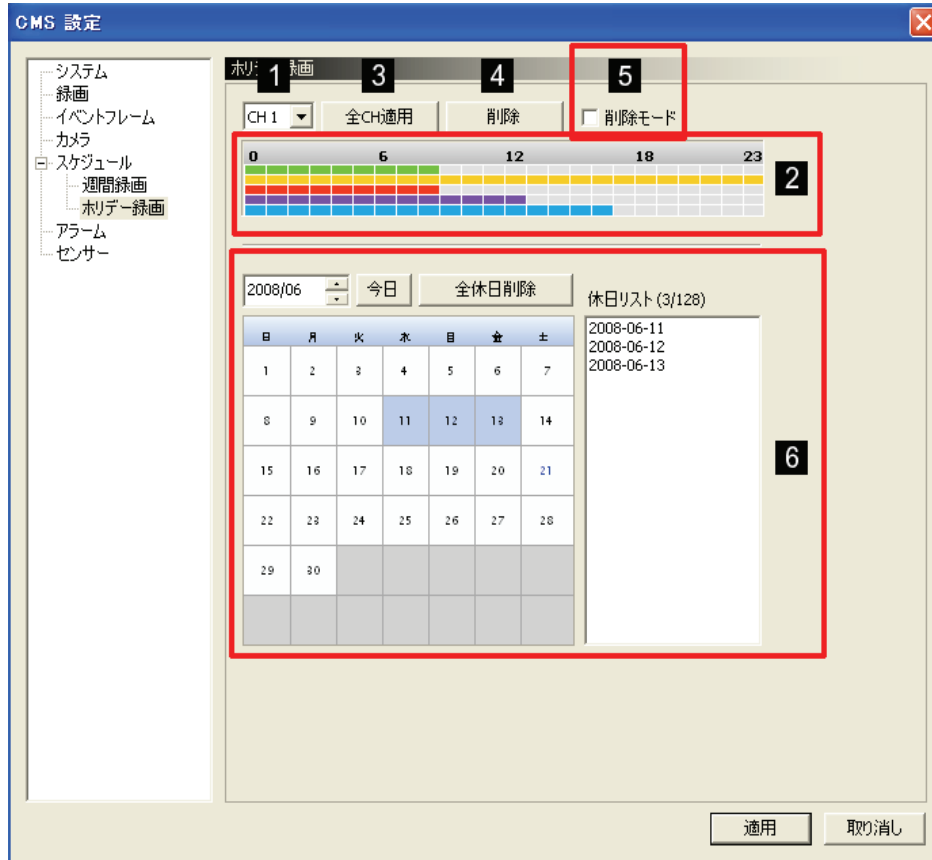


[2] 週間日程



- (1) CHを選択します。
- (2) スケジュール適用(マウスドラッグ使用)
 - 一行目: 常時録画(緑)
 - 二行目: 動き検知(黄)
 - 三行目: センサー録画(赤)
 - 四行目: 不審物検知(水色)
 - 五行目: ミュージアム(紫)
- (3) 設定を全曜日適用
- (4) 設定を全CH適用
- (5) 初期化は全スケジュールを削除します。
- (6) 設定したスケジュールを削除する時にチェックしてマウスで該当列をドラッグすると設定されたスケジュールが削除されます。

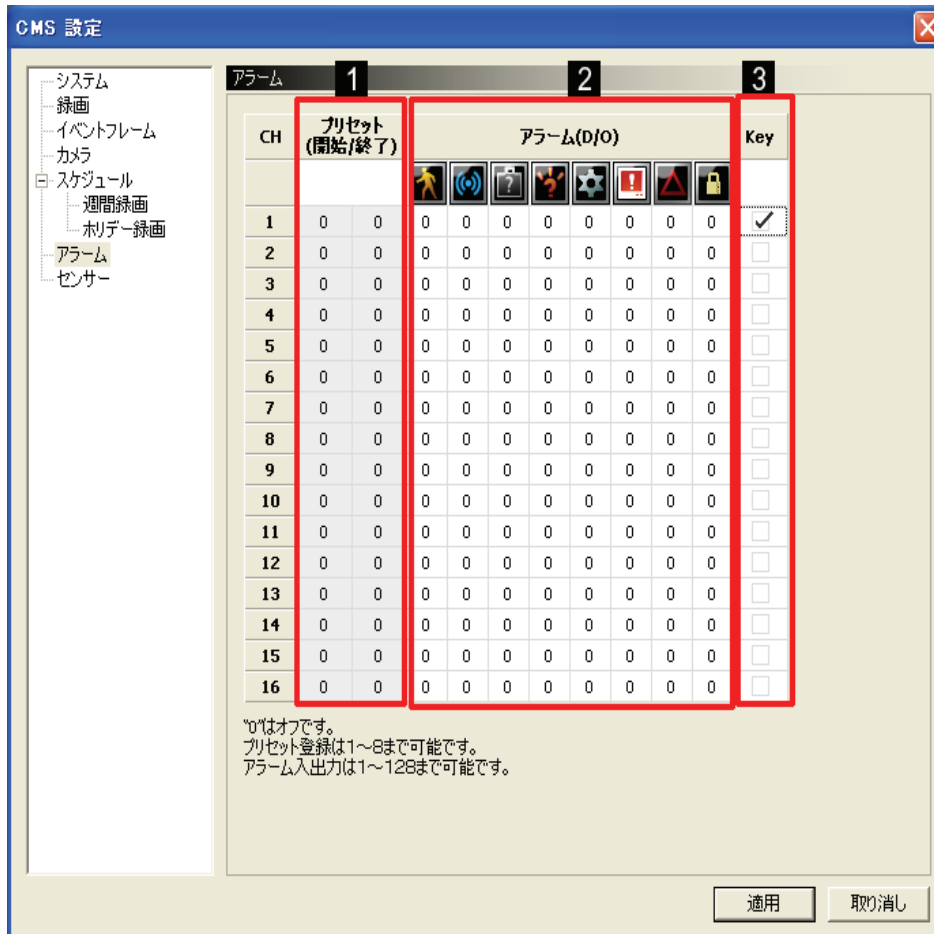
[3] ホリデー録画設定



- (1) ホリデー録画スケジュールを適用するチャンネルを選択します。
- (2) 設定する時間をマウスでドラッグします。
 - 一行目: 常時録画(緑)
 - 二行目: 動き検知(黄)
 - 三行目: センサー録画(赤)
 - 四行目: 不審物検知(水色)
 - 五行目: ミュージアム(紫)
- (3) 設定を全CH適用
- (4) 設定されたスケジュールを削除します。
- (5) 設定したスケジュールを削除する時にチェックしてマウスで該当列をドラッグしすると設定されたスケジュールが削除されます。
- (6) 休日は国家別に異なりますので、カレンダーにある休日をクリックすれば自動的に登録されます。

[アラーム設定]

遠隔でアラームの選択が出来ます。



[参考] CH表示はDVRモデルによって4、8、9、16CHになります。

チャンネル1にセンサーが入力された場合にパンチルトカメラはどちらを向かって、何番のアラームから警報がなるかを設定します。

- ・ **プリセット** : **スケジュール** の録画モードでセンサー録画が設定されている場合にセンサー入力がありますと反応します。(モーション検知、不審物検知、ミュージアムには反応しません) 各チャンネルに接続されているパンチルトカメラがあって、そのカメラにプリセット番号が指定されていると各CHにセンサーが入力されるとパンチルトカメラが **プリセット** の **開始** に設定したプリセット番号の位置に移動されて、該当CHのセンサー入力が増えるとパンチルトカメラは **プリセット** の **終了** に設定したプリセット番号に移動されます。
- ・ **アラーム(D/O)** : **スケジュール** の録画モードでモーション検知、不審物検知、ミュージアム、センサー録画が設定されている場合に選択したイベントが発生すると **アラーム(D/O)** に設定した出力番号にアラームを出力します。
- ・ **Key** : DVRの背面の **KEY** というセンサー入力端子にセンサーが接続されている状態でキーセンサーアイコンが解除(青色)されているとイベントが発生すると設定したアラームが出力されます。しかしキーセンサーアイコンが設定(赤色)されているとイベントが発生しても設定したアラームは出力されません。すなわちキーセンサーを設定するとキーセンサー入力端子のセンサー入力によってアラーム出力がオン、オフされます。
- ・ 設定が完了されたら **適用** ボタンをクリックします。

[センサー設定]

遠隔でセンサーの選択が出来ます。

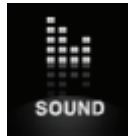


[参考] CH表示はDVRモデルによって4、8、9、16CHになります。

- ・ **センサー** : 各チャンネルに連動されているセンサーのタイプを選択します。(センサーのタイプはセンサーのマニュアルを確認します)
 - N/O (ノーマルオープン) : 接点がくっ付いたら信号発生
 - N/C (ノーマルクローズ) : 接点が離れたら信号発生
- ・ **チャンネル** : 各センサーと連動するチャンネルを選択します。センサーは複数の選択が可能で、センサー番号をクリックすると選択されたチャンネルのセンサー番号はオレンジ色に変わります。

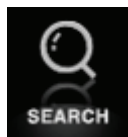
音声

遠隔のCMSでDVRに入力された音声を聞くことができます。

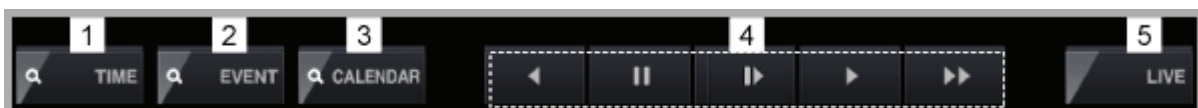


- (1) 選択したチャンネルの音声を聞きます。
- (2) 全チャンネルの音声をオン、オフします。
- (3) チェックしたイベントが発生したチャンネルの音声を聞きます。
 - ・ MD : モーション
 - ・ SS : センサー
 - ・ VL : ビデオロス
 - ・ UA : 不審物検知
 - ・ MU : ミュージアム
 - ・ ALL : 全体イベント

検索

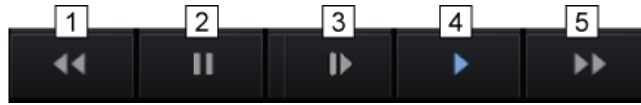


DVRに保存されている録画データを遠隔のCMSで検索(時間、イベント、カレンダー)することができます。DVRモデルによって使用法が異なりますので、ご注意ください。



- (1) 時間検索の機能です。
- (2) イベント検索の機能です。
- (3) カレンダー検索の機能です。
- (4) 再生画面を制御します。
- (5) 検索中に **ライブ** ボタンをクリックするとライブモードに変わります。

再生ボタン使用法

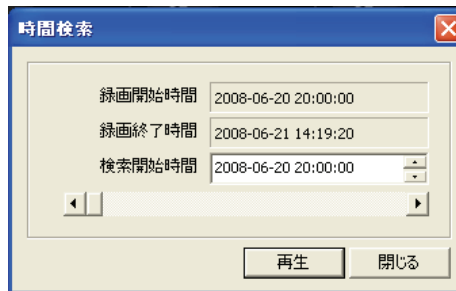


- (1) 逆再生(クリックするごとに最大4倍速で逆再生)
- (2) 一時停止
- (3) スロー再生
- (4) 一般再生
- (5) 早送り(クリックすること最大4倍速で再生)

検索

[時間(Time)検索]

検索する時間を直接選択して再生します。

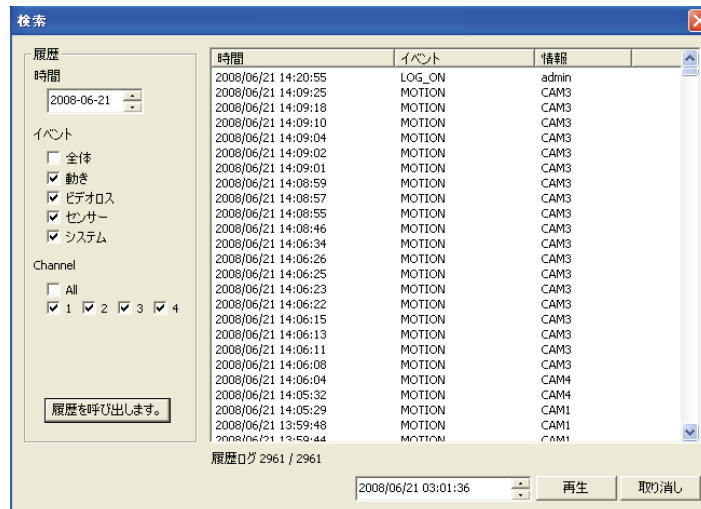


- ・ **録画開始時間** : DVRに保存されている最初の録画データの時間を表示します。
- ・ **録画終了時間** : DVRに保存されている最後の録画データの時間を表示します。
- ・ **検索開始時間** : 検索する日付と時間を選択し **再生** ボタンを押すと録画データが再生されます。

* 参考: 検索開始時間は録画開始時間と録画終了時間の間の時間を選択してください。

[イベント(Event)検索]

イベント検索はビデオロス、ネットワーク接続、ログイン、電源オン・オフなどDVRのシステムと関係があるイベントを検索する機能です。



DIGITAL VIDEO RECORDER

- (1) 検索する日付を選択します。
- (2) イベント項目を選択します。
 - オール：全てのイベント検索
 - 動き：動きが発生したデータ検索
 - ビデオ：ビデオロスが発生したデータ検索
 - センサー：センサーが発生したデータ検索
 - システム：システムエラーが発生したデータ検索
- (3) CH：4/9/16CHによって少々違いがあります。検索するCHを全部あるいは各々選択します。
- (4) ヒストリ呼出：クリックするとDVRの録画データが呼び出されます。
- (5) 検索するリストをクリックして再生ボタンを押します。

[カレンダー検索]



[参考] CH表示はDVRモデルによって4、8、9、16CHになります。

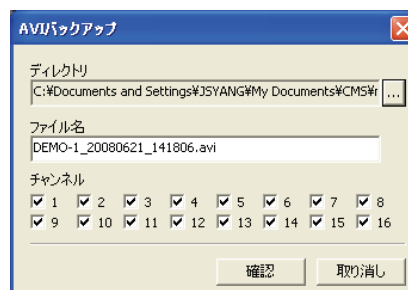
カレンダーで検索する日付と時間を選択して再生します。

[参考] ネットワーク環境により多少の時間が掛かります。

検索

[時間(Time)検索]

検索する時間を直接選択して再生します。



- ・ **録画開始時間** : DVRに保存されている最初の録画データの時間を表示します。
- ・ **録画終了時間** : DVRに保存されている最後の録画データの時間を表示します。
- ・ **検索開始時間** : 検索する日付と時間を選択し **再生** ボタンを押すと録画データが再生されます。

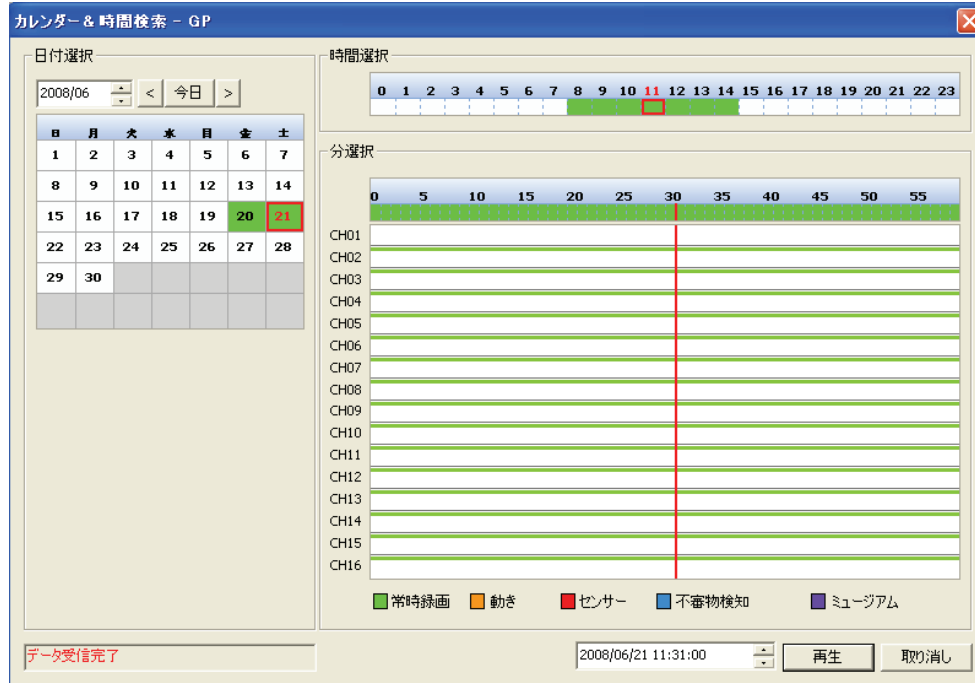
【イベント(Event)検索]

イベント検索はビデオロス、ネットワーク接続、ログイン、電源オン・オフなどDVRのシステムと関係があるイベントを検索する機能です。



- (1) ヒストリ呼出 : クリックするとDVRの録画データが呼び出されます。
- (2) 検索するリストをクリックして再生ボタンを押します。

【カレンダー]



【参考】 CH表示はDVRモデルによって4、8、9、16CHになります。

カレンダーで検索する日付と時間を選択して再生します。

【参考】 ネットワーク環境により多少の時間が掛かります。

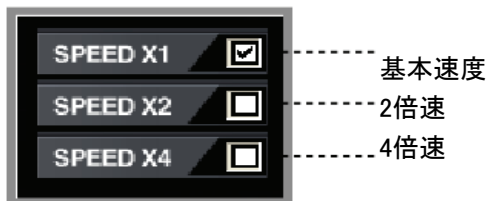
PTZプリセット



CMSから遠隔地でパンチルトカメラのズーム、フォーカス、プリセット、ツアーリングなどモニタリングに必要なPTZのコントロールが出来ます。



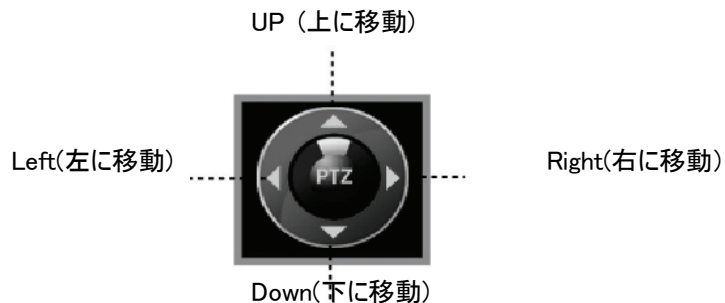
(1) PTZカメラの速度設定



PTZの反応速度を設定することが出来ます。カメラ移動またはズーム、フォーカスなどの反応速度に対し選択が出来ます。

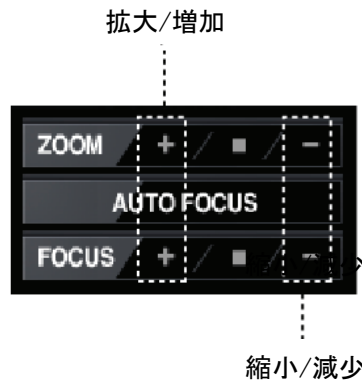
(2) PTZカメラの方向コントロール

PTZカメラの方向を遠隔地からコントロールすることが出来ます。マウスで矢印をクリックして移動します。



(3) PTZカメラのオートフォーカス

ZOOM(ズーム)：カメラの映像を拡大または縮小します。
 AUTO FOCUS(オートフォーカス)：自動にフォーカスを合わせます。
 FOCUS(フォーカス)：カメラのフォーカスを調節します。



(4)プリセット(PRESET)

プリセットはDVRがパンチルトカメラが写っている位置を記憶し使用者が番号で呼び出すとその位置に移動する機能です。

最大16個の位置情報をプリセット番号として保存することが出来ます。



- ・ **PRESET MOVE** : 保存した位置情報の番号をクリックすると保存した位置情報にPTZカメラが移動します。
- ・ **PRESET SAVE** : まずPTZカメラの位置を合わせて **PRESET SAVE** の番号 **1** をクリックすると1に位置情報が保存されます。

PTZツアーリング



ツアーリングは2個以上の位置情報を繰り返し移動する機能です。

「1」オートスタート(AUTO START)

PTZカメラを自動的に2個の支点を繰り返し移動させる機能です。

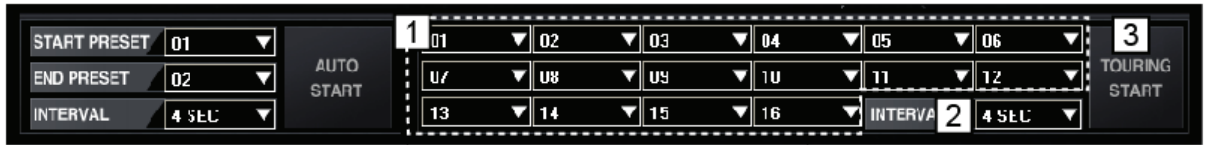


- (1) **START PRESET** : 1番目の位置情報を選択します。
- (2) **END PRESET** : 2番目の位置情報を選択します。
- (3) **INTERVAL** : 一つの位置から次の位置に移動するまでのPTZの停止時間を設定します。
- (4) **AUTO START** : 2個の位置情報を自動的に繰り返し移動します。

DIGITAL VIDEO RECORDER

「2」 ツアーリングスタート(TOURING START)

PTZカメラを自動的に複数の支点を繰り返し移動させる機能です。



(1) 各々の番号にプリセット番号を指定します。

- ▶ SKIP(スキップ) : スキップし次の番号に移動
- ▶ 1~16 : プリセット番号を選択

(2) **INTERVAL(インタバル)** : 一つの位置から次の位置に移動するまでのPTZの停止時間を設定します。

(3) **TOURING START** : 複数の位置情報を自動的に繰り返し移動します。

* 参考: ツアーリング機能は必ず01, 02, 03にプリセット番号が登録されていなければなりません。

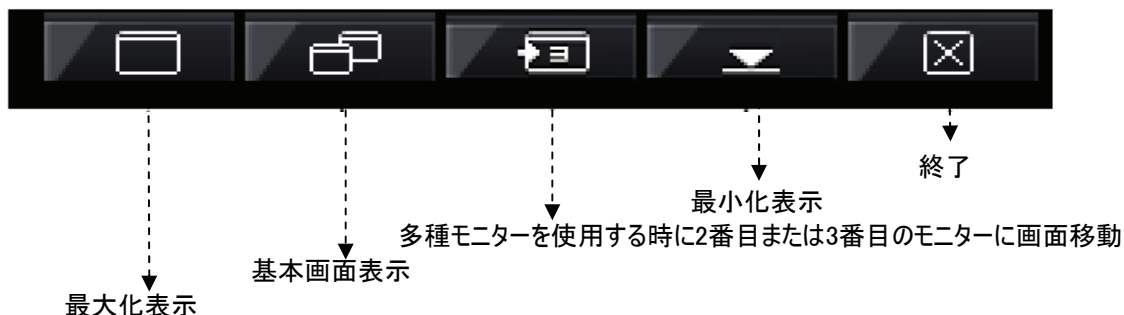
E-MAP



E-MAPは別途の図面および構成図にDVRおよびカメラ、センサーなどのアイコンを配置し、イベントが発生した状況を一目で把握できるようにした機能です。

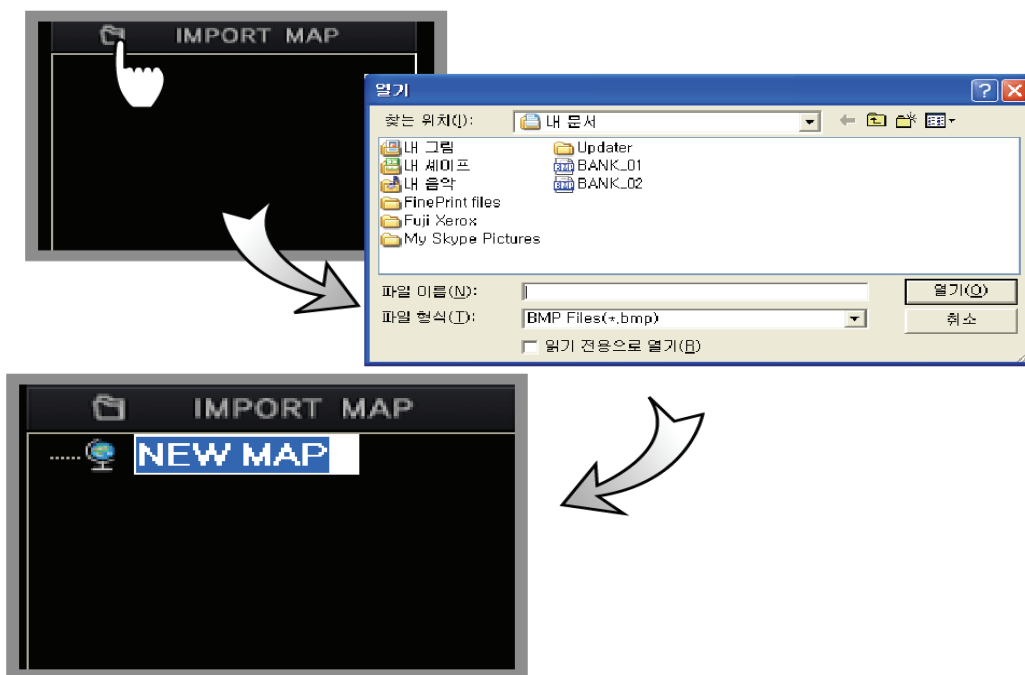


- (1) E-MAP画面で最大16枚までのマップイメージを登録できます。一つのマップを選択しマウスでダブルクリックすると全体画面に表示されます。(再度ダブルクリックすると分割モードに戻ります。)
- (2) イベントアイコンツール : E-MAPに配置する **カメラ**、**センサー**、**DVR**などのアイコンが集まっています。
- (3) **IMPORT MAP** : E-MAPを使用するためにイメージを登録するツールです。
- (4) ウィンドウズ表示機能



[1] マップイメージ登録

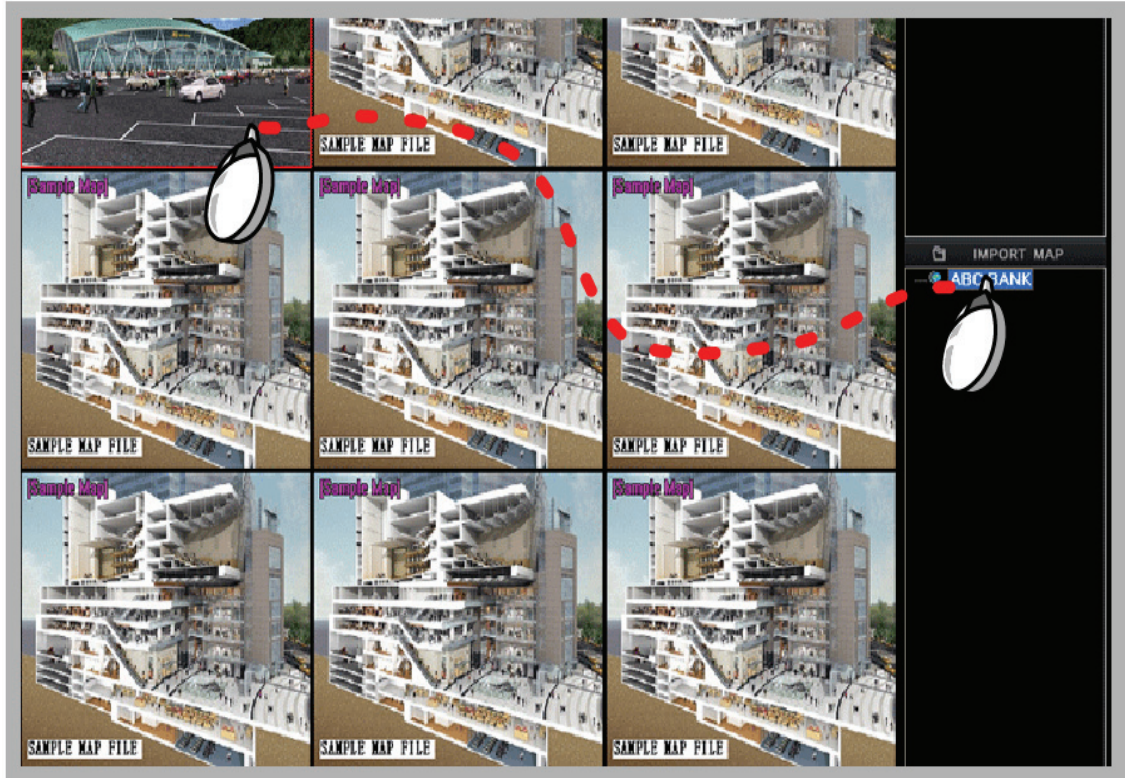
まずDVR設置現場を図面などで一目で確認できるマップイメージ(*.BMP)を登録します。



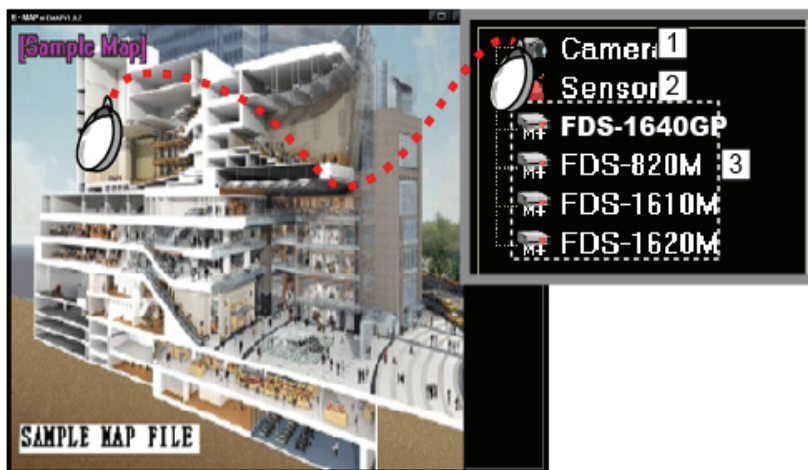
IMPORT MAP をマウスでクリックするとファイルの選択が可能なメッセージが表示されます。ビットマップイメージ(*.BMP)を選択すると登録が完了されて **IMPORT MAP** に登録されマップイメージのファイル名を変更出来ます。(イメージのファイル名をクリックすると名前の変更が出来て、ファイル名を選択しキーボードの **DELETE** キーを押すと **マップイメージを削除しますか** というメッセージが表示され **確認** を押すと削除されます。)

[2] マップイメージ配置

登録したマップイメージをマウスでドラッグすると自動的にイメージが登録されます。



[3] E-MAPにアイコン配置

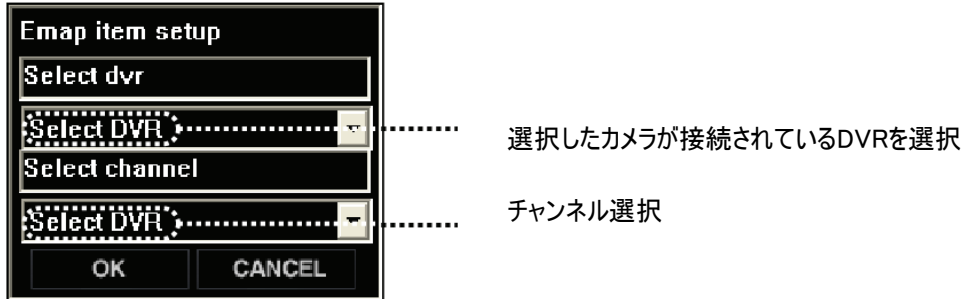


- ① アイコン (カメラ(CAMERA)、センサー(SENSOR)、不審物検知(UNATTENDED)、ミュージアム(MUSEUM)、ビデオロス(VIDELOSS)、DVRを配置するためにマップイメージをクリックし全体画面にします。
- ② マウスでアイコンをドラッグしマップイメージに配置します。
- ③ 配置すると **Emap item setup** というメニューが表示されます。

[4] E-MAP Item Setup

(1) カメラオプション設定ポップアップ

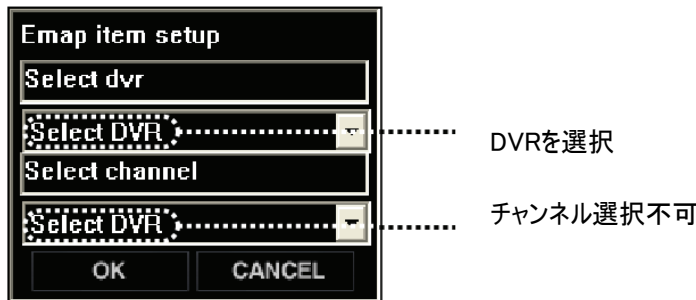
カメラを配置する時、マウスでカメラアイコンを左クリックしマップイメージにドラッグすると **Emap item setup** というカメラオプションを設定するポップアップメニューが表示されます。連動するカメラ情報を選択します。



(2) センサーオプション設定ポップアップ、不審物検知オプション設定ポップアップ、ミュージアムオプション設定ポップアップ、ビデオロスオプション設定ポップアップ
上記のカメラオプション設定ポップアップと同じです。

(3) DVRオプション設定ポップアップ

カメラまたはセンサーなどの付加アイコンではなくDVR自体を配置することが出来ます。



DVRのすべてのチャンネルの中で一つのチャンネルでもイベントが発生するとアイコンが点滅します。

[5] E-MAPアイコンの削除

アイコンを選択してキーボードの **DELETE** キーを押すと **選択したアイテムを削除しますか** とメッセージが表示され、**確認** ボタンを押すと削除されます。



[6] CH Viewer

イベントが発生しE-MAPのアイコンが点滅する時にアイコンをダブルクリックすると選択されたアイコンと連動されているカメラのライブ画面がポップアップされます。

